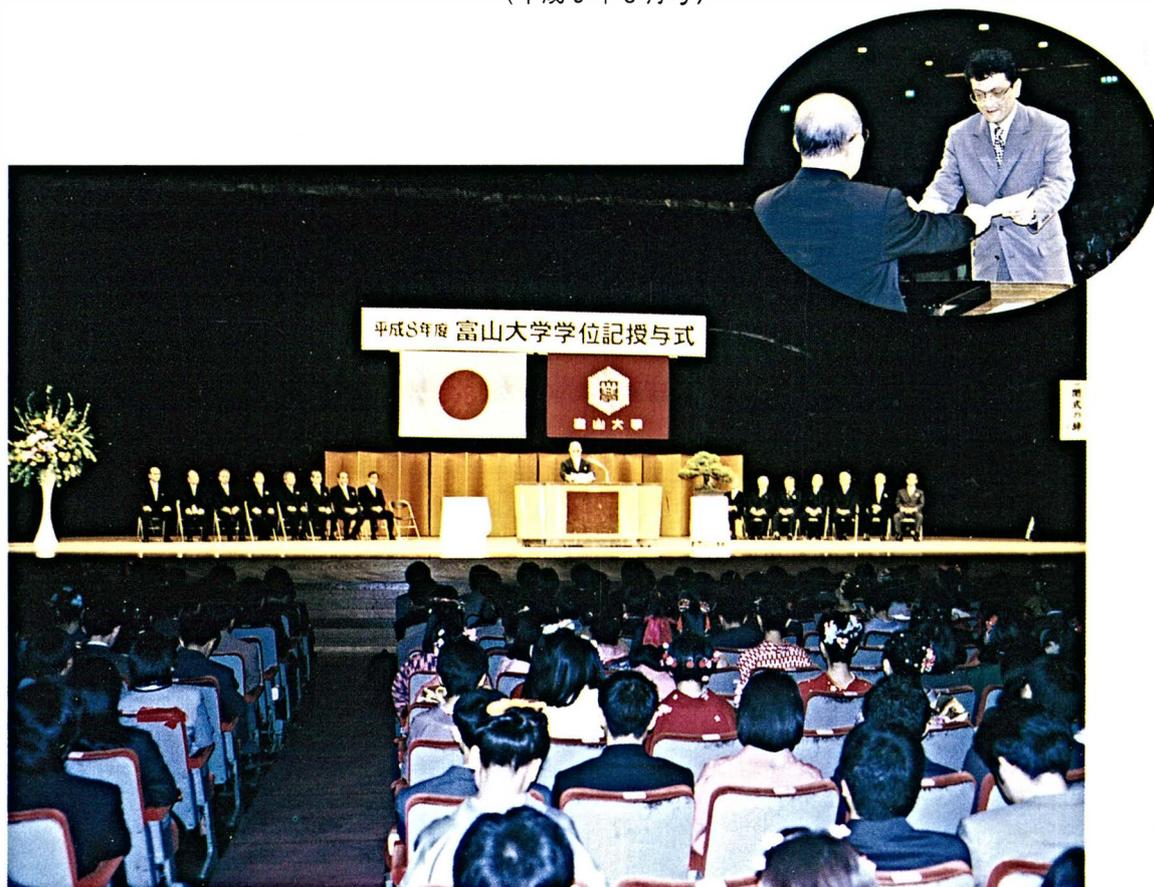




(題字 小黒千足 学長)

第387号  
(平成9年3月号)



▲ 平成8年度富山大学学位記授与式で告辞を述べる小黒学長  
円内は工学研究科博士後期課程の代表に学位記を授与

## 目 次

学 長 告 辞 .....	3	職 員 消 息	
◆平成8年度富山大学学位記授与式を挙		◆住所変更 .....	73
◆平成8年度富山大学学位記授与式を挙		◆新任者住所 .....	73
関係法令 .....	5	◆改姓 .....	73
学 内 規 則 .....	6	◆訃報 .....	74
諸 会 議 .....	58	主 要 行 事 .....	75
学 事		資 料	
◆学位取得者 .....	60	◆平成9年3月卒業者数 .....	77
◆平成9年度富山大学入学者選抜学力検査		◆平成9年3月修了者数 .....	78
(後期日程)を実施 .....	60	◆平成8年度大学院研究科修了者一覽 .....	79
人 事 異 動 .....	62		
学 内 諸 報			
◆人文学部長に鈴木教授を選出 .....	70		
◆生涯学習教育研究センター設置記念式典を挙	70		
◆退職者を囲む懇談会を開催 .....	71		
◆海外渡航者 .....	72		
◆外国人来訪者 .....	73		

# 学 長 告 辞

3月25日富山市公会堂において

## 平成8年度富山大学学位記授与式を盛大に挙

行 = 1,788人が社会に巣立つ =

平成8年度富山大学学位記授与式が、平成9年3月25日（火）午前10時30分から富山市公会堂で挙

行されました。式に先立ち本学フィルハーモニー管弦楽団によるオーケストラ演奏がありました。授与式では、まず小黒学長から各学部及び大学院各研究科の代表者（学部卒業生1,488人、大学院修了生300人、合計1,788人）にそれぞれ学位記が授与され、続いて学長から告辞があり、学位記授与式を終了しました。



▲ 授与式場の卒業生



▲ 式終了後後輩たちの祝福を受ける

### 学位記授与式学長告辞（全文）



学長 小 黒 千 足

ここにおられる1788名の諸君は、本学所定の課程を終え、ただ今めでたく学士、修士または博士の学位を授与されました。教職員一同心からお慶びいたします。また、この日を心待ちにしておられた、父母の皆様のお喜びは大きいものとお察しいたします。

さて、今回の学位記授与式は、富山大学にとって大きな意義があり、過去50年に近い本学の歴史の中で、特に記憶されるべきものであります。

本学は、平成5年に全国の国立大学に先駆けて教育改革を行い、教養部を廃止して、4年一貫教育を実施しました。当時種々の理由により、理想とは乖離した教養教育の改善を求めて、格段に充実したカリキュラムを編成いたしました。その教育改革の結果育った第一期生が、本日富山大学を巣立ちます。諸君の将来は我々大学関係者ばかりではなく、社会の注目する処であります。一人一人の歩む道は異なっても、この期待に応えて下さることを希望いたします。

第二の点は、本学で最初の博士号が授与されたことであります。科学技術の発展が著しい今日、ある分野では特に高次の知識と技術が要求されております。その要望に応えるべく、富山大学では平成6年4月工学研究科に博士後期課程を設置いたしました。本日その成果である15名の博士が誕生いたしました。諸君は日本の最高の教育を受けたことに誇りをもち、我が国の将来を担う中核として活躍されることを期待いたします。

さて、本日授与された学位が何であれ、また専攻がど

の分野であれ、諸君は今後何をすべきか、どのように生きるべきか、深く考えて戴きたいのであります。現在の人間社会の発展は科学技術の発達に負う処が大きいことは云うまでもありません。また、近代日本の躍進は先進のテクノロジーが基本になったことは疑いもありません。しかしながら最近、ひそかにテクノロジー罪悪論がささやかれ、さらに、自然への回帰が強く叫ばれるようになったのも事実であります。これは何故でありましょう。

大きな誤りは、ヒトが他の生物と同様、調和を保つべき自然の中の一つの存在であることを忘れ、また、ヒトがヒトであることすら忘れがちになったことでもあります。また更に、個人はそれぞれ特徴があり、個性をもっている、やはり社会の一員であることを重く受け止めるべきであります。以上に思いを致さない限り、さらに大きな歪みが生ずることは明白であります。諸君一人一人が、どのような社会人であるべきか、社会人としていかに生

きるべきか、また、どのようにして自然と調和するべきか、大学を去るにあたって、改めて熟慮されることを希望いたします。

文明を謳歌し、己の権利のみ唱えるのでは、何物も得られないでしょう。権利の享受と同時に社会への貢献は、社会の一員として当然果たすべき責務であります。また、テクノロジーの成果に甘え、その利便さのみに価値を見いだすのであれば、地球の将来に希望はもてません。

いま、最高学府を去る諸君に、さらなる言は不必要だと考えます。以上述べたように、いかに生きるべきかを常に自ら問いかけつつ、己の道を進まれることを希望します。

最後に、諸君の前途がそれぞれに充実し、そして輝かしいものであることを心から祈念して、送別の言葉を終わります。

**関 係 法 令****(法 律)**

- 国家公務員法の一部を改正する法律(3)  
(平9. 3. 26 官報号外第57号)
- 恩給法等の一部を改正する法律(4)(同上)
- 国立学校設置法の一部を改正する法律(14)  
(平9. 3. 31 官報号外特第5号)

**(政 令)**

- 国立学校設置法施行令の一部を改正する政令(80)  
(平9. 3. 28 官報号外第59号)
- 日本育英会法施行令の一部を改正する政令(95)(同上)
- 国立学校設置法施行令の一部を改正する政令(99)  
(平9. 3. 31 官報号外特第5号)

**(省 令)**

- 国家公務員宿舎法施行規則の一部を改正する省令  
(大蔵7)(平9. 3. 17 官報第2097号)
- 学校教育法施行規則の一部を改正する省令の一部を  
改正する省令(文部6)(平9. 3. 24 官報第2101  
号)
- 大学入学資格検定規程の一部を改正する省令(同10)  
(平9. 3. 27 官報第2104号)

- 国家公務員等共済組合法施行規則等の一部を改正す  
る省令(大蔵20)(平9. 3. 28 官報号外第59号)
- 国立学校設置法施行規則の一部を改正する省令(文  
部13)(平9. 3. 31 官報号外第60号)
- 教育公務員特例法施行令第1条の規程に基づき大学  
院に置かれる研究科の長を定める省令の一部を改正  
する省令(同14)(同上)
- 国立大学の学科及び課程並びに講座及び学科目に関  
する省令の一部を改正する省令(同15)(同上)
- 国立大学の大学附置の研究所の研究部門に関する省  
令等の一部を改正する省令(同16)(同上)
- 大学共同利用機関組織運営規則の一部を改正する省  
令(同17)(同上)

**(規 則)**

- 人事院規則17-0(管理職員等の範囲)の一部を改  
正する人事院規則(人事院17-0-45)(平9. 3.  
25 官報第2102号)

**(告 示)**

- 平成10年度科学研究費補助金(国際学術研究)によ  
る研究課題を公募する件(文部53)(平9. 3. 28  
官報第2105号)

# 学 内 規 則

## 富山大学学則の一部改正

### 富山大学学則の改正理由

- 1 教育学部及び工学部の学科改組に伴い、所要の改正を行う。
- 2 人文学部国際文化学科及び理学部地球科学科の入学定員の改訂並びに理学部に第3年次編入学定員が新設されることに伴い、所要の改正を行う。

富山大学学則の一部を改正する学則を次のとおり制定する。

平成9年3月21日

富山大学長 小黒 千足

### 富山大学学則の一部を改正する学則

富山大学学則（昭和59年3月12日全部改正）の一部を次のように改正する。

第2条第1項中「小学校教員養成課程，中学校教員養成課程，養護学校教員養成課程，幼稚園教員養成課程，情報教育課程」を「学校教育教員養成課程，総合教育課程」に，「電子情報工学科，機械システム工学科，物質工学科，化学生物工学科」を「電気電子システム工学科，知能情報工学科，機械知能システム工学科，物質生命システム工学科」に改める。

別表第1を次のように改める。

別表第1

学 部	学 科 等	入学定員	3年次編入学額	収容定員
人文学部	人 文 学 科	70人		280人
	国 際 文 化 学 科	50		200
	言 語 文 化 学 科	85		340
	計	205		820
教育学部	学校教育教員養成課程	150		600
	総合教育課程	40		160
	計	190		760
経済学部	経 済 学 科			
	昼間主コース	155		620
	夜間主コース	20		80
	経 営 学 科			
	昼間主コース	120		480
	夜間主コース	20		80
	経 営 法 学 科			
	昼間主コース	100		400
夜間主コース	20		80	
	計	435		1,740

理 学 部	数 学 科	52		208
	物 理 学 科	42		168
	化 学 科	38		152
	生 物 学 科	38		152
	地 球 科 学 科	40		160
	生物圏環境科学科	30		120
	(各学科共通)		10	10
	計	240	10	980
工 学 部	電気電子システム工学科	96	5	394
	知能情報工学科	86		344
	機械知能システム工学科	101	5	414
	物質生命システム工学科	159		636
	計	442	10	1,788
合 計	1,512	20	6,088	

備考 経済学部の「昼間主コース」とは、主として昼間に授業を行うコースを，「夜間主コース」とは、主として夜間に授業を行うコースをいう。

別表第2中

教育学部	小学校教員養成課程	小学校教諭一種免許状	
	中学校教員養成課程	中学校教諭一種免許状	国語
	養護学校教員養成課程	中学校教諭一種免許状	社会
	幼稚園教員養成課程	中学校教諭一種免許状	数学
		中学校教諭一種免許状	理科
	中学校教諭一種免許状	音楽	
	中学校教諭一種免許状	美術	
	中学校教諭一種免許状	保健体育	
	中学校教諭一種免許状	家庭	
	中学校教諭一種免許状	英語	
中学校教諭一種免許状	技術		
高等学校教諭一種免許状	国語		

	高等学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状 養護学校教諭一種免許状 幼稚園教諭一種免許状	地理歴史 公民 数学 理科 音楽 美術 書道 保健体育 家庭 英語
情報教育課程	中学校教諭一種免許状 中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	数学 理科 数学 理科

教育学部	学校教育教員養成課程	小学校教諭一種免許状 中学校教諭一種免許状 中学校教諭一種免許状 中学校教諭一種免許状 中学校教諭一種免許状 中学校教諭一種免許状 中学校教諭一種免許状 中学校教諭一種免許状 中学校教諭一種免許状 中学校教諭一種免許状 中学校教諭一種免許状 中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状 養護学校教諭一種免許状 幼稚園教諭一種免許状	国語 社会 数学 理科 音楽 美術 保健体育 家庭 英語 技術 国語 地理歴史 公民 数学 理科 音楽 美術 書道 保健体育 家庭 英語
------	------------	--	--

工学部	電子情報工学科 機械システム工学科 物質工学科 化学生物工学科	高等学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	工業 工業 工業 工業
-----	--	--	----------------------

工学部	電気電子システム工学科 知能情報工学科 機械知能システム工学科 物質生命システム工学科	高等学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	工業 工業 工業 工業
-----	--	--	----------------------

改める。

附 則

- この学則は、平成9年4月1日から施行する。
- 富山大学学則の全部を改正する学則（昭和59年3月12日制定）の一部を次のように改正する。

附則第3項を次のように改める。

- 別表第1に規定する入学定員には、当分の間、次に定める定員を含むものとする。

学 部	学 科	定 員
人文学部	人 文 学 科	5人
	言 語 文 化 学 科	5
	計	10
理 学 部	数 学 科	2
	物 理 学 科	2
	化 学 科	3
	生 物 学 科	3
	計	10
工 学 部	電気電子システム工学科	6
	知能情報工学科	6
	機械知能システム工学科	11
	物質生命システム工学科	4
	計	27
合 計		47

- 別表第1に定める収容定員は、平成9年度から平成11年度までは、次のとおりとする。

学 部	学 科 等	平成9年度	平成10年度	平成11年度
人文学部	人 文 学 科	280人	280人	280人
	国 際 文 化 学 科	170	180	190
	言 語 文 化 学 科	350	340	340
	計	800	800	810
教育学部	学校教育教員養成課程	150	300	450
	総 合 教 育 課 程	40	80	120
	計	190	380	570
経済学部	経 済 学 科			
	昼間主コース	620	620	620
	夜間主コース	80	80	80
	経 営 学 科			
	昼間主コース	480	480	480
	夜間主コース	80	80	80
	経 営 法 学 科			
	昼間主コース	400	400	400
夜間主コース	80	80	80	
計	1,740	1,740	1,740	
理 学 部	数 学 科	209	208	208
	物 理 学 科	173	168	168
	化 学 科	152	152	152
	生 物 学 科	154	152	152
	地 球 科 学 科	132	140	150

	生物圏環境科学科	120	120	120
	各学科共通(第3年次編入学分)	10	20	20
	計	950	960	970
工学部	電気電子システム工学科	96	192	293
	知能情報工学科	86	172	258
	機械知能システム工学科	101	202	308
	物質生命システム工学科	159	318	477
	計	442	884	1,336
合 計		4,122	4,764	5,426

4 平成9年3月31日における教育学部の小学校教員養成課程, 中学校教員養成課程, 養護学校教員養成課程, 幼稚園教員養成課程及び情報教育課程並びに工学部の電子情報工学科, 機械システム工学科, 物質工学科及び化学生物工学科については, 平成9年3月31日に当該課程又は学科に在学する者が, 当該課程又は学科に在学しなくなる日までの間, 存続するものとする。

## 富山大学教養教育委員会規則の一部改正

### 富山大学教養教育委員会規則の改正理由

専門基礎科目部会を廃止するため, 所要の改正を行う。

富山大学教養教育委員会規則の一部を改正する規則を次のとおり制定する。

平成9年3月21日

富山大学長 小黒 千足

### 富山大学教養教育委員会規則の一部を改正する規則

第7条第3項中「及び専門基礎科目に係る事項を担当するための部会」を削る。

富山大学教養教育委員会規則(平成5年3月12日制定)の一部を次のように改正する。

附 則

この規則は, 平成9年4月1日から施行する。

## 富山大学における教養科目及び共通基礎科目履修規則の一部改正

### 富山大学における教養科目及び共通基礎科目履修規則の改正理由

教養教育のカリキュラム等を見直し, 教育内容の充実を図るため, 所要事項を改める。

富山大学における教養科目及び共通基礎科目履修規則の一部を改正する規則を次のとおり制定する。

平成9年3月21日

富山大学長 小黒 千足

### 富山大学における教養科目及び共通基礎科目履修規則の一部を改正する規則

富山大学における教養科目及び共通基礎科目履修規則(平成5年4月1日制定)の一部を次のように改正する。

第3条第1項の表を次のように改める。

授 業 科 目		単 位 数	
		各 学 部 (経済学部夜間主 コースを除く。)	経 済 学 部 夜間主コース
教 養 科 目	教養原論(教養 原論演習を除く。)	12単位又は14単位	12単位
	総合科目	6単位又は4単位	4単位
	小 計	18単位	16単位
共 通 基 礎 科 目	外国語科目	8単位 (2カ国語各4単位)	4単位 (英語)
	保健体育科目	2単位	2単位
	情報処理科目 又は言語表現科目	2単位	
	小 計	12単位	6単位
	合 計	30単位	22単位

第5条の表を次のように改める。

学 部	選 択 科 目	自 由 科 目
人文学部	社会科学系授業科目 自然科学系授業科目	社会科学系授業科目 } 4単位まで 自然科学系授業科目
教育学部	人文科学系授業科目 社会科学系授業科目 自然科学系授業科目	
経済学部 (昼間主 コース)	人文科学系授業科目 自然科学系授業科目	
理 学 部	人文科学系授業科目 社会科学系授業科目	
工 学 部	人文科学系授業科目 社会科学系授業科目	
経済学部 (夜間主 コース)	人文科学系授業科目 } 12単位 社会科学系授業科目 } 自然科学系授業科目 }	社会科学系授業科目 } 8単位まで 自然科学系授業科目 }

第7条第2項に次のただし書を加える。

ただし、教養原論については、1年次前期において不足する単位を1年次後期に履修することができない。

別表1(第2条関係)1教養原論の表人文科学系の項中

心 理 と 教 育	こころの科学	2	教育学部の学生は履修できない。
	教育と社会	2	

こころの科学	こころの科学	2	教育学部の学生は履修できない。
現代と教育	現代と教育	2	

に改める。

同表 桜科学系の項中

社会理論と現代	社会科学の方法と理論	2	
	現代社会論Ⅰ	2	
	現代社会論Ⅱ	2	
法 と 政 治	日本国憲法	2	
	国家と政治	2	
	経済生活と法	2	
	市民生活と法	2	

社会理論と現代	社会科学の方法と理論	2	
	現代社会論	2	
法 と 政 治	日本国憲法	2	
	国家と市民	2	
	経済生活と法	2	
	市民生活と法	2	

地 域 と 生 活	地域の社会と文化	2	
	富山の経済と社会	2	

地 域 と 生 活	地域の経済と社会・文化	2	
-----------	-------------	---	--

に改める。

同表自然科学系の項中

生 命 の 世 界	生命のしくみ	2	
	生命と環境	2	

生 命 の 世 界	生命の世界	2	
-----------	-------	---	--

数 理 の 世 界	自然と数理	2	
	社会と数理	2	
	情報と数理	2	

技 術 の 世 界	機械の力学	2	
	生産のための技術	2	
	電気・電子機器	2	
	材料の科学	2	

生 活 の 科 学	生活の科学	2	
	睡眠の科学	2	
	園芸	2	

数 理 の 世 界	自然と情報の数理	2	
	社会と情報の数理	2	
技 術 の 世 界	技術の世界	2	
	材料の科学	2	
生 活 の 科 学	生活の科学	2	
	睡眠の科学	2	

に改める。

別表1(第2条関係)2総合科目の表中

生活と福祉	2	
人権と差別	2	

人権と福祉	2	
-------	---	--

現代の世界(時事的問題)	2	
--------------	---	--

現代の世界(時事的問題)	2	
トータルコミュニケーション	2	
総合科目特殊講義	2	

に改める。

別表2(第2条関係)2保健体育科目の表健康スポーツの項中「実技」を「実技(野外実習を含む。)」に改める。

別表3（第7条関係）各学部（経済学部夜間主コースを除く。）の表を次のように改める。

区 分	1 年 次		2 年 次		3 年 次		備 考
	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	
教養科目 教養原論	6	6	6				
総合科目		2	2	2	2		
共通基礎科目 外国語科目	2	2	2	2			2年次開講は、自由科目の単位とする。
保健体育科目	2		4				1 履修できる単位は、6単位とする。 2 野外実習は、各年次の上限単位数を超えて履修できる。
情報処理科目又は 言語表現科目	2	2					各科目の履修できる単位は、2単位とする。

注：表の単位は、各期に履修できる上限単位数である。

#### 附 則

- この規則は、平成9年4月1日から施行する。
- 平成8年度以前の入学者については、なお従前の例による。

## 富山大学研究生規則の一部改正

### 富山大学研究生規則の改正理由

現職教育のため任命権者の命により派遣される教職員の出願手続き及び授業料等について、所要事項を定める。

富山大学研究生規則の一部を改正する規則を次のとおり制定する。

平成9年3月21日

富山大学長 小黑 千足

### 富山大学研究生規則の一部を改正する規則

富山大学研究生規則（平成7年3月17日制定）の一部を次のように改正する。

第3条中第2項を第3項とし、第1項の次に次の1項を加える。

- 前項の場合において、現職教育のため任命権者の命により派遣される教職員は、任命権者の推薦書を添付するものとする。

第11条を第12条とし、第10条の次に次の1条を加える。  
(現職教育のために派遣される者の授業料等)

第11条 現職教育のため任命権者の命により派遣される教職員については、検定料、入学料及び授業料は徴収しない。

#### 附 則

この規則は、平成9年4月1日から施行する。

## 富山大学学生交流規則の一部改正

### 富山大学学生交流規則の改正理由

平成8年11月1日付け文高学第164号文部省高等教育局長通知に基づき、特別聴講学生が大学間相互単位互換協定による公立又は私立の大学の学生の場合の授業料の取扱いが改められたことに伴い、所要の改正を行う。

富山大学学生交流規則の一部を改正する規則を次のとおり制定する。

平成9年3月21日

富山大学長 小黒 千足

### 富山大学学生交流規則の一部を改正する規則

基づく公立又は私立の大学の学生であるときは、授業料は徴収しない。

富山大学学生交流規則（平成7年3月17日制定）の一部を次のように改正する。

### 附 則

この規則は、平成9年4月1日から施行する。

第25条第4項に次のただし書を加える。

ただし、特別聴講学生が大学間相互単位互換協定に

## 富山大学人文学部規則の一部改正

### 富山大学人文学部規則の改正理由

- 1 教養教育のカリキュラム等の見直しに伴い、所要の改正を行う。
- 2 専門科目のカリキュラムを見直し、教育内容の充実を図るため、所要の改正を行う。

富山大学人文学部規則の一部を改正する規則を次のとおり制定する。

平成9年3月21日

富山大学長 小黒 千足

### 富山大学人文学部規則の一部を改正する規則

富山大学人文学部規則（昭和52年5月16日制定）の一部を次のように改正する。

別表Ⅰ（第3条第2項関係）及び別表Ⅱ（第4条関係）を次のように改める。

別表Ⅰ（第3条第2項関係）

授業科目及び単位数

教養科目及び共通基礎科目

区分	主 題 等	授 業 科 目	単 位 数	
教 養 科 目	人 文 系	思想と倫理	哲学のすすめ 人間と倫理	2 2
		こころの科学	こころの科学	2
	科 学 系	現代と教育	現代と教育	2
		歴 史 系	歴史の世界	日本の歴史と社会 東洋の歴史と社会 西洋の歴史と社会

科 目	教 養 科 目	原 系	目 論	人文系科目		単 位 数
				科目	単位数	
科 目	教 養 科 目	人 文 系	文 学	文学の世界	日 本 文 学 外 国 文 学	2 2
				言語と文化	言 語 と 文 化	2
				芸術の世界	音 楽 術 美 術	2 2
	教 養 科 目	社 会 系	社 会	社会理論と現代	社会科学の方法と理論	2
					現代社会論	2
				法と政治	日本国憲法	2
					国家と市民	2
					経済生活と法	2
					市民生活と法	2
	教 養 科 目	科 学 系	産 業 系	産業と経済	経済・経営データを読む	2
					企業と仕事	2
					世界経済の過去と現在	2
				地域と生活	日本の経済と産業	2
					日本の企業経営	2
					地域の経済と社会・文化	2
科 目	自然系	地 球 系	地球と環境	地球の構造と活動	2	
				地球の環境	2	

教 養 原 科 目	自然系	生命の世界	生命の世界	2	
		自然の構造	宇宙の構造	2	
			化学物質の世界	2	
			物質の構造	2	
			量子の世界	2	
		数理の世界	自然と情報の数理	2	
			社会と情報の数理	2	
		技術の世界	技術の世界	2	
			材料の科学	2	
		生活の科学	生活の科学	2	
睡眠の科学	2				
情報の科学	コンピュータの話	2			
教養原論演習				2又は4	
科 合 科 目	総合科目	環境	2		
		生と死	2		
		ジェンダー(性)	2		
		心と身体	2		
		技術と社会	2		
		現代文化	2		
		人権と福祉	2		
		環日本海	2		
		科学と社会	2		
		現代の社会(時事的問題)	2		
		トータルコミュニケーション	2		
		総合科目特殊講義	2		
		日本事情	6		
		共 通 基 礎 科 目	外国語	英語 A	4
英語 B	4				
ドイツ語 A	4				
ドイツ語 B	4				
フランス語 A	4				
フランス語 B	4				
中国語 A	4				
中国語 B	4				
ロシア語 A	4				
ロシア語 B	4				
朝鮮語 A	4				
朝鮮語 B	4				
ラテン語 B	2				
日本語 A	4				
日本語 B	4				
科 目	保健科			健康・スポーツ論	3
				健康スポーツ演習	2
				健康スポーツ	4
	情報科	情報処理	2		
		言語表現	2		

専門科目

人文学科

授業科目	単位数	授業科目	単位数	授業科目	単位数
人間基礎論入門	4	古文書学実習	6	文化構造講読	12
古典ギリシャ語	4	文書館学Ⅰ	2	文化構造特殊講義	18
ラテン語中級	4	文書館学Ⅱ	2	芸術文化史	2
哲学概論	6	文書館学Ⅲ	2	コミュニケーションと社会	2
西洋思想史Ⅰ	8	文書館学実習	3	美術史	2
西洋思想史Ⅱ	8	日本史基礎演習	4	言語学概論	4
哲学特殊講義	8	東洋史概説	8	音声学	4
哲学演習	8	東洋史特殊講義	12	言語学実験実習	2
哲学講読	8	東洋史演習	24	言語学演習	16
文化基礎論講読	2	東洋史実習	2	言語学特殊講義	18
美学	2	東洋史基礎演習	4	個別言語論	4
論理学	2	東アジア交流史特殊講義	2	心理学概論	4
倫理思想	4	西洋史概説	8	心理学実験Ⅰ	4
宗教思想	4	西洋史特殊講義	12	心理学実験Ⅱ	4
東洋思想史	6	西洋史演習	28	心理学演習	10
現代と思想	4	西洋史実習	2	心理学特殊講義	18
比較思想	4	西洋史基礎演習	4	心理学研究法	2
人間学特殊講義	6	史学概論	2	社会学概論	4
人間学演習	10	史学史	2	社会学実習	5
人間学講読	8	東西交流史特殊講義	2	社会学演習	8
世界史序説	4	行動文化入門	4	社会学講読	8
日本史概説	8	行動文化研究法	4	社会学特殊講義	18
日本史特殊講義	18	行動文化特殊講義	6	社会調査法	8
日本史演習	24	文化構造概論	6	社会経済史	4
日本史実習	6	文化構造実習	4	法制史	2
日本史史料講読	6	文化構造演習	12	卒業研究	10

専門科目

国際文化学科

授業科目	単位数	授業科目	単位数	授業科目	単位数
国際文化入門	4	日本文化論演習	8	人文地理学概論	4
国際文化概論	2	日本文化講読	4	人文地理学特殊講義	12
情報文化論	2	中国文化講読	4	人文地理学演習	8
都市研究	2	ロシア文化講読	4	人文地理学講読	4
国際地域研究(地誌学)	2	アメリカ文化講読	4	人文地理学実習	5
マイノリティ研究	2	日本語・日本文化論講読	8	文化人類学概論	2
国際社会研究(政治学)	2	外国語演習	4	文化人類学特殊講義	10
民俗学	2	日本語表現法	4	文化人類学演習	8
地球環境研究(自然地理学)	2	日本の社会と文化	4	文化人類学講読	4
国際動態研究	2	日本の歴史と思想	4	文化人類学実習	3
国際文化関係論特殊講義	2	比較日本文化論	2	比較社会概論	4
国際文化関係論演習Ⅰ (日本と東アジア)	2	自然人類学	2	比較社会論特殊講義	8
国際文化関係論演習Ⅱ (日本と欧米)	2	ヨーロッパ文化論	2	比較社会論演習	8
国際文化関係論実習	2	文化環境論演習	4	比較社会論講読	4
日本文化特殊講義	4	文化環境論講読	2	比較社会論実習	4
		考古学概論	4	比較文学概論	8
		考古学特殊講義	20	比較文学特殊講義	14

中国文化特殊講義	4	考古学演習	8	比較文学演習	14
ロシア文化特殊講義	4	考古学講読	4	比較文学講読	14
アメリカ文化特殊講義	4	考古学実習	6	日本史概説	4
朝鮮文化特殊講義	4	博物館学Ⅰ	2	東洋史概説	4
日本文化演習	8	博物館学Ⅱ	2	西洋史概説	4
中国文化演習	8	博物館学Ⅲ	2	法制史	2
ロシア文化演習	8	博物館実習	3	国際公法	4
アメリカ文化演習	8	生涯学習概論	2	教育学概論	2
比較日本文化論演習	4	視聴覚教育メディア論	2	卒業研究	10

アメリカ文学史	6	フランス語作文	4
イギリス文学史Ⅰ	2	比較言語文化講読	4
イギリス文学史Ⅱ	2	ロシア言語文化演習	12
英米言語文化基礎講義	2	ロシア言語文化講読	12
英米言語文化特殊講義	16	ロシア文化論	4
英米言語文化講読A	8	ロシア言語文化特殊講義	14
英米言語文化講読B	12	ロシア語会話	6
英米言語文化演習A	4	専門基礎ロシア語	2
英米言語文化演習B	16	卒業研究	10
英語史Ⅰ	2		

専門科目

言語文化学科

授業科目	単位数	授業科目	単位数
日本東洋言語文化特殊講義	4	英語史Ⅱ	2
日本語学演習	20	英文法Ⅰ	2
日本文学演習	20	英文法Ⅱ	2
日本語学講読	16	英語学特殊講義	8
日本文学講読	16	英語学講読A	2
日本語学特殊講義	20	英語学講読B	4
日本文学特殊講義	20	英語学演習A	2
日本語学概論	4	英語学演習B	8
日本文学史	10	英米文化論	2
書道史	4	英語コミュニケーション(作文)	4
朝鮮言語文化演習	8	英語コミュニケーション(会話)	4
朝鮮言語文化講読	8	専門基礎ドイツ語	2
朝鮮言語文化概論	10	ドイツ言語文化演習	18
朝鮮言語文化特殊講義	10	ドイツ言語文化講読	20
朝鮮語会話	10	ドイツ文化論	6
朝鮮語作文	2	ドイツ文学史	10
朝鮮史	2	ドイツ言語文化特殊講義	12
朝鮮学入門	2	ドイツ語会話	10
中国言語文化演習	12	ドイツ語作文	4
中国言語文化講読	12	フランス言語文化演習	14
中国言語文化概論	6	フランス言語文化講読	14
中国言語文化特殊講義	18	フランス文化論	6
中国文化論	2	フランス文学史	8
中国語会話	8	フランス言語文化特殊講義	10
中国語作文	4	フランス語会話	10

別表Ⅱ(第4条関係)

卒業に必要な修得単位数

区分	人文学科・国際文化学科・言語文化学科		
	必修	選択	自由
教養科目	教養原論	12又は14	
	総合科目	6又は4	
共通基礎科目	外国語科目(2か国語)	8	
	保健体育科目	2	
	情報処理科目	2	
	言語表現科目	2	
専門科目	84		
計	124		
1 教養原論は、社会、自然の各系列から、各4単位以上、計12単位又は14単位を修得すること。 2 教養科目は、教養原論と総合科目をあわせて18単位修得すること。 3 外国語は、2ヶ国語各4単位計8単位を修得すること。 4 外国人留学生に対し、日本事情及び日本語に関する科目を開講しているが、修得方法は別に定める。 5 自由単位には上記のほか他学部の専門科目(教職に関する専門科目を除く。)も含めることができる。			

附則

- この規則は、平成9年4月1日から施行する。
- 平成8年度以前の入学者については、なお従前の例による。

富山大学教育学部規則の一部改正

富山大学教育学部規則の改正理由

教育学部の学科改組に伴い、所要の改正を行う。

富山大学教育学部規則の一部を改正する規則を次のとおり制定する。

平成9年3月21日

富山大学長 小黒 千足

**富山大学教育学部規則の一部を改正する規則**

富山大学教育学部規則（昭和27年4月18日制定）の一部を次のように改正する。

第2条を次のように改める。

（系，専攻及びコース）

第2条 学校教育教員養成課程に次の系及び専攻を置く。

- 学校教育系 (1)教育学専攻 (2)学校心理学専攻 (3)幼児教育専攻
- 障害児教育系 障害児教育専攻
- 言語・社会系 (1)国語教育専攻 (2)英語教育専攻 (3)社会科教育専攻
- 自然・生活系 (1)数学教育専攻 (2)理科教育専攻 (3)技術教育専攻 (4)家政教育専攻
- 芸術・体育系 (1)音楽教育専攻 (2)美術教育専攻 (3)保健体育専攻

2 総合教育課程に次のコースを置く。

- (1)情報教育学コース (2)環境教育コース
- (3)生涯スポーツコース

第3条中「，別表Ⅰ(イ)及び(ロ)」を「，別表Ⅰ」に改める。  
第11条第3項中「課程又は専攻(コース)」を「専攻(コース)」に改める。

第20条中「，別表Ⅱ及び別表Ⅷ」を「，別表Ⅲ，別表Ⅳ及び別表Ⅷ」に改める。

別表Ⅰから別表Ⅶまでを次のように改める。（別添のとおり）

**附 則**

- 1 この規則は，平成9年4月1日から施行する。
- 2 平成8年度以前の入学者については，なお従前の例による。

別 表Ⅰ

卒業に必要な単位数

1 学校教育教員養成課程

(1) 学校教育系，障害児教育系

授業科目の区分		学 校 教 育 系						障 害 児 教 育 系						
		教 育 学， 学校心理学 専 攻			幼 児 教 育 専 攻			障 害 児 教 育 専 攻						
		[ 小 ]			[ 中 ]			第 一 群			第 二 群			
教 養 科 目	人文科学系	2	6	2	2	6	2	2	6	2	2	6	2	
	社会科学系	2			2			2			2			
	自然科学系	2			2			2			2			
	総合科目	4		4		4		4		4				
計		18			18			18			18			
科 共 通 基 礎 目	外国語科目	8 (2ヶ国語各4)			8 (2ヶ国語各4)			8 (2ヶ国語各4)			8 (2ヶ国語各4)			
	保健体育科目	2			2			2			2			
	情報処理科目	2			2			2			2			
	言語表現科目	2			2			2			2			
小 計		30			30			30			30			
専 門 科 目	学部共通科目	4			4			4			4			
	教 科	専攻科目							24			20		
		小学校及び幼稚園の教科	18			16			10					
	計		18			16			10			20		
	教 科	第二欄	別表Ⅲ参照	12		12		12		8		8		
		第三欄	教科教育法	18				12		2		2		
道徳教育 特別活動			2				2		2		2			
第五欄	生徒指導・ 教育相談・ 進路指導	2				2		2		2				
職 業	第六欄	教育実習	5		5		5		4		4			
	専攻科目	10												
計		51			17			35			20			

科専門	専攻科目		30	23	23	23
	特別研究	6	6	6	6	6
小計		79	73	78	77	73
自由選択		25	31	26	27	31
合計		134	134	134	134	134

## 備考 1 障害児教育専攻

(1) [小]は、小学校教諭普通免許状を取得する課程である。

[中]は、中学校教諭普通免許状を取得する課程である。

(2) 第一群は、理科教育及び家政教育を専攻する場合を示す。

第二群は、国語教育、英語教育、社会科教育、数学教育、技術教育、音楽教育、美術教育及び保健体育を専攻する場合を示す。

2 幼児教育専攻の専攻科目30単位には、教育職員免許法施行規則第6条の表の第四欄に定める、教職に関する科目の最低修得単位18単位を含むものとする。

3 「第二欄」、「第三欄」等は、教育職員免許法施行規則第6条の表に規定する区分である。

4 自由選択に、教養科目及び共通基礎科目の単位を10単位まで含むことができる。

## (2) 言語・社会系、自然・生活系、芸術・体育系

授業科目の区分		系・専攻		言語・社会系 国語教育、社会科教育専攻 自然・生活系 数学教育、理科教育、家政教育専攻 芸術・体育系 音楽教育、美術教育、保健体育専攻			言語・社会系 英語教育専攻 自然・生活系 技術教育専攻				
		[小]		[中]							
教養科目	人文科学系	2	6	2	2	6	2	2	6	2	
	教養原論	2			2			2			
	社会科学系	2			2			2			
	自然科学系	2	4		4		4				
総合科目		4		4		4		4			
計		18		18		18		18			
科共通基礎	外国語科目	8 (2ヶ国語各4)		8 (2ヶ国語各4)			8 (2ヶ国語各4)				
	保健体育科目	2		2			2				
	情報処理科目	2		2			2				
	言語表現科目	2		2			2				
小計		30		30			30				
専門科目	学部共通科目		4		4			4			
	教	専攻科目	12		40			40			
		小学校及び幼稚園の教科	16								
		計	28		40			40			
	職	第二欄	別表Ⅲ参照	12		8			8		
			第三欄	教科教育法	18		2			2	
		道徳教育		2		2			2		
		特別活動		2		2			2		
		第五欄	生徒指導・教育相談・進路指導	2		2			2		
	第六欄	教育実習	5		4			4			
	専攻科目		41		20			20			
特別研究		6		6			6				
小計		79		70			70				
自由選択		25		34			34				
合計		134		134			134				

- 備考 1 国語教育、社会科教育、数学教育、理科教育、家政教育、音楽教育、美術教育、保健体育専攻〔小〕は、小学校教諭普通免許状を取得する課程である。  
〔中〕は、中学校教諭普通免許状を取得する課程である。  
2 「第二欄」、「第三欄」等は、教育職員免許法施行規則第6条の表に規定する区分である。  
3 自由選択に、教養科目及び共通基礎科目の単位を10単位まで含むことができる。

2 総合教育課程

別表Ⅱ

授業科目の区分		コース	情報教育コース 環境教育コース 生涯スポーツコース		
教養科目	教養原論	人文科学系	2	6	2
		社会科学系	2		
		自然科学系	2		
	総合科目	4			
計		18			
共通基礎科目	外国語科目	8 (2ヶ国語各4)			
	保健体育科目	2			
	情報処理科目	2			
	言語表現科目	2			
小計		30			
専門科目	学部共通科目	4			
	専攻科目	54			
	特別研究	6			
小計		64			
自由選択		40			
合計		134			

学部共通科目

授業科目	開設単位	学校教育教員養成課程 総合教育課程	
		選	択
教育臨床	2	2	2
人権教育論	2	2	
教育メディア実習	2	2	
環境教育概論	2	2	
生涯スポーツ	2	2	
計	10	4	

備考 自由選択に、教養科目及び共通基礎科目の単位を10単位まで含むことができる。

別表Ⅲ

教職に関する科目

学校教育教員養成課程

免許法施行規則に定める科目区分等	授業科目	開設単位	教育学、学校心理学専攻 国語教育、社会科教育、 数学教育、理科教育、家政 教育、音楽教育、美術 教育、保健体育専攻 〔小〕			幼児教育専攻			障害児教育専攻〔小〕			障害児教育、国語教育、 社会科教育、数学教育、 理科教育、家政教育、 音楽教育、美術教育、 保健体育専攻〔中〕 技術教育、英語教育専攻		
			必修	選	択	必修	選	択	必修	選	択	必修	選	択
教育の本質及び目標に関する科目 (A群)	教育学概論	2	2			2			2			2		
	幼児教育学概論	2			2	2					2			
	教育哲学	2			2						2			
	西洋教育史	2			2						2			
	日本教育史	2			2						2			
幼児、児童又は生徒の心身の発達及び学習の過程に関する科目 (B群)	教育心理学	2	2			2			2			2		
	幼児心理学概論	2			2	2					2			
	児童心理学	2			2						2			
	生涯発達心理学	2			2						2			
	学習心理学	2			2						2			

教育に係る社会的 制度的又は経営的 な事項に関する科目 (C群)	教育社会学	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	生涯学習論	2	2		2		2			
	学級集団心理学	2	2		2		2			
	教育制度	2	2		2		2			
	教育法規	2	2		2		2			
○教育社会心理学	2									
教育の方法及び技術 (情報機器及び教材の活用を含む) に関する科目 (D群)	教育方法学	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	教育課程論	2	2		2		2			
	学習指導	2	2		2		2			
	教育工学	2	2		2		2			
小 計		4	4	8	4	4	4	4	4	

免許法施行規則 に定める科目 区 分 等	授 業 科 目	開 設 単 位	教育学, 学校心理学専攻 国語教育, 社会科教育, 数学教育, 理科教育, 家政 教育, 音楽教育, 美術 教育, 保健体育専攻 〔小〕		幼児教育専攻		障害児教育専攻〔小〕		障害児教育, 国語教育, 社会科教育, 数学教育, 理科教育, 家政教育, 音楽教育, 美術教育, 保健体育専攻〔中〕, 技術教育, 英語教育専攻		
			必修	選 択	必修	選 択	必修	選 択	必修	選 択	
教科教育法に関する科目	別表Ⅳ参照		18				12		2		
道徳教育に関する科目	道徳教育論	2	2				2		2		
特別活動に関する科目	特別活動論	2	2				2		2		
教育課程一般に関する科目	別表Ⅵ-1 (1)-③参照				18						
保育内容に関する科目											
指導法に関する科目											
生徒指導及び教育相談 に関する科目	生徒指導論(小)	2	2				2				
生徒指導, 教育相談及び 進路指導に関する科目	生徒指導論(中)	2							2		
教 育 実 習 (事前及び事後の指導1単位を含む)	教育実習(小)	7	5				5				
	教育実習(中)	6							4		
	教育実習(幼)	7			5						
合 計		33	4	4	31	4	27	4	4	16	4
			41		35		35		20		

備考 ○印を付した授業科目は、他の学部学生専用の開設授業科目である。

別表Ⅳ

教科教育法に関する科目

学校教育教員養成課程

授 業 科 目	開 設 単 位	教育学, 学校心理学専攻 国語教育, 社会科教育, 数学教育, 理科教育, 家政教育, 音楽教育, 美術教育, 保健体育専攻〔小〕	障害児教育専攻 〔小〕	障害児教育, 国語教育, 社会科教育, 数学 教育, 理科教育, 家政教育, 音楽教育, 美術教育, 保健体育専攻〔中〕 技術教育, 英語教育専攻
国語科教育法(小)	2	2	2	
社会科教育法(小)	2	2	2	
算数科教育法(小)	2	2	2	
理科教育法(小)	2	2	2	
生活科教育法(小)	2	2	2	
音楽科教育法(小)	2	2	* 2	
図画工作科教育(小)	2	2	* 2	
家庭科教育法(小)	2	2	2	
体育科教育法(小)	2	2	* 2	

国語科教育法(中)	2			2
社会科教育法(中)	2			2
数学科教育法(中)	2			2
理科教育法(中)	2			2
音楽科教育法(中)	2			2
美術科教育法(中)	2			2
保健体育科教育法(中)	2			2
技術科教育法(中)	2			2
家庭科教育法(中)	2			2
英語科教育法(中)	2			2
地理歴史科教育法	2			
公民科教育法	2			
書道科教育法	2			
計	44	18	12(6科目)	2(専攻教科1科目)

備考 障害児教育専攻〔小〕の12単位には、\*印の授業科目を2科目(4単位)以上含むものとする。

## 別表V

## 小学校及び幼稚園の教科に関する科目

## 学校教育教員養成課程

教科	授業科目	開設単位	教育学, 学校心理学専攻	幼児教育専攻		障害児教育専攻 〔小〕	国語教育, 社会科教育, 数学教育, 理科教育, 家政教育, 音楽教育, 美術教育, 保健体育専攻〔小〕
			必修	必修	選択	選択	必修
国語	小学校国語	2	2		2	2	2
社会	小学校社会	2	2			2	2
算数	小学校算数	2	2	2	4 (2教科)	2	2
理科	小学校理科	2	2			2	2
生活	小学校生活	2	2	2		2	2
音楽	ソルフェージュ	1	1	1		*1	1
	ピアノ奏法	1	1	1	*1	1	
	音楽通論	2		2			
図画工作	図画工作Ⅰ	1	1	1		*1	1
	図画工作Ⅱ	1	1	1		*1	1
	素描演習	1			1		
	絵画演習	1			1		
	彫刻Ⅰ(塑造)	1			1		
	彫刻Ⅱ(実材)	1			1		
	工芸演習	1			1		
	子どもと造形	2		1	1		
体育	小学校体育Ⅰ	1	1	1		*1	1
	小学校体育Ⅱ	1	1	1		*1	1
	体育生理学	2			2		
	救急処置・看護法	2			2		
	発育学	2			2		
家庭	小学校家庭	2	2			2	2
計		33	18	9	7	10 (*印を1教科2単位以上含む。)	16 (専攻教科の科目を除く。)
					16		

別表Ⅵ

専攻科目

1 学校教育教員養成課程

(1) 学校教育系

① 教育学

授業科目	開設単位	教育学専攻	
		必修	選択
教育哲学	2		2
西洋教育史	4		2 } 2
日本教育史	4		2 } 2
教育制度	2		2
教育行政	2		2
教育法規	2		2
教育社会学	4		2 } 2
生涯学習論	2		2
社会教育	2		2
教育調査	2		2
教育課程論	2		2
学習指導	4		2 } 2
授業研究	2		2
教育工学	2		2
教育学特別講義	4		2 } 2
教育学演習	4	4	
〔特設科目〕			
計	44	4	6
特別研究		必修6単位	

② 学校心理学

授業科目	開設単位	学校心理学専攻	
		必修	選択
発達心理学	2		2
青年心理学	2		2
教授心理学	2		2
社会心理学	2		2
学級の間関係	2		2
教育臨床心理学	2		2
発達臨床心理学	2		2
学校カウンセリング	2		2
教育統計	2		2
性格心理学	2		2
教育心理学演習	2	1	1
発達心理学演習	2	1	1
心理学研究法	2	2	
教育心理学実験Ⅰ	1	1	
教育心理学実験Ⅱ	1	1	
教育心理学特別講義	2		2
発達心理学特別講義	2		2
〔特設科目〕			
計	32	6	4
特別研究		必修6単位	

備考 専攻科目は、別表Ⅲの教職に関する科目として履修した授業科目以外のものから履修するものとする。

③ 幼児教育

専門科目区分等	授業科目	開設単位	幼児教育専攻		
			必修	選択	
幼児教育 幼児心理	幼児教育学演習	2	2		
	幼児心理学演習	2	2		
	幼児心理学研究法	2		2 } 2	
	幼児心理学特別講義	2		2 } 2	
	幼児臨床心理学	2		2 } 2	
	幼児心理学実験	1			1
	幼児の環境と文化	2			2
	幼児教育史	2		2 } 2	
家庭教育論	2		2 } 2		
教育課程一般に関する科目	幼児教育課程論	2	2		

保育内容に関する科目	保育内容総論 <sup>甲</sup>	2	2		
	保育内容「心身の健康」Ⅰ	2	2		
	保育内容「心身の健康」Ⅱ	1		1	
	保育内容「人とのかかわり」	2	2		
	保育内容「環境とのかかわり」	2	2		
	保育内容「ことば」	2	2		
	保育内容「感性と表現」Ⅰ	1	1		
	保育内容「感性と表現」Ⅱ	2	2		
	保育内容「感性と表現」Ⅲ	2			2
	保育内容「感性と表現」Ⅳ	1		1	
	保育内容特別演習	2			2
	保育内容特別講義	2			2
	指導法に関する科目	指導法(保育方法)の研究	2	2	
特設科目	障害児保育	2			2
計		44	21	5	4
特別研究				30	
			必修6単位		

(2) 障害児教育系

障害児教育

専門科目区分等	授業科目	開設単位	障害児教育専攻		
			必修	選択	
心身に障害のある幼児，児童又は生徒についての教育の本質及び目標に関する科目	障害児教育原論	2	2		
	障害児教育演習	2		2	
心身に障害のある幼児，児童又は生徒についての教育に係る社会的，制度的又は経営的な事項に関する科目	精神遅滞児教育概論	2	2		
	精神遅滞児教育演習	2		2	
	障害児教育特別講義	2		2	
心身に障害のある幼児，児童又は生徒の心理，生理及び病理に関する科目	障害児心理学	2		2	
	精神遅滞児心理学	2	2		
	障害児病理学	2	2		
	障害児精神保健学	2	2		
	障害児生理・心理演習Ⅰ	2		2	
	障害児生理・心理演習Ⅱ	2		2	
心身に障害のある幼児，児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	障害児心理・病理特別講義	2		2	
	精神遅滞児教育課程論	2	2		
	障害児教育指導法	2	2		
	障害児教育指導法演習Ⅰ	2		2	
	障害児教育指導法演習Ⅱ	2		2	
	障害児教育研究法	2		2	
	精神遅滞児心理診断実習	2	2		
障害児臨床実習	2		2		
心身に障害のある幼児，児童又は生徒についての教育実習	障害児教育指導法特別講義	2		2	
	精神遅滞児教育実習	3	3		
特設科目	障害児学概論 <sup>△</sup>	2		2	
計		45	19	4	
特別研究			23		
			必修6単位		

(3) 言語・社会系

① 国語教育

専科 区 分 等	門 目 等	授 業 科 目	開 設 単 位	国語教育専攻				障害児教育専攻	
				〔小〕		〔中〕		〔中〕	
				必修	選択	必修	選択	必修	選択
国語学	国語史	4				2	2	2	
	国語学各論	8				2	2	6	
	国語学演習	12						10	
	*国語表現論	2	2						2
	国語学概論	2	2						2
国文学	国語学特別講義	4						4	2
	日本文学史	8	2			2	2	4	2
	日本文学各論Ⅰ(古典)	6		2		2		4	2
	日本文学各論Ⅱ(近代)	6		2		2		4	2
	日本文学講読演習Ⅰ(古典)	6				1		5	
	日本文学講読演習Ⅱ(近代)	6				1		5	
漢文学	文学概論	2						2	
	日本文学特別講義	4						4	2
書道	中国文字史	4		2		2	2		2
	漢文学概論	4		2		2	2		2
	書道史	4				2	2		
	*書道各論	4				2	2	2	
	書法Ⅰ(楷書)	6	1			1		5	1
	書法Ⅱ(行書)	6	1			1		5	1
	書法Ⅲ(草書)	3				1		2	1
国語科教育	書法Ⅲ(かな)	3				1		2	1
	書法Ⅲ(篆隸)	6				1		5	1
	書道特別講義	4						4	
特設科目	国語教育概説	2						2	
	国語教育各論	4						4	
	国語教育演習	4						4	
計			124	8	4	20	10	14	6
特別研究							10		
							40		20
									6
									20
必修6単位									

備考 \*印の授業科目のうち

「国語表現論」は「音声言語」及び「文章表現」に関するものを含む科目である。

「書道各論」は「書論」及び「鑑賞」を含む科目である。

② 英語教育

専科 区 分 等	門 目 等	授 業 科 目	開 設 単 位	英語教育専攻		障害児教育専攻	
				必修	選択	〔中〕	
				必修	選択	必修	選択
英語学	英語音声学	4		2	2	2	2
	英文法学	4		2	2	2	2
	英語史	2			2		2
	英語学演習	5		1	4		5
	英語学講読	5		1	4		5
米文学	英文学史	4		2	2		4
	米文学史	2			2		2

英 米 文 学	英 米 文 学 演 習	7	1	6	7	3
	英 米 文 学 講 読 I	5	1	4	4	
	英 米 文 学 講 読 II	5	1	4	4	
	英 米 文 学 講 読 III	5	1	4	4	
英 語 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	英 会 話 I (オーラルコミュニケーション)	5	2	3	2	
	英 会 話 II (オーラルコミュニケーション)	4	1	3	1	
	英 作 文 I	5	2	3	2	
	英 作 文 II	4	1	3	1	
比 較 文 化	異 文 化 理 解 と 外 国 事 情	4	2	2	2	
英 語 科 教 育	英 語 教 育 各 論	2		2		
	英 語 教 育 演 習	3		3		
	英 語 科 特 別 講 義	10		10		
	言 語 学 概 論	2		2		
	ド イ ツ 語 中 級	4		4		
特 設 科 目						
計		91	20	20	15	5
特 別 研 究			40		20	
			必修 6 単 位			

③ 社 会 科 教 育

専 門 区 分 等	授 業 科 目	開 設 単 位	社 会 科 教 育 専 攻										障 害 児 教 育 専 攻	
			〔小〕	〔中〕								〔中〕		
				選 択	共 通 必 修	歴 史		地 理		法 律 ・ 政 治 ・ 社 会 ・ 経 済		必 修	選 択	
日 及 外 国 史 び 史	日 本 史 学 概 論	2	2	2									2	
	日 本 史 学 各 論 I	2	2		2					2			2	
	日 本 史 学 各 論 II	2	2			2				2			2	
	日 本 史 学 演 習 I	4			*2	2			4			4		
	日 本 史 学 演 習 II	4			*2	2			4			4		
	東 洋 史 学	2	2	2									2	
	西 洋 史 学 概 論	2	2	2									2	
	西 洋 史 学 各 論 I	2	2		2					2			2	
	西 洋 史 学 各 論 II	2	2			2				2			2	
	西 洋 史 学 演 習	4			*2	2			4			4		
	史 学 概 論	2				2			2			2	2	
考 古 学	2				2			2			2			
地 理 学	地 理 学 総 論 I	2	2	2									2	
	地 理 学 総 論 II	2	2	2									2	
	地 誌 学 I	4	4	2		2			2			2	2	
	地 誌 学 II	4			2	2	2		2			4	2	
	人 文 地 理 学 各 論 I	2			2				2			2	2	
	人 文 地 理 学 各 論 II	2				2			2			2	2	
	人 文 地 理 学 各 論 III	2				2			2			2		
	人 文 地 理 学 各 論 IV	2				2			2			2		
	自 然 地 理 学 各 論 I	2			2				2			2	2	
	自 然 地 理 学 各 論 II	2				2			2			2		
	地 図 学	2				2			2			2		
地 理 学 演 習	4				4	4					4			
地 理 学 実 験	4				4	4					4			
地 理 学 巡 検	2					2								
法 律 学	法 学 概 論 (国 際 法 を 含 む。)	2	2	2									2	
	憲 法	2	2			2			2	2				
	法 律 学 各 論	2				2			2		★2			
	法 律 学 演 習	4				4			4		☆2	2		

政治学	政治学概論Ⅰ(国際政治を含む。)	2	2					2							2
	政治学概論Ⅱ	2	2					2							
	政治学各論Ⅰ	2						2		★2					
	政治学各論Ⅱ	2						2		2					
	政治学演習	4						4		☆2	2				
社会学	社会学概論Ⅰ	2	2					2							2
	社会学概論Ⅱ	2	2					2	2						
	社会学各論Ⅰ	2						2		★2					
	社会学各論Ⅱ	2						2		2					
	社会学各論Ⅲ	2						2		2					
	社会学演習	4						4		☆2	2				
経済学	経済原論Ⅰ(国際経済を含む。)	2	2					2							2
	経済原論Ⅱ	2	2					2	2						
	経済史	2						2		★2					
	経済学各論Ⅰ	2						2		2					
	経済学各論Ⅱ	2						2		2					
	経済学演習	4								☆2	2				
哲学, 倫理学, 宗教学, 心理学	哲学	2		2											2
	倫理学	2		2											2
	宗教学	2						2		★2					
	心理学概論	2						2		2					
	社会心理学	2						2		2					
社会科教育	認知心理学 <sup>※</sup>	2						2		2					
	社会科教育演習(地理・歴史)	2						2		2					
	社会科教育演習(公民)	2						2		2					
	社会科特別講義(地理・歴史)	4						4		4					
社会科特別講義(公民)	4							4		4					
特設科目															
計	140	12	22	10	2	6	16	2	8	4	6	12	8		
			40				40				20				
			(共通必修22を含む。)				(共通必修22を含む。)								
特別研究			必修6単位												

- 備考 1 ・\*印のうちから、いずれか1科目(2単位)を修得するものとする。  
 ・★印のうちから、いずれか1科目(2単位)を修得するものとする。  
 ・☆印のうちから、いずれか1科目(2単位)を修得するものとする。  
 2 専攻科目の40単位は、心理学概論、社会心理学、認知心理学以外の授業科目から修得するものとする。

(4) 自然・生活系

① 数学教育

専 門 科 区 分 等	授 業 科 目	開 設 単 位	数 学 教 育 専 攻				障 害 児 教 育 専 攻	
			〔小〕		〔中〕		〔中〕	
			選 択	必 修	選 択	必 修	選 択	必 修
代 数 学	線 形 代 数 学	4		2		2		2
	代 数 学 Ⅰ	4	4	4			4	
	代 数 学 Ⅱ	2			2			
幾 何 学	集 合 と 位 相	2		2				2
	幾 何 学 Ⅰ	4	4	4			4	
	幾 何 学 Ⅱ	2			2			
解 析 学	解 析 学 Ⅰ	4	4	4			4	
	解 析 学 Ⅱ	4		2	2			
	関 数 解 析 学	2				2		
確 率 論 統 計 学	統 計 学	2	2	2			2	
	確 率 論	2			2			2

コンピュータ	計 算 機 論	2	2	2	2	*2	2	*2
	情 報 基 礎 論	2	2					
応 用 数 学	応 用 数 学	4					4	
	応 用 数 理 A	2					2	
	応 用 数 理 B	2					2	
数 学 科 教 育	数 学 科 教 育 各 論	2					2	
	数 学 セ ミ ナ ー	2	2	2				
	数 学 特 別 講 義	8					8	
特 設 科 目								
計		56	12		22	6	14	6
						12	20	
					40			
特 別 研 究				必 修 6 単 位				

備考 \*印を含めて修得するものとする。

② 理 科 教 育

専 科 区 分	門 目 等	授 業 科 目	開 設 単 位	理 科 教 育 専 攻										障 害 児 教 育		
				〔小〕		〔中〕								〔中〕		
				必 修	選 択	物 理 必 修	物 理 選 択	化 学 必 修	化 学 選 択	生 物 必 修	生 物 選 択	地 学 必 修	地 学 選 択	必 修	選 択	
物 理 学	一 般 物 理 学 I	2	2		2		2		2		2		2		2	
	一 般 物 理 学 II	2		2	2		2		2		2		2		2	
	一 般 物 理 学 III	2		2	2		2		2		2		2			
	物 理 学 各 論 I	2			2		2		2		2		2			
	物 理 学 各 論 II	2			2		2		2		2		2			
	物 理 学 各 論 III	2			2		2		2		2		2			
	物 理 学 各 論 IV	2			2		2		2		2		2			
	物 理 学 各 論 V	2			2		2		2		2		2			
	物 理 学 演 習	2			2		2		2		2		2			
	物 理 学 特 別 講 義	2			2		2		2		2		2			
	物 理 学 実 験 I	2		2	2		2		2		2		2		2	
	物 理 学 実 験 II	2			2		2		2		2		2			
化 学	化 学 総 論 I	2	2		2		2		2		2		2		2	
	化 学 総 論 II	2		2	2		2		2		2		2		2	
	化 学 各 論 I	2			2		2		2		2		2			
	化 学 各 論 II	2			2		2		2		2		2			
	化 学 各 論 III	2			2		2		2		2		2			
	化 学 各 論 IV	2			2		2		2		2		2			
	化 学 各 論 V	2			2		2		2		2		2			
	化 学 演 習	2			2		2		2		2		2			
	化 学 特 別 講 義	2			2		2		2		2		2			
	化 学 実 験 I	2		2	2		2		2		2		2		2	
	化 学 実 験 II	2			2		2		2		2		2			
	化 学 実 験 III	2			2		2		2		2		2			
生 物 学	生 物 学 総 論 I	2	2		2		2		2		2		2		2	
	生 物 学 総 論 II	2		2	2		2		2		2		2		2	
	生 物 学 各 論 I	2			2		2		2		2		2			
	生 物 学 各 論 II	2			2		2		2		2		2			
	生 物 学 各 論 III	2			2		2		2		2		2			
	生 物 学 各 論 IV	2			2		2		2		2		2			
	生 物 学 各 論 V	2			2		2		2		2		2			
	生 物 学 各 論 VI	2			2		2		2		2		2			
	生 物 学 特 別 講 義	2			2		2		2		2		2			
	生 物 学 実 験 I	2		2	2		2		2		2		2		2	
	生 物 学 実 験 II	2			2		2		2		2		2			
	生 物 学 実 験 III	1			1		1		1		1		1		1	
生 物 学 野 外 実 習	1			1		1		1		1		1		1		

地 学	地 学 総 論 I	2	2		2		2		2		2		2		2	
	地 学 総 論 II	2		2	2		2		2		2		2		2	
	地 学 各 論 I	2				2		2		2		2				
	地 学 各 論 II	2				2		2		2		2				
	地 学 各 論 <sup>△</sup> III	2				2		2		2			2			
	地 学 各 論 <sup>□</sup> IV	2				2		2		2			2			
	地 学 各 論 V	2				2		2		2			2			
	地 学 特 別 講 義	4				4		4		4			4			
	地 学 実 験 I	2		2	2		2		2		2		2		2	
	地 学 実 験 II	1				1		1		1		1	1			
	地 学 実 験 III	1				1		1		1		1	1			
	地 学 野 外 巡 検	2				2		2		2		2	2			
理 科 教 育	理 科 教 育 各 論 I	2		2		2		2		2		2		2		
	理 科 教 育 各 論 II	2		2		2		2		2		2		2		
	理 科 教 育 特 別 講 義	2		2		2		2		2		2		2		
特 設 科 目																
計		102	8	4	32	8	32	8	32	8	32	8	32	8	24	
特 別 研 究			12		40		40		40		40		40		24	
特 別 研 究			必 修 6 単 位													

③ 技 術 教 育

専 門 教 育 区 分 等	授 業 科 目	開 設 単 位	技 術 教 育 専 攻				障 害 児 専 攻				
			必 修		選 択		[ 中 ]				
			必 修	選 択	必 修	選 択	必 修	選 択	選 択		
木 材 加 工	図 子 <sup>△</sup> ・ 製 図	2	2			2					
	木 材 加 工 学	2			2						
	木 材 加 工・ 同 実 習	2	2			2					
金 属 加 工	金 属 加 工 学	2			2						
	金 属 加 工・ 同 実 習	2	2			2					
機 械	機 械 工 学 概 論	4	4			2	2				
	材 料 力 学	2		2	2			2			
	工 業 力 学	2		2							
	工 業 熱 力 学	2				2					
	機 構 学	2		2							
	機 械 設 計 法	2				2					
	機 械 工 作 法	2		2							
	機 械 材 料	2			2						
	機 械 工 学 演 習	2	1		1	1					
機 械 工 学 実 験・ 実 習	2	1		1	1						
電 気	電 気 工 学 概 論	4	4			2	2				
	電 子 回 路	2		2	2						
	電 気 回 路	2		2							
	電 子 工 学	4		2		2					
	電 気 応 用	2		2							
	電 気 機 器 学	2			2						
	電 気 工 学 演 習	2	1		1	1					
	電 気 工 学 実 習	2	1		1	1					
電 気 工 学 実 験	2			2							
栽 培	栽 培 学	2	2								
	園 芸 学	2			2						
	作 物 学	2			2						
	応 用 昆 虫 学	2			2						
	土 壤 肥 料 学	2			2						
	栽 培 学・ 同 実 習	2	2			2					
栽 培 学 実 験	1			1							

情報基礎	情報基礎概論	4			4		
	情報基礎・同実習	2	2			2	
技術科教育	技術科教育概論	2			2		
	技術科教育演習	2			2		
	基礎技術科教育ゼミナール	1			1		
	技術科教育ゼミナール	1			1		
	技術科特別講義	6			6		
特設科目							
計		85	24	4	12	18	2
				40		20	
特別研究		必修6単位					

④ 家政教育

専 門 科 目 区 分 等	授 業 科 目	開設 単 位	家 政 教 育 専 攻				障 害 児 教 育 専 攻	
			〔小〕		〔中〕		〔中〕	
			必 修	選 択	必 修	選 択	必 修	選 択
家庭経営学	家庭管理学	2				2		
	家庭管理学実験	1				1		
	家族関係学	2	2		2		2	
	家庭経済学	2		2	2		2	
	家政学原論	2		2		2		
被 服 学	被服材料学	2	2		2		2	
	被服整理学Ⅰ	2				2		
	被服整理学Ⅱ	2				2		
	被服構成学Ⅰ	2		2	2	2		2
	被服構成学Ⅱ	2			2			
	被服衛生学 <sup>学</sup>	2			2			2
	被服材料学実験	1		1	1	1		
	被服整理学実験Ⅰ	1			1			
	被服整理学実験Ⅱ	1			1			
	被服構成学実験	1		1	1			
	被服衛生学実験	1				1		
	被服構成学実習Ⅰ	1	1		1		1	
	被服構成学実習Ⅱ	1				1		
	被服構成学実習Ⅲ	1				1		
生活デザイン	2				2			
食 物 学	栄養学Ⅰ	2	2		2		2	
	栄養学 <sup>学</sup> Ⅱ	2				2		
	食品学Ⅰ	2		2	2		2	
	食品学Ⅱ	2				2		
	食品衛生学	2			2	2		2
	調理科学	2		2	2			2
	栄養学演習	1				1		
	栄養学実験	1				1		
	食品学実験Ⅰ	1		1	1			
	食品学実験Ⅱ	1				1		
	食品衛生学実験	1				1		
	調理科学実験	1		1	1		1	
	調理Ⅰ	1	1		1		1	
	調理Ⅱ	1				1		
	調理Ⅲ	1				1		
食文化論	2				2			
住 居 学	住居学Ⅰ	2	2		2		2	
	住居学Ⅱ	2				2		
	住居学Ⅲ	2				2		

	住居学演習	1				1	} 1		
	住居学実験	1				1			
	製 図	1		1	1			1	
保 育 子 学	保育学Ⅰ(家庭看護を含む。)	2		2	2			2	
	保 育 学 Ⅱ	2						2	
家庭電気・機械	家庭電気・機械	2		2	2			2	
	家庭電気・機械実習	1						1	
	情 報 処 理	2						2	
家庭科教育	家庭科教育各論	2						2	
	家庭科教育演習	2						2	
	家庭科特別講義	6						6	
特設科目									
計		82	10	2	22	6		20	4
			12			12		24	
特別研究					40				
			必修 6 単 位						

備考 専攻科目の40単位は、情報処理以外の授業科目から修得するものとする。

(5) 芸術・体育系

① 音楽教育

専 門 区 分 等	授 業 科 目	開 設 単 位	音 楽 教 育 専 攻				障 害 児 教 育 専 攻	
			〔小〕		〔中〕		〔中〕	
			必 修	選 択	必 修	選 択	必 修	選 択
ソルフェージュ	ソルフェージュⅠ	2	2		2		2	
	ソルフェージュⅡ	2				2		
声 楽	独 唱 法 Ⅰ	2	2		2		2	
	独 唱 法 Ⅱ	2			*2			*2
器 楽	合 唱 法	4	1		2	2	2	
	ピ ア ノ 奏 法 Ⅰ	2	2		2		2	
	ピ ア ノ 奏 法 Ⅱ	2			*2			*2
	管 楽 器 奏 法	3			3			3
	弦 楽 器 奏 法	5			5			5
	打 楽 器 奏 法	2			2			2
	合 奏 法	4	1		2		2	
指 揮 法	指 揮 法	2	1		2		2	
音 楽 理 論 , 作 曲 法 及 音 楽 史	音 楽 理 論	1	1		1		1	
	和 声 学 Ⅰ	2				2		
	和 声 学 Ⅱ	2				2		
	対 位 法	2				2		
	作 曲 法 Ⅰ	1			1		1	
	作 曲 法 Ⅱ	2				2		
	音 楽 史 概 論	2	2		2		2	
	西 洋 音 楽 史	2				2		
日 本 音 楽 史	2				2			
民 族 音 楽 学	2				2			
音 楽 科 教 育	音 楽 科 教 育 各 論	2				2		
	音 楽 特 別 講 義	14				14		
	音 楽 通 論	2						
特設科目								
計		68	12		16	4	16	4
			12		40	20	20	
特別研究			必修 6 単 位					

備考 \*印のうちから、いずれか1科目(2単位)を修得するものとする。

② 美術教育

専科 区	門目 分	授業 科目	開設 単位	美術教育専攻				障害児 教育専攻	
				〔小〕		〔中〕		〔中〕	
				選	択	必 修	選 択	必 修	選 択
絵	画	造形の基礎Ⅰ	1	1	2		1		1
		絵画論	2	2			2		2
		素描	6	6			2		6
		素描演習	2	2			2		2
		絵画	8	8			2		8
		絵画演習	2	2			2		2
		絵画技法演習	4	4			4		4
		版画	2	2			2		2
野外風景実習	2	2		2		2			
彫	刻	造形の基礎Ⅱ	1	1	2		1		
		彫刻論	2	1			2		
		彫刻Ⅰ(塑造)	8	2			2	2	
		彫刻Ⅱ(実材)	8	2			2	2	
		彫刻屋外実習	2	1				2	
		彫刻技法演習	3	1				3	
デザイン		造形の基礎Ⅲ	1	1	2		1		
		デザイン論	2	2			2		
		デザインⅠ(機器)	4	2				4	2
		デザインⅡ(伝達)	4	2			2	2	
		デザインⅢ(環境)	4	2				4	
		総合デザイン実習	4	2				4	
		デザイン技法演習	4	1				4	
		図法及び製図	2	1				2	
工	芸	造形の基礎Ⅳ	1	1	2		1		
		工芸論	2	2			2		
		工芸Ⅰ(木工)	4	2			2	2	1
		工芸Ⅱ(金工)	4	2				4	1
		工芸Ⅲ(陶芸)	4	2				4	
		工芸演習	2	2			2		2
		工芸技法演習	3	1				3	
美術理論 及美術史		造形の基礎Ⅴ	1	1	2		1		
		美術理論	4	2			2	2	
		美術理論・美術史演習	4	2				4	
		美術史	10	6			2	8	2
		美術史実習	2	2				2	
美術科教育		美術科教育基礎	1	1	2		1		
		美術科教育論	4	2				4	
		美術科教育各論	4	2				4	
		美術科教育演習	4	2				4	
		子どもと造形	4	2				4	
		美術教材実習	4	2				4	
特設科目									
計			140	12		20	20	16	4
特別研究						40		20	
					必修		6		単位

## ③ 保 健 体 育

専 科 区 門 目 分	授 業 科 目	開 設 単 位	保 健 体 育 専 攻				障 害 児 教 育 専 攻		
			〔 小 〕		〔 中 〕		〔 中 〕		
			必 修	選 択	必 修	選 択	必 修	選 択	
体 育 実 技	体 操 I	2		1	1	1	1	1	
	体 操 II	2		1			2		
	舞 踊 I	2		1		1	1	1	
	舞 踊 II	2		1			2		
	器 械 運 動 I	2		1	2	1	1		
	器 械 運 動 II	2		1			2		
	陸 上 競 技 I	2		1		1	1	1	
	陸 上 競 技 II	2		1			2		
	バ レ ー ボ ー ル	2		1	2	1	1	1	
	バ ス ケ ッ ト ボ ー ル	2		1		1	1	1	
	サ ッ カ ー	2		1			2		
	テ ニ ス	2		1			2		
	ソ フ ト ボ ー ル	2		1			2		
	バ ド ミ ニ ョ ン	2					2		
	ハ ン ド ボ ー ル	2					2		
	柔 道	2					2		
	剣 道	2					2		
	水 泳 I	2		1	1	1	1		
水 泳 II	2		1			2			
登 山	2		1				2		
ス キ ー I	3		1				3		
ス キ ー II	3		1			3			
体 育 原 理・ 体 育 心 理 学・ 体 育 経 営 管 理 学・ 体 育 社 会 学・ 運 動 学	体 育 原 理	2		2	2	2		2	
	体 育 史	2		2			2		
	体 育 心 理 学	2		2		2		2	
	体 育 経 営 管 理 学	2		2			2		
	体 育 社 会 学	2		2			2		
	身 体 運 動 学	2		2		2		2	
生 理 学	運 動 技 術 論	2		2		2			
	体 育 生 理 学	2		2	2		2		
衛 生 学 及 び 公 衆 衛 生 学	体 育 解 剖 学	2		2		2			
	衛 生 学	2		2	2		2		
学 校 保 健	学 校 保 健 管 理	2		2	2	2		2	
	精 神 保 健	1		1		1		1	
	救 急 処 置 ・ 看 護 法	2		2		2		2	
	発 育 学	2		2			2		
保 健 体 育 科 教 育	保 健 体 育 教 育 論	2		2		2			
特 設 科 目	保 健 体 育 特 別 演 習	2	2			2			
	保 健 体 育 特 別 講 義	10					10		
計		87	2	10	24	16	20		
特 別 研 究			12		40		20		
			必 修 6 単 位						

2 総合教育課程

① 情報教育

授業科目名		開設 単 位	情報教育コース		
			必修	選	択
課 通 程 科 共 目	教育情報科学概論	2	2		
	科学技術史	2		2	} 2
	自然環境教育論	2		2	
	運動処方論	2	2		
情報処理Ⅰ	2	2			
情報処理演習Ⅰ	2	2			
情報処理Ⅱ	2	2			
情報処理演習Ⅱ	2	2			
システム管理	2				2
計算機概論	2	2			
情報科学概論	2	2			
システム設計	2				2
知識工学	2				2
ソフトウェア科学	2				2
微分・積分学	2	2			
線形代数学	2	2			
確率・統計学 <sup>※</sup>	2				2
情報数学	2				2
計算科学	2				2
教育メディア論	2				2
授業システム論	2				2
教育統計	2				2
教育情報科学特別講義	2				2
教材デザイン論	2				2
インターフェースデザイン論	2				2
情報教育論	2				2
情報教育特別講義	2				2
認知科学概論	2	2			
認知科学 <sup>※</sup> 演習	2				2
認知科学特別講義	2				2
生体情報システム論	2				2
生体情報システム特別講義	2				2
情報教育基礎ゼミナール	4	4			
情報教育ゼミナール	4	4			
[ 特設科目 ]					
計	72	30	2	22	
特別研究				54	
		必修 6 単位			

② 環境教育

授業科目名		開設 単 位	環境教育コース		
			必修	選	択
課 通 程 科 共 目	教育情報科学概論	2	2		
	科学技術史	2		2	} 2
	自然環境教育論	2		2	
	運動処方論	2	2		
ボランティア概論	2				2
ボランティア活動	2				2
環境保護活動論	2				2
自然環境教育法	2				2

自然環境野外実習	2			2
環境物理学総論	2	2		
環境物理学Ⅰ	2			2
環境物理学Ⅱ	2			2
環境物理学各論Ⅰ	2			2
環境物理学各論Ⅱ	2			2
環境物理学各論Ⅲ	2			2
環境物理学各論Ⅳ	2			2
環境物理学演習	2			2
環境物理学実験Ⅰ	2	2		
環境物理学実験Ⅱ	2			2
環境化学総論	2	2		
環境化学Ⅰ	2			2
環境化学Ⅱ	2			2
環境化学各論Ⅰ	2			2
環境化学各論Ⅱ	2			2
環境化学各論Ⅲ	2			2
環境化学各論Ⅳ	2			2
環境化学演習	2			2
環境化学実験Ⅰ	2	2		
環境化学実験Ⅱ	2			2
環境生物学総論	2	2		
環境生物学Ⅰ	2			2
環境生物学Ⅱ	2			2
環境生物学各論Ⅰ	2			2
環境生物学各論Ⅱ	2			2
環境生物学各論Ⅲ	2			2
環境生物学各論Ⅳ	2			2
環境生物学演習	2			2
環境生物学実験Ⅰ	2	2		
環境生物学実験Ⅱ	2			2
環境地学総論	2	2		
環境地学Ⅰ	2			2
環境地学Ⅱ	2			2
環境地学各論Ⅰ	2			2
環境地学各論Ⅱ	2			2
環境地学各論Ⅲ	2			2
環境地学各論Ⅳ	2			2
環境地学演習	2			2
環境地学実験Ⅰ	2	2		
環境地学実験Ⅱ	2			2
環境と法	2			2
環境と経済	2			2
地域環境論Ⅰ	2			2
地域環境論Ⅱ	2			2
地域環境論Ⅲ	2			2
地域環境論Ⅳ	2			2
生活環境論Ⅰ	2			2
生活環境論Ⅱ	2			2
環境情報デザインⅠ	2			2
環境情報デザインⅡ	2			2
情報処理	2			2
情報処理演習	2			2
教育統計	2			2
環境科学特論Ⅰ	2			2
環境科学特論Ⅱ	2			2
環境科学特論Ⅲ	2			2
[ 特設科目 ]				
計	130	20	2	32
				54
特別研究				必修 6 単位

③ 生涯スポーツ

授業科目名		開設単	生涯スポーツコース		
			位必修	選	択
課通 程科 共目	教育情報科学概論	2	2		
	科学技術史	2		2	} 2
	自然環境教育論	2		2	
	運動処方論	2	2		
	生涯スポーツ論	2	2		
	余暇論	2			2
	スポーツ比較文化論	2	2		
	スポーツ経営論	2			2
	スポーツマーケティング論	2			2
	社会体育概論	2			2
	スポーツジャーナリズム論	2			2
	スポーツ生理学	2			2
	解剖学	2			2
	バイオメカニクス	2	2		
	スポーツ心理学	2			2
	スポーツと栄養	2			2
	スポーツ指導論	2			2
	体力診断の理論	2			2
	体力トレーニング論	2			2
	野外活動論	2	2		
	スポーツ医学	2			2
	救急法	2			2
	スポーツ関係法規論	2			2
	スポーツカウンセリング論	2			2
	生涯スポーツ特別講義	10			10
	運動処方演習	4		2	} 6
	体力トレーニング演習	4		2	
	ストレッチング演習	4		2	
	テーピング演習	4		2	
	野外活動演習	4		2	
	スポーツマーケティング演習	4		2	
	バイオメカニクス演習	4		2	
	フィールドワーク演習	4		2	
	スキー	3	1	1	
	テニス	3	1	1	

ゴルフ	3	1	1	} 4	1
エアロビクス	3	1	1		1
水泳	3	1	1		1
野外活動	3	1	1		1
施設実習	10	5			5
[特設科目]					
計	118	23	12		19
					54
特別研究		必修	6		単位

別表Ⅶ

取得できる免許状の種類

課程	免許状の種類	
学校教育教員 養成課程	小学校教諭1種免許状	
	中学校教諭1種免許状の教科	高等学校教諭1種免許状の教科
	国語	国語
	社会	地理歴史
	数	公民
	理	数学
	音	音楽
	美	美術
	保健	音楽
	家庭	書道
英	英語	
	幼稚園教諭1種免許状	
	養護学校教諭1種免許状	

備考 教育職員免許法施行規則に定める所定の単位を修得したときは、複数の免許状をあわせて取得することができる。

別表Ⅷ

免許状の種類	授業科目	開設単位
ドイツ語	ドイツ語科教育法	2
中国語	中国語科教育法	2
商業	商業科教育法	2
工業	工業科教育法	2

## 富山大学経済学部規則の一部改正

### 富山大学経済学部規則の改正理由

- 1 授業科目を増設及び変更し、教育及び授業内容の充実を図るため、所要事項を改める。
- 2 字句の整備を行う。

富山大学経済学部規則の一部を改正する規則を次のとおり制定する。

平成9年3月21日

富山大学長 小黑 千足

### 富山大学経済学部規則の一部を改正する規則

富山大学経済学部規則（昭和50年6月27日制定）の一部を次のように改正する。

別表第1及び別表第2を次のように改める。

### 附則

- 1 この規則は、平成9年4月1日から施行する。
- 2 平成8年度以前の入学者については、なお従前の例による。

別表第1

授 業 科 目 及 び 単 位 数

昼間主コース

系 列	授 業 科 目	経済学科			経営学科			経営法学科			系 列	授 業 科 目	経済学科			経営学科			経営法学科				
		必 修	選 択 必 修	選 択	必 修	選 択 必 修	選 択	必 修	選 択 必 修	選 択			必 修	選 択 必 修	選 択	必 修	選 択 必 修	選 択	必 修	選 択 必 修	選 択		
経済学	理論経済学	ミマ									経営学系	管理科学											
		ク									基礎法	分析											
		ク										憲法											
		ク										行政											
		ク										刑法											
		ク										民法											
	ク									国際													
	比較経済論	経									民法	民法											
		経										債権											
		経										担保											
		経										引論											
		経										執行											
経										破産													
政策科学	経									企業関係法	商												
	経										手												
	経										取												
	経										保												
	経										費												
	経										用												
応用経済学	融									共通	演												
	融										習												
	融										習												
	融										習												
	融										習												
	融										習												
経営学	経									共通	演												
	経										論												
	経										文												
	経										文												
	経										演												
	経										習												
	経										習												
	経										習												
	経										習												
	経										習												
	経										習												
	経										習												
応用経営学	流									備考	1												
	マ										2												
	交											3											
	保																						
	リ																						
	貿																						
管理科学	流																						
	マ																						
	交																						
	保																						
	リ																						
	貿																						

授 業 科 目 及 び 単 位 数

夜間主コース

系	列	授 業 科 目	開設 単位	経済学科			経営学科			経営法学科			系	列	授 業 科 目	開設 単位	経済学科			経営学科			経営法学科			
				必 修	選 択 必 修	選 択	必 修	選 択 必 修	選 択	必 修	選 択 必 修	選 択					必 修	選 択 必 修	選 択	必 修	選 択 必 修	選 択				
経済	理論経済学	ミマ	4		4				4			4	基礎	憲行	法	4					4				4	
		クク	4		4				4			4			地方自治	政	4					4				4
		口治	4		4				4			4				地	4					4				4
		経済	4		4				4			4			地	4					4				4	
経済	比較経済学	経済	4		4				4			4	営法	地	4					4				4		
		史	4		4				4			4		刑	4					4				4		
		界	4		4				4			4		事	4					4				4		
		本	4		4				4			4		訴	4					4				4		
		本	4		4				4			4		訟	4					4				4		
	学	政策科学	政策	4		4				4			4	法	英	4					4				4	
			業	4		4				4			4		比	4					4				4	
			社	4		4				4			4		較	4					4				4	
			資	4		4				4			4		政	4					4				4	
			源	4		4				4			4		國	4					4				4	
学	応用経済学	金融	4		4				4			4	系	財	4					4				4		
		融	4		4				4			4		產	4					4				4		
		機	4		4				4			4		法	4					4				4		
		政	4		4				4			4		事	4					4				4		
		方	4		4				4			4		金	4					4				4		
		國	4		4				4			4		融	4					4				4		
		地	4		4				4			4		破	4					4				4		
		方	4		4				4			4		事	4					4				4		
		際	4		4				4			4		取	4					4				4		
		際	4		4				4			4		訴	4					4				4		
学	経営学	経営	4		4				4			4	共	經	8									8		
		管	4		4		4		4			4		營	8	8							8			
		管	4		4		4		4			4		學	8								8			
		理	4		4		4		4			4		卒	6								6			
		管	4		4		4		4			4		業	6								6			
		理	4		4		4		4			4		論	6								6			
		論	4		4		4		4			4		文	6								6			
		史	4		4		4		4			4		文	6								6			
		論	4		4		4		4			4		講	4								4			
		計	4		4		4		4			4		門	4	2							2			
学	応用経営学	流通	4		4				4			4	通	社	4								4			
		交	4		4				4			4		会	4							4				
		保	4		4				4			4		計	4							4				
		理	4		4				4			4		情	4							4				
		管	4		4		4		4			4		報	4							4				
		理	4		4		4		4			4		論	4	2							4			
		論	4		4		4		4			4		原	4								4			
		論	4		4		4		4			4		理	4								4			
		論	4		4		4		4			4		論	4								4			
		論	4		4		4		4			4		會	4								4			
学	管理科学	経営	4		4				4			4	系	日	2								2			
		管	4		4		4		4			4		本	2							2				
		理	4		4		4		4			4		史	2							2				
		学	4		4		4		4			4		学	2							2				
		概	4		4		4		4			4		概	2							2				
		説	4		4		4		4			4		論	2							2				
		数	4		4		4		4			4		説	2							2				
		分	4		4		4		4			4		論	2							2				
		析	4		4		4		4			4		概	2							2				
		計	4		4		4		4			4		説	2							2				

備考  
 1 この表に掲げる授業科目のほか、特殊講義を設けることができる。  
 2 自由科目としての教養科目及び共通基礎科目を専門科目の選択科目とし卒業要件単位に含めることができる。  
 3 教育職員免許状取得のための授業科目は、卒業要件単位のうちに加えない。

別表第2

## 単 位 修 得 方 法

(昼間主コース)

区 分			経 済 学 科	所要単位	経 営 学 科	所要単位	経 営 法 学 科	所要単位		
専 門 科 目	専 攻 科 目	必 修	経済学基礎演習	2	経営学基礎演習	2	法学基礎演習	2		
			経営学基礎演習		経済学基礎演習		2		法学演習	8
			経済学演習		経営学演習		8		法学卒業論文	6
			経営学演習		経営学卒業論文		6		経済学卒業論文	6
専 門 科 目	専 攻 科 目	選 択 必 修	ミクロ経済学	12	経営学概論	12	憲法Ⅰ	12		
			マクロ経済学		会計学総論		刑法総論			
			政治経済学		流通総論		民法総則			
			経済学入門		経営基礎数学		法学Ⅰ			
専 門 科 目	専 攻 科 目	選 択	経済学系	64以上	経営学系	64以上	法学Ⅱ	92		
			経営・経営法学系、共通		経営法学系		92以上			
			自由科目としての教養科目 及び共通基礎科目 (10単位まで)		自由科目としての教養科目 及び共通基礎科目 (10単位まで)		自由科目としての教養科目 及び共通基礎科目 (10単位まで)			
			合計		108以上		108以上		108以上	

注 30単位を限度として、夜間主コースで開講される専門科目から履修することができる。  
ただし、演習、専門基礎科目、外国書講読及び卒業論文は除く。

## 単 位 修 得 方 法

(夜間主コース)

区 分			経 済 学 科	所要単位	経 営 学 科	所要単位	経 営 法 学 科	所要単位	
専 門 科 目	専 攻 科 目	必 修	経済学演習	8	経営学演習	8	法学演習	8	
			経営学演習		経済学演習		8		法学演習
			法学演習		経営学演習		8		法学卒業論文
			経営学演習		経営学演習		8		経営法学系
専 門 科 目	専 攻 科 目	選 択 必 修	ミクロ経済学	12	経営学概論	12	憲法Ⅰ	12	
			マクロ経済学		簿記原理		刑法Ⅰ		
			政治経済学		流通総論		民法Ⅰ		
			経済学入門		経営科学概説		法学		
専 門 科 目	専 攻 科 目	選 択	経済学系	94以上	経営学系	94以上	法学Ⅱ	94以上	
			経営・経営法学系、共通		経営法学系		32以上		
			自由科目としての教養科目 及び共通基礎科目 (8単位まで)		自由科目としての教養科目 及び共通基礎科目 (8単位まで)		自由科目としての教養科目 及び共通基礎科目 (8単位まで)		
			合計		102以上		102以上		102以上

注 30単位を限度として、昼間主コースで開講される専門科目から履修することができる。  
ただし、基礎演習、演習、専門基礎科目、外国書講読及び卒業論文は除く。

## 富山大学理学部規則の一部改正

### 富山大学理学部規則の改正理由

- 1 教養教育のカリキュラム等の見直しに伴い、所要の改正を行う。
- 2 専門科目のカリキュラムを見直し、教育内容の充実を図るため、所要の改正を行う。

富山大学理学部規則の一部を改正する規則を次のとおり制定する。

平成9年3月21日

富山大学長 小黑 千足

### 富山大学理学部規則の一部を改正する規則

富山大学理学部規則（昭和52年5月16日制定）の一部を次のように改正する。

別表Ⅰ（第3条第2項関係）及び別表Ⅱ（第4条関係）を次のように改める。

#### 附 則

- 1 この規則は、平成9年4月1日から施行する。
- 2 平成8年度以前の入学者については、なお従前の例による。

別表Ⅰ（第3条第2項関係）

授業科目及び単位数

教養科目及び共通基礎科目

区分	主 題 等	授 業 科 目	単位数
教 養 科 目	人 文 系	思想と倫理	哲学のすすめ 2 人間と倫理 2
		こころの科学	こころの科学 2
	現代と教育	現代と教育 2	
	歴 史 の 世 界	日本の歴史と社会	2
		東洋の歴史と社会	2
	西洋の歴史と社会	2	
	文 学 の 世 界	日 本 文 学	2
		外 国 文 学	2
	言 語 と 文 化	言 語 と 文 化 2	
	芸 術 の 世 界	音 楽 2 美 術 2	
	社 会 系 科 目	社会理論と現代	社会科学の方法と理論 2 現代社会論 2
		法 と 政 治	日本国憲法
	国家と市民		2
	経済生活と法		2
市民生活と法	2		
	経済・経営データを読む	2	

教 養 科 目	社 会 系 科 目	産 業 と 経 済	企 業 と 仕 事 2 世界経済の過去と現在 2 日本の経済と産業 2 日本の企業経営 2
		地 域 と 生 活	地域の経済と社会・文化 2
	地 球 と 環 境	地球の構造と活動	2
		地球の環境	2
	生 命 の 世 界	生命の世界	2
		自 然 の 構 造	宇宙の構造
	化学物質の世界		2
	物質の構造	2	
	量子の世界	2	
	数 理 の 世 界	自然と情報の数理	2
		社会と情報の数理	2
	技 術 の 世 界	技術の世界	2
		材料の科学	2
	生 活 の 科 学	生活の科学	2
睡眠の科学		2	
情 報 の 科 学	コンピュータの話	2	
教 養 原 論 演 習			2又は4
科 目	総 合 科 目	環 境	2
		生 と 死	2
		ジェンダー(性)	2
		心 と 身 体	2
		技 術 と 社 会	2
		現 代 文 化	2
		人 権 と 福 祉	2
		環 日 本 海	2
		科 学 と 社 会	2
		現代の世界(時事的問題)	2
		トータルコミュニケーション	2
		総合科目特殊講義	2
		日 本 事 情	6
		共 通 基 礎 科 目	外 国 語 科 目
英 語 B	4		
ド イ ツ 語 A	4		
ド イ ツ 語 B	4		
フ ラ ン ス 語 A	4		

共通 基 目	外国語	フランス語 B	4
		中国語 A	4
		中国語 B	4
		ロシア語 A	4
		ロシア語 B	4
		朝鮮語 A	4
		朝鮮語 B	4
		ラテン語 B	2
		日本語 A	4
		日本語 B	4
基礎 科 目	保健体育科目	健康・スポーツ論	3
		健康・スポーツ演習	2
		健康スポーツ	4
目	情報処理科目	情報処理	2
		言語表現	2

専門科目

数学科

専門基礎科目	単位数		専攻科目	単位数	
	必修	選択		必修	選択
解析学序論 I	2		線形代数学 I	2	
解析学序論 I 演習	2		線形代数学 I 演習	2	
解析学序論 II 演習	2		線形代数学 II	2	
解析学序論 II	2		解析学 I	2	
線形代数学序論	2		解析学 I 演習	2	
線形代数学序論演習	2		解析学 II	2	
物理学序説 I	2		解析学 II 演習	2	
物理学序説 II	2		解析学要論	2	
物理学概論 I	2		解析学要論演習	2	
物理学概論 II	2		代数学序論	2	
化学序説 I	2		代数学 I	2	
化学序説 II	2		代数学 II	2	
化学概論 I	2		幾何学 I	2	
化学概論 II	2		幾何学 II	2	
生物学序説 I	2		位相数学序論	2	
生物学序説 II	2		位相数学 I	2	
生物学概論 I	2		位相数学 II	2	
生物学概論 II	2		複素解析学序論	2	
地球科学序説 I	2		複素解析学 I	2	
地球科学序説 II	2		複素解析学 II	2	
地球科学概論 I	2		実解析学 I	2	
地球科学概論 II	2		実解析学 II	2	
生物圏環境科学概論 I	2		数理統計学	2	
生物圏環境科学概論 II	2		微分方程式論	2	
放射線基礎学	2		応用数理	2	
			離散数理	2	
			情報数理	2	
			情報科学特論	2	
			情報科学 I	2	
			情報科学 II	2	
			統計データ処理	2	
			プログラミング演習 I	2	
			プログラミング演習 II	2	
			代数学特論	2	
			幾何学特論	2	
			解析学特論	4	

		数理統計学特論	2
		実解析学特論	2
		応用数理特論	2
		数値解析	2
		情報数理特論	4
		科学英語	2
		洋書講読	4
		数学特別講義	*
		数学講究	8

\*印を付した数学特別講義の単位数は、必要に応じて定める。

物理学科

専門基礎科目	単位数		専攻科目	単位数	
	必修	選択		必修	選択
微分積分学 I	2		物理数学 A	4	
微分積分学 II	2		物理数学 B	4	
線形代数学	2		力学 I	6	
応用数学基礎	2		力学 II	4	
計算機演習	2		電磁気学 I	6	
化学序説 I	2		電磁気学 II	4	
化学序説 II	2		熱統計学 I	4	
化学概論 I	2		熱統計学 II	4	
化学概論 II	2		量子力学 I	6	
生物学序説 I	2		量子力学 II	4	
生物学序説 II	2		量子力学特論	2	
生物学概論 I	2		光学	2	
生物学概論 II	2		相対論	2	
地球科学序説 I	2		物理実験学 A	2	
地球科学序説 II	2		物理実験学 B	2	
地球科学概論 I	2		物理学実験 I	2	
地球科学概論 II	2		物理学実験 II (物性 A)	2	
生物圏環境科学概論 I	2		物理学実験 II (物性 B)	2	
生物圏環境科学概論 II	2		物理学実験 II (量子)	2	
放射線基礎学	2		物性物理学 A	4	
基礎化学実験	1		物性物理学 B	4	
基礎生物学実験	1		物性物理学特論	2	
基礎地球科学実験	1		核物理学 A	2	
基礎生物圏環境科学実験	1		核物理学 B	2	
			核物理学特論	2	
			電磁波物理学 A	2	
			電磁波物理学 B	2	
			電磁波物理学特論	2	
			洋書講読	2	
			物理学特別講義	*	
			卒業論文	12	

\*印を付した物理学特別講義の単位数は、必要に応じて定める。

化学科

専門基礎科目	単位数		専攻科目	単位数	
	必修	選択		必修	選択
微分積分学 I	2		基礎物理化学 I	2	
微分積分学 II	2		基礎物理化学 II	2	
線形代数学	2		基礎無機化学	2	
応用数学基礎	2		化学平衡学	2	
物理学序説 I	2		化学反応学	2	
物理学序説 II	2		構造化学	2	
物理学概論 I	2		量子化学	2	
物理学概論 II	2		化学熱力学	2	
生物学序説 I	2		触媒化学	2	
生物学序説 II	2		分子分光學	2	
生物学概論 I	2		分子物性学	2	
生物学概論 II	2		無機構造化学	2	
地球科学序説 I	2		材料科学	2	
地球科学序説 II	2		化学工学	2	
地球科学概論 I	2		物理化学特論 I	1	

地球科学概論Ⅱ	2	物理化学特論Ⅱ	1
生物圏環境科学概論Ⅰ	2	無機化学特論	2
生物圏環境科学概論Ⅱ	2	分析化学特論	2
放射線基礎学	2	物理化学実験	3
基礎物理学実験	1	無機分析化学実験	3
基礎生物学実験	1	プログラミング実習	1
基礎地球科学実験	1	基礎有機化学Ⅰ	2
基礎生物圏環境科学実験	1	基礎有機化学Ⅱ	2
基礎化学実験	1	脂肪族化学Ⅰ	2
		芳香族化学Ⅰ	2
		脂肪族化学Ⅱ	2
		構造有機化学	2
		反応有機化学	2
		有機立体化学	2
		生体物質化学	2
		芳香族化学Ⅱ	2
		高分子化学	2
		生化学	2
		有機化学特論Ⅰ	1
		有機化学特論Ⅱ	1
		有機化学実験	6
		水環境化学	2
		環境化学演習	2
		環境化学計測	2
		計測化学特別講義	2
		科学英語	4
		化学演習	*
		化学特別講義	*
		卒業論文	12

\*印を付した化学演習，化学特別講義の単位数は，必要に応じて定める。

生物学科

専門基礎科目	単位数		専攻科目	単位数	
	必修	選択		必修	選択
微分積分学Ⅰ	2		基礎動物形態学	1	
微分積分学Ⅱ	2		基礎植物形態学	1	
線形代数学	2		植物分類学		2
応用数学基礎	2		基礎系統学	1	
物理学序説Ⅰ	2		基礎分類学	1	
物理学序説Ⅱ	2		系統進化学特論		1
物理学概論Ⅰ	2		比較内分泌学	1	
物理学概論Ⅱ	2		形態形成学	1	
化学序説Ⅰ	2		形態学特論	1	
化学序説Ⅱ	2		動物系統進化学	1	
化学概論Ⅰ	2		動物行動学	1	
化学概論Ⅱ	2		動物生理学	2	
地球科学序説Ⅰ	2		基礎生理学	1	
地球科学序説Ⅱ	2		植物生理学	2	
地球科学概論Ⅰ	2		生物科学特論	2	
地球科学概論Ⅱ	2		植物系統進化学	2	
生物圏環境科学概論Ⅰ	2		応用生物学	1	
生物圏環境科学概論Ⅱ	2		生体構造学実験	6	
放射線基礎学	2		臨海実験Ⅰ	1	
基礎物理学実験	1		臨海実験Ⅱ	1	
基礎化学実験	1		野外実験Ⅰ	1	
基礎地球科学実験	1		野外実験Ⅱ	1	
基礎生物圏環境科学実験	1		生化学	1	
			生理化学	2	
			生体応答学	2	
			放射線生物学	1	
			放射線生物学特別講義	1	
			生体調節学	2	
			生理活性物質化学	2	
			発生制御学	2	
			基礎発生学	1	
			動物発生学	2	

細胞生物学		2
遺伝学		2
植物発生学		2
基礎細胞学	1	
基礎遺伝学	1	
微生物科学		1
細胞生物学特論		1
細胞生理学		1
遺伝学特論		1
資源生物学		1
生体エネルギー論		2
植物生態学		2
生体制御学実験	6	
科学英語	2	
生物学特別講義		*
卒業論文	12	

\*印を付した生物学特別講義の単位数は，必要に応じて定める。

地球科学科

専門基礎科目	単位数		専攻科目	単位数	
	選択必修	選択		必修	選択
微分積分学Ⅰ	2		地球圏物理学序説	2	
微分積分学Ⅱ	2		一般地質学	2	
線形代数学	2		基礎地球力学	2	
応用数学基礎	2		鉱物学	2	
物理学序説Ⅰ	2		プレートテクトニクス	2	
物理学序説Ⅱ	2		環境化学概論		2
物理学概論Ⅰ	2		地球化学	2	
物理学概論Ⅱ	2		環境同位体学	2	
化学序説Ⅰ	2		洋書講読		4
化学序説Ⅱ	2		科学英語	2	
化学概論Ⅰ	2		地球惑星物理学	2	
化学概論Ⅱ	2		地球連続体力学	2	
生物学序説Ⅰ	2		雪氷学概論	2	
生物学序説Ⅱ	2		岩石磁気学	2	
生物学概論Ⅰ	2		雪氷物理学	2	
生物学概論Ⅱ	2		物理探査学	2	
生物圏環境科学概論Ⅰ	2		雲物理学	2	
生物圏環境科学概論Ⅱ	2		基礎地球力学演習	2	
地球科学序説Ⅰ	2		層序学	2	
地球科学序説Ⅱ	2		古生物学	2	
地球科学概論Ⅰ	2		岩石学	2	
地球科学概論Ⅱ	2		列島地質	2	
放射線基礎学	2		地殻進化学	5	
基礎物理学実験	1		火山学	2	
基礎化学実験	1		鉱床学	2	
基礎生物学実験	1		地質学演習	2	
基礎生物圏環境科学実験	1		地震科学	2	
			宇宙測地学	2	
			海底地震計学	2	
			自然災害アセスメント	2	
			構造地質学	2	
			海洋地質学	2	
			海城地震テクトニクス	2	
			地球科学実験		4
			層序学実験		3
			岩石鉱物学実験		3
			地球物理学実験		3
			雪氷学実験		3
			地球計測実習		2
			地質学巡検Ⅰ	1	
			地質学巡検Ⅱ		1
			地質学巡検Ⅲ		3
			地質調査法実習		8
			地球圏物理学実習		1

海域地球科学実習	2
地球圏物理学特論	10
地球進化学特論	10
地球科学特別講義	*
卒業論文	12

\*印を付した地球科学特別講義の単位数は、必要に応じて定める。

生物圏環境科学科

専門基礎科目	単位数		専攻科目	単位数	
	必修	選択		必修	選択
微分積分学Ⅰ	2		環境生物学概論	2	
微分積分学Ⅱ	2		生物物理化学	2	
線形代数学	2		生物化学	1	
応用数学基礎	2		基礎植物形態学	1	
物理学序説Ⅰ	2		基礎動物形態学	1	
物理学序説Ⅱ	2		環境植物生理学	2	
物理学概論Ⅰ	2		生理化学	2	
物理学概論Ⅱ	2		基礎系統学	1	
化学序説Ⅰ	2		基礎分類学	1	
化学序説Ⅱ	2		生体応答学	2	
化学概論Ⅰ	2		植物生態学	2	
化学概論Ⅱ	2		光生物学	2	
生物学序説Ⅰ	2		基礎遺伝学	1	
生物学序説Ⅱ	2		基礎細胞学	1	
生物学概論Ⅰ	2		生体エネルギー論	2	
生物学概論Ⅱ	2		細胞機能論	2	
地球科学序説Ⅰ	2		植生変動論	2	
地球科学序説Ⅱ	2		生体調節学	2	
地球科学概論Ⅰ	2		動物生理学特別講義	1	
地球科学概論Ⅱ	2		植物生理学特別講義	1	

放射線基礎学	2	生体応答学特別講義	1
基礎物理学実験	1	生態学	1
基礎化学実験	1	放射線生物学	1
基礎生物学実験	1	放射線生物学特別講義	1
基礎地球科学実験	1	生物圏機能実験	6
		環境物理化学	2
		環境化学概論	2
		環境基礎化学	2
		水環境化学	2
		環境無機化学	2
		基礎有機化学Ⅰ	2
		一般地質学	2
		環境化学計測	2
		地球化学	2
		環境化学演習	2
		基礎有機化学Ⅱ	2
		環境同位体学	2
		層序学	2
		陸水化学	2
		環境地球化学	2
		環境保全化学	2
		環境地球化学特別講義	2
		計測化学特別講義	1
		環境計測特別講義	1
		環境化学計測実験	6
		科学英語	2
		野外実習Ⅰ	2
		野外実習Ⅱ	2
		生物圏環境科学特別講義	*
		卒業論文	12

\*印を付した生物圏環境科学特別講義の単位数は、必要に応じて定める。

別表Ⅱ（第4条関係）

卒業に必要な修得単位数

区分	数学科		物理学科		化学科		生物学科		地球科学科		生物圏環境科学科		
	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	
教養科目	教養原論 (人文科学・社会科学系)		12又は14		12又は14								
	総合科目		6又は4		6又は4								
	小計		18		18		18		18		18		18
共通基礎科目	外国語科目 (英語を含む2ヶ国語)		8		8		8		8		8		8
	保健体育科目		2		2		2		2		2		2
	情報処理科目又は 言語表現科目		2		2		2		2		2		2
	小計		12		12		12		12		12		12
専門科目	専門基礎科目	12	8	10	10	1	19		20		20		20
	専攻科目	42	22	50	14	51	13	34	30	31	33	52	12
	小計	54	30	60	24	52	32	34	50	31	53	52	32
自由(選択)科目		10		10		10		10		10		10	
合計		124		124		124		124		124		124	

- 1 教養原論は、人文科学系及び社会科学系から各4単位以上選択し、12単位又は14単位を修得すること。
- 2 外国語は2ヶ国語（英語を含む。）を各4単位、計8単位以上修得すること。
- 3 外国人留学生に対し、日本事情及び日本語に関する科目を開講しているが、修得方法は別に定める。
- 4 専攻科目の選択は、他学科の専攻科目（一部の科目を除く。）のうちからも選択することが出来る。

## 富山大学工学部規則の一部改正

## 富山大学工学部規則の改正理由

工学部の学科改組に伴い、所要の改正を行う。

富山大学工学部規則の一部を改正する規則を次のとおり制定する。

平成9年3月21日

富山大学長 小黒 千足

## 富山大学工学部規則の一部を改正する規則

別表Ⅰ（第4条関係）及び別表Ⅱ（第6条関係）を次のように改める。

富山大学工学部規則（平成5年4月1日全部改正）の一部を次のように改正する。

## 第2条中

「電子情報工学科 機械システム工学科 物質工学科 化学生物工学科」を「電気電子システム工学科 知能情報工学科 機械知能システム工学科 物質生命システム工学科」に改める。

## 附 則

- この規則は、平成9年4月1日から施行する。
- 平成8年度以前の入学者については、なお従前の例による。

## 別表Ⅰ（第4条関係）

卒業に必要な修得単位数

区 分		電 気 電 子 シ ス テ ム 工 学 科	知 能 情 報 工 学 科	機 械 知 能 シ ス テ ム 工 学 科	物 質 生 命 シ ス テ ム 工 学 科
教養科目から修得する単位数		1 8			
共通基礎科目から修得する単位数		1 2			
小 計		3 0			
専 門 科 目	専門基礎科目から修得する単位数	30以上	14以上	8以上	84以上
	専攻科目から修得する単位数	54以上	70以上	76以上	
	小 計	84以上			
自 由 単 位		10以内			
合 計		124			

- 備考
- 1 単位の修得方法については、別表Ⅱで示す。
  - 2 自由単位は、富山大学における教養科目及び共通基礎科目履修規則に定める自由科目及び他学科の専攻科目並びに他学部の専攻科目から履修した単位である。
  - 3 教養科目・共通基礎科目及び専門科目の修得単位数合計が卒業に必要な124単位に満たない場合は、自由単位の内10単位を限度として卒業に必要な修得単位数124単位に含めることができる。  
ただし、教職に関する授業科目の単位は除く。

別表Ⅱ（第6条関係）

## 電気電子システム工学科

授 業 科 目 名		単 位 数				授 業 科 目 名		単 位 数			
		必 修	選 必	選 択	自 選 由			必 修	選 必	選 択	自 選 由
専 門 基 礎 科 目	微分積分1			2		専 攻 科 目	電気電子計測工学			2	
	微分積分2			2			センサー工学			2	
	線形代数			2			システム制御工学第1			2	
	微分方程式1			2			システム制御工学第2			2	
	微分方程式2			2			電気電子材料工学			2	
	ベクトル解析			2			結晶物理学			2	
	複素解析			2			電子物性工学及び演習			3	
	数値解析及び演習			2			量子効果デバイス			2	
	プログラミング演習			2			量子光学			2	
	力学			2			表面エレクトロニクス			2	
	熱・波動			2			半導体デバイス及び演習			3	
	量子力学			2			集積回路工学			2	
	電磁気学第1及び演習			3			光・電子デバイス			2	
	電磁気学第2及び演習			3			ナノエレクトロニクス			2	
	電気回路第1及び演習			3			安全・開発管理工学	2			
	電気回路第2及び演習			3			電気電子工学研究レビュー	1			
	アナログ電子回路及び演習			3			自由課題製作実験	2			
デジタル電子回路			2		電気電子実験第1	2					
専 攻 科 目	電力発生工学			3		電気電子実験第2	2				
	電気エネルギー伝送工学			4		電気電子実験第3	2				
	高電圧工学			2		電気電子実験第4	2				
	半導体電力変換工学			2		電気電子工学論文輪読第1	2				
	電気機器工学第1			2		電気電子工学論文輪読第2	2				
	電気機器工学第2			2		卒業論文	10				
	電動応用工学			2		工業英語			2		
	電気電子工学設計製図			2		電気電子システム工学特論					
	プラズマ理工学			2		職業指導				4	
	法規及び管理			1							
	電磁波工学			2							
	信号処理工学			2							
	環境電磁工学			2							
	通信方式			2							
	通信システム			2							
	電波法規			1							
	計算電磁工学			2							

## 備考

- 電気電子システム工学特論の単位数は必要に応じて定める。
- 卒業に必要な修得単位数は、次の条件を満たし124単位以上であること。
  - 教養科目、共通基礎科目  
富山大学における教養科目及び共通基礎科目履修規則に定める選択科目30単位以上
  - 専門科目  
専門基礎科目は41単位中30単位以上、専攻科目は必修科目27単位を含め54単位以上、合計84単位以上  
84単位の内訳は、学科の定めるところによる。
- 職業指導の単位は、卒業に必要な修得単位数には含まない。

## 知 能 情 報 工 学 科

授 業 科 目 名		単 位 数				授 業 科 目 名		単 位 数			
		必 修	選 必	選 択	自選 由択			必 修	選 必	選 択	自選 由択
専 門 基 礎 科 目	微分積分			2		専 攻 科 目	コンピュータグラフィクス			2	
	微分積分演習			2			人工知能基礎			2	
	線形代数			2			自然言語処理			2	
	線形代数演習			2			人工知能システム			2	
	微分方程式及び演習			2			視覚情報処理			2	
	ベクトル解析			2			音情報学			2	
	情報数学			2			ヒューマンインタフェイス			2	
	情報数学演習			2			仮想現実感方式			2	
	確率統計論			2			知能生体情報工学			2	
専 攻 科 目	数値解析			2		ブレインコンピューティング			2		
	電気磁気学			2		安全・開発管理工学	2				
	電気回路			2		知能情報工学基礎演習	2				
	電気回路演習			2		知能情報工学実験第1	2				
	電子回路工学			2		知能情報工学実験第2	2				
	論理情報回路			2		知能情報工学実験第3	2				
	電磁波工学			2		知能情報工学実験第4	2				
	情報伝送工学			2		自由製作実験	2				
	光通信工学			2		知能情報工学研修第1	2				
	デジタル信号処理			2		知能情報工学研修第2	2				
	オートマトン・言語理論			2		卒業論文	10				
	計算機アーキテクチャ			2		工業英語			2		
	ソフトウェア工学			2		工業ロシア語			2		
	多変量解析論			2		知能情報工学特論					
	情報理論			2		職業指導				4	
	符号理論			2							
	計算論			2							
	意味解析論			2							
	アルゴリズム解析			2							
	コンパイラ構成法			2							
	データベース論			2							
	ネットワークアーキテクチャ			2							
	高度通信方式			2							
情報メディア学			2								
情報セキュリティ			2								
画像処理とパターン認識			2								

## 備考

- 1 知能情報工学特論の単位数は必要に応じて定める。
- 2 卒業に必要な修得単位数は、次の条件を満たし124単位以上であること。
  - (1) 教養科目、共通基礎科目  
富山大学における教養科目及び共通基礎科目履修規則に定める選択科目30単位以上
  - (2) 専門科目  
専門基礎科目は18単位中14単位以上、専攻科目は必修科目28単位を含め70単位以上、合計84単位以上  
84単位の内訳は、学科の定めるところによる。
- 3 職業指導の単位は、卒業に必要な修得単位数には含まない。

機械知能システム工学科

授 業 科 目 名	単 位 数					授 業 科 目 名	単 位 数				
	必 修	選 必	選 択	自 選 由 択	科 目 群		必 修	選 必	選 択	自 選 由 択	科 目 群
専 門 基 礎 科 目	微分積分第1			2		専 攻 科 目	機構学			2	J
	微分積分第2			2			機械力学			2	
	線形代数第1			2	A		動的設計解析学			2	
	線形代数第2			2			機械動的解析演習	1			
	微分方程式			2			制御理論第1			2	K
	工業力学	2					制御理論演習	1			
	化学			2	B		制御理論第2			2	
	電磁気学			2			制御回路学			2	
	量子力学			2			制御要素			2	
	専 攻 科 目	材料力学第1			2		C	計測工学			2
材料力学第2				2		機械情報工学				2	
材料強度演習第1		1				精密測定学			2		
固体力学				2		計測工学・精密測定学演習	1				
強度設計工学				2	D	計算力学			2	M	
材料強度演習第2		1					シミュレーション工学				2
要素設計学第1				2			ソフトウェア工学演習	1			
要素設計学第2				2		応用機械情報工学			2		
生産加工学				2	E	環境工学概論			2	共 通	
生産加工学演習		1					LCA設計論				2
切削加工学			2			機械情報処理工学			2		
精密加工学			2		知能機械情報工学			2			
基礎材料工学			2	F	英語コミュニケーション			2			
機械材料工学			2			工業英語			2		
塑性工学			2			工業ドイツ語			2		
塑性・材料工学演習	1					機械安全工学			1		
基礎熱力学			2	G	機械工学自由演習			1			
応用熱力学			2			機械入門ゼミナール			2		
熱工学演習	1					機械知能システム工学特論					
伝熱工学			2			機械工学輪読	2				
エネルギー変換工学第1			2			機械工学設計製図第1	2				
基礎流体工学	2			H	機械工学設計製図第2	2					
流体工学演習	1					機械工学実習	2				
流体力学			2			機械工学実験第1	2				
エネルギー変換工学第2			2			機械工学実験第2	2				
数理解析第1			2	I	卒業論文	10					
数理解析第2			2			職業指導			4		
数理解析演習	1										
環境数値解析工学			2								

備考

- 1 機械知能システム工学特論の単位数は必要に応じて定める。
- 2 卒業に必要な修得単位数は、次の条件を満たし124単位以上であること。
  - (1) 教養科目、共通基礎科目  
富山大学における教養科目及び共通基礎科目履修規則に定める選択科目30単位以上
  - (2) 専門科目  
専門基礎科目は18単位中必修2単位を含め8単位以上、専攻科目は必修科目35単位を含め76単位以上、合計84単位以上  
84単位の内訳は、学科の定めるところによる。
- 3 職業指導の単位は、卒業に必要な修得単位数には含まない。

## 物質生命システム工学科

授 業 科 目 名		単 位 数				授 業 科 目 名		単 位 数			
		必 修	選 必	選 択	自選 由択			必 修	選 必	選 択	自選 由択
専 門 基 礎 科 目	微分積分1			2		専 攻 科 目	高分子化学			2	
	微分積分2			2			生体高分子化学			2	
	線形代数1			2			高分子物理化学			2	
	線形代数2			2			物理化学演習			2	
	応用数学1			2			細胞生産工学1			2	
	応用数学2			2			細胞生産工学2			2	
	応用数学3			2			生命物性工学1			2	
	物理学1			2			生命物性工学2			2	
	物理学2			2			生命物性工学演習			2	
	物理学3			2			生化学1			2	
	無機化学1			2			生化学2			2	
	無機化学2			2			生化学3			2	
	基礎有機化学1			2			遺伝子工学1			2	
	基礎有機化学2			2			遺伝子工学2			2	
	分析化学			2			生命放射工学			2	
	物理化学1			2			生命情報工学			2	
	物理化学2			2			生命計測工学			2	
	物理化学3			2			生命分子機能工学			2	
	物質・生命システム工学ゼミナール			2			マイクロメリティックス			2	
	物理学実験			1			粉体物性工学			2	
化学実験			1		粉体プロセス工学1			2			
専 攻 科 目	資源化学			2		粉体プロセス工学2			2		
	無機化学3			2		プロセス工学量論			2		
	生物無機化学			2		移動現象論1			2		
	生物有機化学			2		移動現象論2			2		
	有機化学1			2		多相系移動現象論			2		
	有機化学2			2		反応工学1			2		
	有機化学演習			2		反応工学2			2		
	構造有機化学			2		生物化学工学			2		
	有機合成化学			2		生物反応工学		2			
	反応速度論			2		拡散操作論		2			
	電気化学			2		物質移動論			2		
	無機化学演習			2		分離工学			2		
	配位化学			2		拡散プロセス工学			2		
	量子化学			2		プロセス設計1			2		
	物理有機化学			2		プロセス設計2			2		
	機器分析化学1			2		化学プロセス制御			2		
	機器分析化学2			2		プラント設計工学			2		
	機器分析化学演習			2		プロセス工学計算1			1		

専	プロセス工学計算 2		2	専	生命工学実験 4		1.5			
	材料製錬工学		2		プロセス工学実験 1		1			
	材料精錬工学		2		プロセス工学実験 2		1			
	金属化学		2		プロセス工学実験 3		1			
	腐食・防食工学		2		プロセス工学実験 4		1			
	機能性材料工学 1		2		プロセス工学実験 5		1			
	機能性材料工学 2		2		材料化学実験		1			
	高温反応工学		2		機能性材料科学実験		1			
	材料評価学		2		材料設計工学実験		1			
	結晶構造学		2		材料物性工学実験		1			
攻	相変態・熱処理論		2	応用物性工学実験		1				
	素形材工学		2	工場実習					1	
	材料設計工学		2	攻	応用化学輪読				2	
	材料学序論		2	生命工学輪読		2				
	材料組織学		2	プロセス工学輪読		2				
	材料強度学		2	材料工学輪読		2				
	組織制御工学		2	自由演習					2	
	量子工学序論		2	情報処理					2	
	応用物性工学		2	科	プログラミング及び演習					3
	応用物性工学演習		2	品質管理					2	
科	低温工学		2	電気工学概論			2			
	材料力学		4	電子工学概論			2			
	応用化学実験 1	1.5		機械工学概論			2			
	応用化学実験 2	1.5		工業英語 1			2			
	応用化学実験 3	1.5		工業英語 2			2			
	応用化学実験 4	1.5		工業ドイツ語			2			
	応用化学実験 5	1.5		卒業論文	10					
	応用化学実験 6	1.5		物質生命システム工学特論						
	生命工学実験 1	1.5								
	生命工学実験 2	1.5								
目	生命工学実験 3	1.5		職業指導				4		

## 備考

- 1 物質生命システム工学特論の単位数は必要に応じて定める。
- 2 卒業に必要な修得単位数は、次の条件を満たし124単位以上であること。
  - (1) 教養科目、共通基礎科目  
富山大学における教養科目及び共通基礎科目履修規則に定める選択科目30単位以上
  - (2) 専門科目  
専門基礎科目及び専攻科目は必修科目10単位を含め84単位以上、合計84単位以上  
84単位の内訳は、学科の定めるところによる。
- 3 職業指導の単位は、卒業に必要な修得単位数には含まない。

### 富山大学大学院学則の一部改正

#### 富山大学大学院学則の改正理由

- 1 大学院人文科学研究科専攻の名称変更に伴い、所要の改正を行う。
- 2 大学院教育学研究科（修士課程）教科教育専攻の整備（音楽教育専修の設置）に伴い、所要の改正を行う。
- 3 大学院理学研究科生物圏環境科学専攻の設置に伴い、所要の改正を行う。
- 4 大学院理学研究科数学専攻、物理学専攻、生物学専攻及び地球科学専攻並びに大学院工学研究科（博士前期課程）電子情報工学専攻の入学定員の改訂に伴い、所要の改正を行う。

富山大学大学院学則の一部を改正する学則を次のとおり制定する。

平成9年3月21日

富山大学長 小 黒 千 足

#### 富山大学大学院学則の一部を改正する学則

富山大学大学院学則（昭和53年4月1日制定）の一部を次のように改正する。

第6条中「日本・東洋文化専攻、西洋文化専攻」を「文化構造研究専攻、地域文化研究専攻」に改め、「地球科学専攻」を「地球科学専攻、生物圏環境科学専攻」に改める。

別表第1を次のように改める。

別表第1

研究科名	課程名	専攻等名	入学定員	収容定員
人文科学研究科	修士課程	文化構造研究専攻	5人	10人
		地域文化研究専攻	5	10
		計	10	20
教育学研究科	修士課程	学校教育専攻	6	12
		教科教育専攻	26	52
		計	32	64
経済学研究科	修士課程	地域・経済政策専攻	4	8
		企業経営専攻	4	8
		計	8	16
理学研究科	修士課程	数学専攻	12	24
		物理学専攻	12	24
		化学専攻	10	20
		生物学専攻	10	20
		地球科学専攻	10	20
		生物圏環境科学専攻	10	20
		計	64	128

工 学 研 究 科	博士前期課程	電子情報工学専攻	45人	90人
		機械システム工学専攻	30	60
		物質工学専攻	27	54
		化学生物工学専攻	24	48
		小 計	126	252
	博士後期課程	システム生産工学専攻	6	18
		物質生産工学専攻	6	18
		小 計	12	36
		計	138	288
	合 計	252	516	

注：教育学研究科の入学定員内には外国人留学生として、学校教育専攻に1人、教科教育専攻に2人を含むものとする。

別表第2中

人文科学研究科	日本・東洋文化専攻	中学校教諭専修免許状	社会
		高等学校教諭専修免許状	
	日本語・国文学コース	中学校教諭専修免許状	国語
		高等学校教諭専修免許状	
	中国語・中国文学コース	中学校教諭専修免許状	中国語
		高等学校教諭専修免許状	
	西洋文化専攻	中学校教諭専修免許状	社会
		高等学校教諭専修免許状	
	西洋思想・歴史文化コース	中学校教諭専修免許状	公民
		高等学校教諭専修免許状	
英語・英米文学コース	中学校教諭専修免許状	英語	
	高等学校教諭専修免許状		英語
ドイツ語・ドイツ文学コース	中学校教諭専修免許状	ドイツ語	
	高等学校教諭専修免許状		ドイツ語

を

附 則

- この学則は、平成9年4月1日から施行する。
- 別表第1に定める収容定員は、平成9年度は、次のとおりとする。

研究科名	課程名	専攻等名	収容定員
人文科学研究科	修士課程	文化構造研究専攻	5人
		地域文化研究専攻	5
		計	10
教育学研究科	修士課程	学校教育専攻	12
		教科教育専攻	49
		計	61
経済学研究科	修士課程	地域・経済政策専攻	8
		企業経営専攻	8
		計	16
理学研究科	修士課程	数 学 専 攻	20
		物 理 学 専 攻	20
		化 学 専 攻	20
		生 物 学 専 攻	18
		地 球 科 学 専 攻	18
		生物圏環境科学専攻	10
		計	106
工学研究科	博士前期課程	電子情報工学専攻	75
		機械システム工学専攻	60
		物質工学専攻	54
		化学生物工学専攻	48
		小 計	237
	博士後期課程	システム生産工学専攻	18
		物質生産工学専攻	18
	小 計	36	
		計	273
合		計	466

- 平成9年3月31日における人文科学研究科日本・東洋文化専攻及び西洋文化専攻については、平成9年3月31日に当該専攻に在学する者が当該専攻に在学しなくなる日までの間、存続するものとする。

人文科学研究科	文化構造研究専攻	中学校教諭専修免許状	社会
		高等学校教諭専修免許状	地理歴史
		高等学校教諭専修免許状	公民
	地域文化研究専攻	中学校教諭専修免許状	社会
		高等学校教諭専修免許状	地理歴史
	社会歴史コース	中学校教諭専修免許状	国語
国語コース	中学校教諭専修免許状	国語	
	高等学校教諭専修免許状	国語	
中国語コース	中学校教諭専修免許状	中国語	
	高等学校教諭専修免許状	中国語	
英語コース	中学校教諭専修免許状	英語	
	高等学校教諭専修免許状	英語	
ドイツ語コース	中学校教諭専修免許状	ドイツ語	
	高等学校教諭専修免許状	ドイツ語	

に、

教育学研究科	理科教育専修	小学校教諭専修免許状	理科
		中学校教諭専修免許状	
		高等学校教諭専修免許状	
		高等学校教諭専修免許状	

を

教育学研究科	理科教育専修	小学校教諭専修免許状	理科
		中学校教諭専修免許状	
		高等学校教諭専修免許状	
	音楽教育専修	小学校教諭専修免許状	音楽
		中学校教諭専修免許状	
		高等学校教諭専修免許状	
幼稚園教諭専修免許状			

に、

理学研究科	地球科学専攻	中学校教諭専修免許状	理科
		高等学校教諭専修免許状	

を

理学研究科	地球科学専攻	中学校教諭専修免許状	理科
		高等学校教諭専修免許状	
	生物圏環境科学専攻	中学校教諭専修免許状	理科
		高等学校教諭専修免許状	

に改める。

富山大学学位規則の一部改正

富山大学学位規則の改正理由

- 教育学部及び工学部の学科改組に伴い、所要の改正を行う。
- 人文科学研究科専攻の名称変更並びに理学研究科生物圏環境科学専攻の設置に伴い、所要の改正を行う。

富山大学学位規則の一部を改正する規則を次のとおり制定する。

平成9年3月21日

富山大学長 小 黒 千 足

富山大学学位規則の一部を改正する規則

富山大学学位規則（昭和40年1月22日制定）の一部を次のように改正する。

第3条の2の表中

教育学部	小学校教員養成課程	教育学
	中学校教員養成課程	
	養護学校教員養成課程	
	幼稚園教員養成課程	
	情報教育課程	

教育学部	学校教育教員養成課程 総合教育課程	教育学
------	----------------------	-----

工学部	電子情報工学科	工学
	機械システム工学科	
	物質工学科	
	化学生物工学科	

工学部	電気電子システム工学科	工学
	知能情報工学科	
	機械知能システム工学科	
	物質生命システム工学科	

人文科学研究科	日本・東洋文化専攻	文学	—
	西洋文化専攻		

人文科学研究科	文化構造研究専攻	文学	—
	地域文化研究専攻		

理学研究科	数学専攻	理学	—
	物理学専攻		
	化学専攻		
	生物学専攻		
	地球科学専攻		

理学研究科	数学専攻	理学	—
	物理学専攻		
	化学専攻		
	生物学専攻		
	地球科学専攻 生物圏環境科学専攻		

に改める。

附 則

- この規則は、平成9年4月1日から施行する。
- 平成8年度以前の入学者については、なお従前の例による。

富山大学大学院人文科学研究科規則の一部改正

富山大学大学院人文科学研究科規則の改正理由

専攻の名称変更に伴い、履修方法及びカリキュラムを見直し、教育内容の充実を図るため、所要の改正を行う。

富山大学大学院人文科学研究科規則の一部を改正する規則を次のとおり制定する。

平成9年3月21日

富山大学長 小 黒 千 足

富山大学大学院人文科学研究科規則の一部を改正する規則

富山大学大学院人文科学研究科規則（昭和61年4月1日制定）の一部を次のように改正する。

第4条第1項中「、必修科目12単位」を「、必修科目4単位」に改め、同条に次の1項を加える。

3 前項の規定により履修した授業科目の修得単位は、人文科学研究科委員会（以下「委員会」という。）の議に基づき、第1項に規定する修了に必要な単位に含めることができる。

第8条中「、人文科学研究科委員会（以下「委員会」という。）」を「委員会」に、「3名」を「3人」に改める。

別表を次のように改める。

別表

各専攻授業科目及び単位数

専攻	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
文 化 構 造 研 究 専 攻	哲 学	哲学特論(1)	4	
		哲学特論(2)	4	
		哲学特論(3)	4	
		哲学演習	4	4
	人 間 学	人間学特論(1)	4	
		人間学特論(2)	4	
		人間学特論(3)	4	
		人間学演習	4	4
	言 語 学	言語学特論(1)	4	
		言語学特論(2)	4	
		言語学特論(3)	4	
		言語学演習	4	4
心 理 学	心理学特論(1)	4		
	心理学特論(2)	4		
社 会 学	社会学特論(1)	4		
	社会学特論(2)	4		
文化構造論	文化構造特論(1)	4		
	文化構造特論(2)	4		
	文化構造論演習	4	4	
考古学	考古学特論(1)	4		
	考古学特論(2)	4		
	考古学演習	4	4	
人文地理学	人文地理学特論(1)	4		
	人文地理学特論(2)	4		
	人文地理学演習	4	4	
文化人類学	文化人類学特論	4		
	文化人類学演習	4	4	
比較社会論	比較社会特論(1)	4		
	比較社会特論(2)	4		
	比較社会論演習	4	4	
比較文学	比較文学特論(1)	4		
	比較文学特論(2)	4		
	比較文学論演習	4	4	
国際文化論	国際文化論特論(1)	4		
	国際文化論特論(2)	4		
	国際文化論特論(3)	4		
	国際文化論特論(4)	4		
	国際文化論特論(5)	4		
	国際文化論特論(6)	4		
	国際文化論演習	4	4	

専攻	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
日 本 史 学	日本史学特論(1)		4	
	日本史学特論(2)		4	
	日本史学特論(3)		4	
	日本史学演習	4	4	
日 本 語 学	日本語学特論(1)		4	
	日本語学特論(2)		4	
	日本語学演習	4	4	
日 本 文 学	日本文学特論(1)		4	
	日本文学特論(2)		4	
	日本文学特論(3)		4	
	日本文学論演習	4	4	
東 洋 史 学	東洋史学特論(1)		4	
	東洋史学特論(2)		4	
	東洋史学特論(3)		4	
	東洋史学演習	4	4	
朝 鮮 言 語 文 化	朝鮮語・朝鮮文学特論(1)		4	
	朝鮮語・朝鮮文学特論(2)		4	
	朝鮮言語文化特論演習	4	4	
中 国 語 学	中国語学特論(1)		4	
	中国語学特論(2)		4	
	中国語学演習	4	4	
中 国 文 学	中国文学特論		4	
	中国文学論演習	4	4	
西 洋 史 学	西洋史学特論(1)		4	
	西洋史学特論(2)		4	
	西洋史学演習	4	4	
イギリス言語文化	イギリス言語文化特論(1)		4	
	イギリス言語文化特論(2)		4	
	イギリス言語文化特論(3)		4	
	イギリス言語文化論演習	4	4	
アメリカ言語文化	アメリカ言語文化特論(1)		4	
	アメリカ言語文化特論(2)		4	
	アメリカ言語文化特論(3)		4	
	アメリカ言語文化論演習	4	4	
英 語 学	英語学特論(1)		4	
	英語学特論(2)		4	
	英語学特論(3)		4	
	英語学演習	4	4	
ドイッ言語文化	ドイツ言語文化特論(1)		4	
	ドイツ言語文化特論(2)		4	
	ドイツ言語文化特論(3)		4	
	ドイツ言語文化特論(4)		4	
	ドイツ言語文化特論(5)		4	
	ドイツ言語文化特論(6)		4	
	ドイツ言語文化特論(7)		4	
ドイツ言語文化論演習	4	4		
フランス言語文化	フランス言語文化特論		4	
	フランス言語文化論演習	4	4	
ロシア言語文化	ロシア言語文化特論		4	
	ロシア言語文化論演習	4	4	

附 則

- この規則は、平成9年4月1日から施行する。
- 平成8年度以前の入学者については、なお従前の例による。

## 富山大学大学院教育学研究科規則の一部改正

### 富山大学大学院教育学研究科規則の改正理由

- 1 教科教育専攻の整備（音楽教育専修の設置）に伴い、所要の改正を行う。
- 2 学校教育専攻学校教育専修の特殊教育に関する授業科目を見直し、教育内容の充実を図るため、所要の改正を行う。

富山大学大学院教育学研究科規則の一部を改正する規則を次のとおり制定する。

平成9年3月21日

富山大学長 小黒千足

### 富山大学大学院教育学研究科規則の一部を改正する規則

富山大学大学院教育学研究科規則（平成6年3月14日制定）の一部を次のように改正する。

第2条中「理科教育専修」を「理科教育専修  
音楽教育専修」に改める。  
別表第1（第3条関係）特殊教育に関する心理の項中「精神遅滞児学習過程特論」を「障害児認知心理学特論」に改め、同表特殊教育に関する生理の項中

「障害児病理学特論」	2	を「障害児病理学特論     2」に改め、
「障害児病理学特論演習」	2	
「障害児家族病理学特論」	2	
「障害児覚醒・睡眠障害特論」	2	

同表中「⑦家政教育専修」を「⑧家政教育専修」に、「⑥技術教育専修」を「⑦技術教育専修」に、「⑤保健体育専修」を「⑥保健体育専修」に、「④美術教育専修」を「⑤美術教育専修」に改め、「③理科教育専修」の次

に次の1表を加える。

### ④音楽教育専修

分野	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
(共通)	学校教育研究Ⅰ(教育学系)	2		修得単位数 30単位以上
	学校教育研究Ⅱ(教育心理学系)	2		
音楽科教育	音楽科教育研究	2		①学校教育専攻科目 4単位必修 4単位選択
	音楽科教育特論Ⅰ		2	
	音楽科教育特論演習Ⅰ		2	
	音楽科教育特論Ⅱ		2	
	音楽科教育特論演習Ⅱ		2	
声楽	声楽特論		2	②教科教育専攻科目 2単位必修 10単位選択
	声楽特論演習		2	
器楽	器楽特論		2	③課題研究 4単位必修 6単位選択
	器楽特論演習Ⅰ		2	
	器楽特論演習Ⅱ		2	
作曲・指揮法	作曲法特論		2	④自由選択科目 6単位選択
	作曲法特論演習		2	
音楽学	音楽学特論		2	⑤修士論文 必修
	音楽学特論演習		2	
課題研究		4		

### 附則

この規則は、平成9年4月1日から施行する。

## 富山大学大学院経済学研究科規則の一部改正

### 富山大学大学院経済学研究科規則の改正理由

授業科目を増設し、教育・研究内容の充実を図るため、所要事項を改める。

富山大学大学院経済学研究科規則の一部を改正する規則を次のとおり制定する。

平成9年3月21日

富山大学長 小黒千足

富山大学大学院経済学研究科規則の一部を改正する規則

附 則

富山大学大学院経済学研究科規則（平成3年3月30日制定）の一部を次のように改正する。

- 1 この規則は、平成9年4月1日から施行する。
- 2 平成8年度以前の入学者については、なお従前の例による。

別表を次のように改める。

別 表

各 専 攻 授 業 科 目 及 び 単 位 数

専 攻	授 業 科 目	単位数	備 考
地 域 ・ 経 済 政 策 専 攻	理論経済学		○印の授業科目のうち1科目を必修とする。
	現代経済のモデル分析特殊研究	2	
	○現代経済のモデル分析演習	8	
	経済変動と安定化特殊研究	2	
	○経済変動と安定化演習	8	
	政治経済学特殊研究	2	
	○政治経済学演習	8	
	経済哲学特殊研究	2	
	○経済哲学演習	8	
	経済学史特殊研究	2	
	○経済学史演習	8	
	情報資本主義分析特殊研究	2	
	○情報資本主義分析演習	8	
	理論経済学特殊研究	2	
	○理論経済学演習	8	
	数理経済学特殊研究	2	
	○数理経済学演習	8	
	比較経済論		
	西欧経済史特殊研究	2	
	○西欧経済史演習	8	
	日本経済史特殊研究	2	
	○日本経済史演習	8	
	環境勘定監査論特殊研究	2	
	○環境勘定監査論演習	8	
	農業構造と地域開発特殊研究	2	
	○農業構造と地域開発演習	8	
	比較社会学特殊研究	2	
	○比較社会学演習	8	
経済発展と産業政策特殊研究	2		
○経済発展と産業政策演習	8		
東南アジアの経済開発特殊研究	2		
○東南アジアの経済開発演習	8		
中国経済特殊研究	2		
○中国経済演習	8		
政策科学			
経済政策と地域産業構造論特殊研究	2		
○経済政策と地域産業構造論演習	8		

応用経済学	資源計画特殊研究	2	
	○資源計画演習	8	
	社会政策特殊研究	2	
	○社会政策演習	8	
	計量経済学特殊研究	2	
	○計量経済学演習	8	
	労働のマクロ経済分析特殊研究	2	
	○労働のマクロ経済分析演習	8	
	労働のミクロ経済分析特殊研究	2	
	○労働のミクロ経済分析演習	8	
	農業政策特殊研究	2	
	○農業政策演習	8	
	金融論特殊研究	2	
	○金融論演習	8	
	財政学特殊研究	2	
	○財政学演習	8	
	公共経済学特殊研究	2	
	○公共経済学演習	8	
	金融制度と経済構造特殊研究	2	
	○金融制度と経済構造演習	8	
経済計画理論特殊研究	2		
○経済計画理論演習	8		
国際経済論特殊研究	2		
○国際経済論演習	8		
外国経済書研究	2		
経営学	財務管理論特殊研究	2	○印の授業科目のうち1科目を必修とする。
	○財務管理論演習	8	
	経営組織論特殊研究	2	
	○経営組織論演習	8	
	経営史特殊研究	2	
	○経営史演習	8	
	企業人材開発論特殊研究	2	
	○企業人材開発論演習	8	
	財務会計論特殊研究	2	
	○財務会計論演習	8	
	経営管理論特殊研究	2	
	○経営管理論演習	8	
	人事戦略特殊研究	2	
	○人事戦略演習	8	
	比較経営論特殊研究	2	
	○比較経営論演習	8	
	会計情報開示論特殊研究	2	
	○サ―ビス経営教育論特殊研究	2	

企 業	応用経営	○サービス経営教育論演習	8
		マーケティング論特殊研究	2
業	管理科学	○マーケティング論演習	8
		リスク・マネジメント特殊研究	2
		○リスク・マネジメント演習	8
		管理会計論特殊研究	2
		○管理会計論演習	8
		国際経営論特殊研究	2
		○国際経営論演習	8
		意思決定論特殊研究	2
		○意思決定論演習	8
		オペレーションズ・リサーチ特殊研究	2
経 営	基礎法	○オペレーションズ・リサーチ演習	8
		情報システム特殊研究	2
		○情報システム演習	8
		数理計画法特殊研究	2
		○数理計画法演習	8
		生産管理論特殊研究	2
		○生産管理論演習	8
		経営情報処理特殊研究	2
		ヨーロッパ法思想史特殊研究	2
		○ヨーロッパ法思想史演習	8
専 攻	民法	政治学特殊研究	2
		○政治学演習	8
		英米公法特殊研究	2
		○英米公法演習	8
		行政法特殊研究	2
		○行政法演習	8
		政治史特殊研究	2
		○政治史演習	8
		憲法特殊研究	2
		○憲法演習	8
	憲法基礎理論特殊研究	2	
	○憲法基礎理論演習	8	
	経済刑法特殊研究	2	
	○経済刑法演習	8	
	比較刑事法特殊研究	2	
	○比較刑事法演習	8	
	税法特殊研究	2	
	○税法演習	8	
	民法特殊研究	2	
	○民法演習	8	
	不動産法特殊研究	2	

企業関係法	○不動産法演習	8
	債権法特殊研究	2
	○債権法演習	8
	金融取引法特殊研究	2
	○金融取引法演習	8
	企業会計法特殊研究	2
	○企業会計法演習	8
	企業内容開示制度と法特殊研究	2
	○企業内容開示制度と法演習	8
	経済法特殊研究	2
	○経済法演習	8
	商取引法特殊研究	2
	○商取引法演習	8
	企業組織法特殊研究	2
	○企業組織法演習	8
	労働法特殊研究	2
	○労働法演習	8
	国際商事仲裁法特殊研究	2
○国際商事仲裁法演習	8	
外国経営書研究	2	

## 備考

この表に掲げる授業科目のほか、特別研究を設けることができる。

## 富山大学大学院理学研究科規則の一部改正

## 富山大学大学院理学研究科規則の改正理由

- 1 化学専攻、生物学専攻及び地球科学専攻のカリキュラムを見直し、教育内容の充実を図るため、所要の改正を行う。
- 2 生物圏環境科学専攻の設置に伴い、所要事項を定める。
- 3 字句の整備を行う。

富山大学大学院理学研究科規則の一部を改正する規則を次のとおり制定する。

平成9年3月21日

富山大学長 小黒千足

## 富山大学大学院理学研究科規則の一部を改正する規則

## 附 則

富山大学大学院理学研究科規則（昭和53年4月1日制定）の一部を次のように改正する。

- 1 この規則は、平成9年4月1日から施行する。
- 2 平成8年度以前の入学者については、なお従前の例による。

別表を次のように改める。

別 表

各 専 攻 授 業 科 目 及 び 単 位 数

専 攻	授 業 科 目	単位数	備 考
数 学 専 攻	代 数 学 特 論 I	2	○印は必修科目
	代 数 学 特 論 II	2	
	幾 何 学 特 論 I	2	
	幾 何 学 特 論 II	2	
	多 様 体 特 論 I	2	
	多 様 体 特 論 II	2	
	関 数 解 析 学 特 論 I	2	
	関 数 解 析 学 特 論 II	2	
	複 素 解 析 学 特 論 I	2	
	複 素 解 析 学 特 論 II	2	
	実 解 析 学 特 論 I	2	
	実 解 析 学 特 論 II	2	
	確 率 過 程 特 論 I	2	
	確 率 過 程 特 論 II	2	
	確 率 現 象 特 論 I	2	
	確 率 現 象 特 論 II	2	
	関 数 方 程 式 特 論 I	2	
	関 数 方 程 式 特 論 II	2	
	応 用 数 理 特 論 I	2	
	応 用 数 理 特 論 II	2	
	数 理 現 象 特 論 I	2	
	数 理 現 象 特 論 II	2	
	情 報 数 理 学 特 論 I	2	
	情 報 数 理 学 特 論 II	2	
	情 報 シ ス テ ム 特 論 I	2	
	情 報 シ ス テ ム 特 論 II	2	
	○数 学 特 論	2	
数 理 科 学 特 論 I	1		
数 理 科 学 特 論 II	1		
○ゼ ミ ナ ー	4		
○数 学 特 別 研 究	16		
物 理 学 専 攻	凝 縮 系 物 理 学 I	2	○印は必修科目
	凝 縮 系 物 理 学 II	2	
	磁 性 物 理 学	2	
	低 温 物 理 学	2	
	素 粒 子 物 理 学 I	2	
	素 粒 子 物 理 学 II	2	
	場 の 量 子 論 I	2	
	場 の 量 子 論 II	2	
回 折 物 理 学	2		

	結晶物理学 I	2	
	結晶物理学 II	2	
	電波物理 学	2	
	電波分光学 I	2	
	電波分光学 II	2	
	量子エレクトロニクス I	2	
	量子エレクトロニクス II	2	
	レザ一分子光学 学論	2	
	○現代物理 学特別講義 I	2	
	○物理 学特別講義 II	1	
	○ゼミ ナー 実 験	2	
	○物理 学特別 一 ル 究	4	
	○物理 学特別 一 研 究	14	
化学専攻	化学反応論	2	○印は必修科目
	触媒化学 学	2	
	表面化学 学	2	
	物質化学 学	2	
	構造化学 学	4	
	量子化学 学	2	
	固体化学 学	2	
	有機機 反 応 論	2	
	有機機 反 応 論	4	
	有機機 合成 化学 学	2	
	天然物 化学 学	4	
	複核物 化学 学	4	
	固体物 化学 学	2	
	機能物 理 材 料 学	2	
	同位体 化学 学	2	
	○最先端 化学 特 論	2	
	反応物 性 特 別 講 義	1	
	合成物 有 機 特 別 講 義	1	
	水素工 学 一 特 別 講 義	1	
	○化学 学 特 別 実 験	2	
○ゼミ ナー 一 ル 究	4		
○化学 学 特 別 一 研 究	14		
生物学専攻	植物系統 分 類 学 特 論	2	○印は必修科目
	動物系統 分 類 学 特 論	2	
	細胞生 物 学 特 論	2	
	細胞生 物 学 特 論	2	
	遺伝 学 特 論	2	
	形態 学 特 論	2	

生物学専攻	動物生理学特論 <sup>△</sup>	2	
	比較内分泌学特論	2	
	内分泌細胞学特論	2	
	生体制御学特論	2	
	生体機能調節学特論	2	
	○生物科学学特論 <sup>冊</sup>	2	
	生物学特別講義Ⅰ	1	
	生物学特別講義Ⅱ	1	
	○生物学特別実験	2	
○ゼミナール	4		
○生物学特別研究	14		
地球科学専攻	地球磁気物理学	2	○印は必修科目
	固体地球物理学	2	
	地球構造学	2	
	地震学	2	
	地球物理学	2	
	地球物理探査学	2	
	地球圏邊物理学	2	
	地球圏物理学特論 <sup>冊</sup>	4	
	氷雪学	4	
	氷雪環境学	4	
	氷雪学	2	
	火山地質学	2	
	第四紀学	2	
	岩石学	2	
	岩石学	2	
	岩石学	2	
	地殻変動学	2	
	地殻進化学	2	
	地質学	2	
	地質学	3	
	地質学	1	
	○地球科学	2	
	地球科学特別講義Ⅰ	2	
	地球科学特別講義Ⅱ	2	
	○地球科学特別実験	2	
	○ゼミナール	4	
	○地球科学特別研究	14	
○環境化学特論	2	○印は必修科目	
環境化学計測論	2		

	環境微量成分分析特論	2
	環境無機反応論	2
	環境水質特論	2
	地球化学特論	2
	水圏化学特論	2
	環境同位体特論	2
	環境物質循環特論	2
生物圏環境科学専攻	○環境生物特論	2
	生体物質循環特論	2
	生体応答特論	2
	環境動物生理学特論	2
	生物物理学特論	2
	植物生態学特論	2
	植生立地学特論	2
	光生物学特論	2
	環境植物生理学特論	2
	生物圏環境科学特別講義Ⅰ	1
	生物圏環境科学特別講義Ⅱ	1
	○生物圏環境科学特別実験	2
	○ゼミナール	4
	○生物圏環境科学特別研究	14

### 富山大学日本海経済研究センター（仮称）設置準備委員会要項の制定

#### 富山大学日本海経済研究センター（仮称）設置準備委員会要項の制定理由

富山大学日本海経済研究センター（仮称）の設置に関して必要な事項を審議するための設置準備委員会に関し、必要事項を定める。

富山大学日本海経済研究センター（仮称）設置準備委員会要項を次のとおり制定する。

平成9年3月21日

富山大学長 小黒千足

富山大学日本海経済研究センター（仮称）設置準備委員会要項

平成9年3月21日制定

（設置）

第1条 富山大学に、富山大学日本海経済研究センター

（仮称）（以下「センター」という。）の設置に関して必要な事項を審議するため、富山大学日本海経済研究センター（仮称）設置準備委員会（以下「委員会」という。）を置く。

（審議事項）

第2条 委員会は、センターに関する次の各号に掲げる事項を審議する。

- (1) 設置目的、業務内容及び名称に関する事項
- (2) 規則等に関する事項
- (3) 組織及び運営に関する事項
- (4) 施設及び設備に関する事項
- (5) その他設置に関し必要な事項  
(組織)

第3条 委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 各学部から選出された教員 各1人（経済学部にあつては4人）
- (2) 庶務部長

2 前項第1号の委員は、学長が委嘱する。  
(委員長)

第4条 委員会に委員長を置き、委員の互選による。

2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。ただし、委員長に事故あるときは、委員長があらかじめ指

名した委員がその職務を代行する。

(議事)

第5条 委員会は、委員の半数以上が出席しなければ開会できない。

2 議事は、出席者の過半数をもって決する。ただし、可否同数のときは、議長がこれを決する。

(庶務)

第6条 委員会の庶務は、庶務部庶務課において処理する。

(雑則)

第7条 この要項に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

附 則

1 この要項は、平成9年3月21日から実施する。

2 この要項は、センターが設置された日に、その効力を失う。

諸

会

議

第7回廃液処理施設運営委員会（3月6日）

(議題)

- (1) 廃液処理の外部委託について
- (2) その他

第101回構内交通対策委員会（3月6日）

(議題)

- (1) 入構許可証の発行等について
- (2) その他

第3回学長候補者選挙管理委員会（3月7日）

(議題)

- (1) 第2回委員会記録の確認について
- (2) 学長候補適任者推薦書の確認について
- (3) 予備選挙候補者の公示について
- (4) 予備選挙不在者投票の取り扱いについて
- (5) 予備選挙の実施方法について
- (6) 本選挙実施に際して予想されることについて
- (7) その他

第7回学生生活協議会（3月11日）

(審議事項)

- (1) 第42回大学祭について
- (2) その他

第4回授業料等減免選考委員会（3月11日）

(議題)

- (1) 富山大学入学料免除者選考基準について
- (2) 富山大学授業料免除者選考基準について
- (3) その他

第6回総合情報処理センター運営委員会（3月11日）

(審議事項)

- (1) 富山大学キャンパス情報ネットワーク・システム利用内規(案)について
- (2) その他

第4回教養教育委員会（3月17日）

(審議事項)

- (1) 平成8年度教養教育経費の執行について
- (2) 工学部学生定員の純増に伴い教養教育分として予算措置(工学部に定員配置)される新規教官定員

(教授)について

- (3) 平成9年度教養教育非常勤講師任用計画(案)及び資格審査について
- (4) その他

#### 第2回低温液化室運営委員会(3月18日)

(審議事項)

- (1) 低温液化室長の推薦について
- (2) 平成10年度歳出概算要求について
- (3) 平成10年度国立学校施設整備概算要求について

#### 第1回留学生指導相談室運営委員会(3月18日)

(議事)

- (1) 留学生指導相談室長候補者の選考について
- (2) その他

#### 第2回留学生会館運営委員会(3月18日)

(審議事項)

- (1) 平成9年4月留学生会館入居者の選考について
- (2) その他

#### 第4回学長候補者選挙管理委員会(3月19日)

(議題)

- (1) 第3回委員会記録の確認について
- (2) 予備選挙不在者投票状況について
- (3) 予備選挙の実施について
- (4) その他

#### 第4回大学院委員会(3月21日)

(審議事項)

- (1) 富山大学大学院学則の一部改正について
- (2) 富山大学学位規則の一部改正について
- (3) 富山大学学生交流規則の一部改正について
- (4) 富山大学大学院人文科学研究科規則の一部改正について
- (5) 富山大学大学院教育学研究科規則の一部改正について
- (6) 富山大学大学院経済学研究科規則の一部改正について
- (7) 富山大学大学院理学研究科規則の一部改正について
- (8) その他

#### 第11回評議会(3月21日)

(審議事項)

- (1) 富山大学学則の一部改正について
- (2) 富山大学教養教育委員会規則の一部改正について
- (3) 富山大学における教養科目及び共通基礎科目履修規則の一部改正について
- (4) 富山大学研究生規則の一部改正について
- (5) 富山大学学生交流規則の一部改正について
- (6) 富山大学人文学部規則の一部改正について
- (7) 富山大学教育学部規則の一部改正について
- (8) 富山大学経済学部規則の一部改正について
- (9) 富山大学理学部規則の一部改正について
- (10) 富山大学工学部規則の一部改正について
- (11) 富山大学大学院学則の一部改正について
- (12) 富山大学学位規則の一部改正について
- (13) 富山大学大学院人文科学研究科規則の一部改正について
- (14) 富山大学大学院教育学研究科規則の一部改正について
- (15) 富山大学大学院経済学研究科規則の一部改正について
- (16) 富山大学大学院理学研究科規則の一部改正について
- (17) 富山大学日本海経済研究センター(仮称)の設置について
- (18) 平成9年度大学祭に伴う休業日について
- (19) 学生の除籍について
- (20) 学生部長候補者の選考について
- (21) その他

#### 第11回事務協議会(3月21日)

(議題)

当面の諸課題について

#### 第3回国際交流委員会(3月24日)

(審議事項)

- (1) 遼寧大学との学術交流に関する実施細目について
- (2) 平成9年度富山大学国際交流事業基金各種事業の募集要項(案)について
- (3) 富山大学留学生センターの設置について
- (4) その他

学

事

## 学位取得者



学位取得者  
学位の種類  
取得年月日  
学位論文名  
論文の要旨

教育学部 助教授 神川 康子

博士(学術)(奈良女子大学)

平成9年2月13日

生活行動と睡眠に関する研究

日常生活における睡眠の質を高める生活行動と、疲労・ストレスを効率良く解消できる睡眠について検討し、心身ともに健康で、個人がもつ能力を最大限に発揮できる生活の実現を目的に研究を重ねてきた。これまでに得た結果は、次のとおりである。

効果的な睡眠を確保するためには、まず生活時間の管理に関心をもつこと、そしてバイオリズムを大幅に乱すことなく、できるだけ規則的な時間帯に睡眠を確保すること、さらに覚醒時脳幹賦活力(覚醒レベル)を維持するためには、少なくとも4時間以上眠ること、また年齢によって変化する睡眠実態を理解することが重要であることがわかった。

この他、睡眠衛生、睡眠環境の改善、入眠の工夫、心身状況の調整・コントロールがさらに睡眠効率を上げてくれることも確認できた。

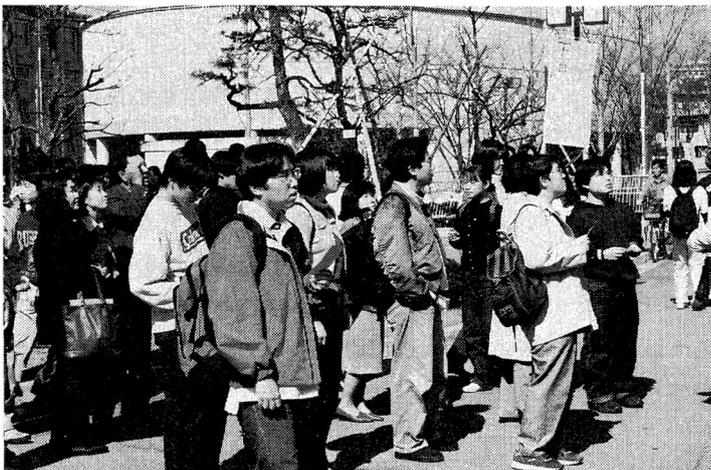
### 平成9年度

## 富山大学入学者選抜学力検査(後期日程)を実施

平成9年度入学者選抜学力検査(後期日程)が、去る3月12日(水)に実施されました。

検査は、人文学部、教育学部、経済学部、理学部及び工学部の各検査場において、学力検査、実技検査、小論文及び面接などが行われました。

なお、後期日程の志願者数、合格者数等は次のとおりです。



▲ 後期日程合格発表

## 平成9年度 富山大学入学者選抜試験（後期日程）実施状況

学部	学科・課程	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	備考	
人文	人 文 学 科	15 人	170 人	85 人	23 人		
	国 際 文 化 学 科	12	104	48	16		
	言 語 文 化 学 科	20	239	108	28		
	計	47	513	241	67		
教育	小 学 校 教 員 養 成 課 程	25	128	58	26		
	中 学 校 教 員 養 成 課 程	10	205	126	12		
	養 護 学 校 教 員 養 成 課 程	3	31	18	3		
	幼 稚 園 教 員 養 成 課 程	3	27	14	3		
	情 報 教 育 課 程 教 育 情 報 コ ー ス	5	41	22	5		
	情 報 教 育 課 程 環 境 情 報 コ ー ス	4	35	23	4		
計	50	467	261	53			
経済	昼間 コース	経 済 学 科	31	236	96	44	
		経 営 学 科	24	222	90	32	
		経 営 法 学 科	20	179	66	36	
		小 計	75	637	252	112	
	夜間 コース	経 済 学 科	4	65	26	9	
		経 営 学 科	5	83	50	8	
		経 営 法 学 科	5	89	38	8	
		小 計	14	237	114	25	
計	89	874	366	137			
理	数 学 科	7	33	19	9		
	物 理 学 科	9	43	21	11		
	化 学 科	8	42	19	8		
	生 物 学 科	6	32	11	7		
	地 球 科 学 科	9	52	52	9		
	生 物 圏 環 境 科 学 科	5	56	22	5		
	計	44	258	144	49		
工	電 子 情 報 工 学 科	36	234	234	55		
	機 械 シ ス テ ム 工 学 科	21	156	156	26		
	物 質 工 学 科	16	102	102	27		
	化 学 生 物 工 学 科	16	69	23	19		
	計	89	561	515	127		
後 期 日 程 合 計		319	2,673	1,527	433		
前 期 日 程 合 計		957	3,432	3,231	1,102		
一 般 選 抜 合 計		1,276	6,105	4,758	1,535		

# 人 事 異 動

異動区分	発令年月日	氏 名	異 動 前 の 所 属 官 職	異 動 内 容 (略 記)
育児休業	9. 3. 5	狐塚 佳子	教務職員 理学部(数学科)	育児休業(～9. 5. 30)
退 職	9. 3. 31	山岸 長幸	人文学部・理学部事務長	定年退職
	〃	奥村喜代志	教育学部事務長	〃
	〃	奥田 真一	経済学部事務長	〃
	〃	長澤 義男	工学部事務長	〃
	〃	五十嵐清平	経理部経理課管理係営繕手	〃
辞 職	9. 3. 31	林 誠	教務職員 工学部(物質工学科)	辞職
採 用	9. 4. 1	橋 千夏		庶務部庶務課学事調査係
	〃	本田 和博		技術職員 工学部電気電子システム工学科通信システム工学
昇 任	9. 4. 1	竹若 重勝	放送教育開発センター管理部会計課長	附属図書館事務部長
	〃	村中 一男	人文学部・理学部事務長補佐	庶務部企画室長
	〃	中田 孜	庶務部人事課課長補佐	人文学部・理学部事務長
	〃	新田 昌六	経理部主計課課長補佐	教育学部事務長
	〃	涌井三枝子	庶務部企画室専門職員	庶務部庶務課課長補佐
	〃	北川 功	経理部主計課司計係長	庶務部企画室室長補佐
	〃	松永 良成	経理部主計課総務係長	人文学部・理学部事務長補佐
	〃	能登 功	学生課専門職員 (学生団体等指導相談担当)	学生課専門員(留学生担当)
	〃	中島 廣志	施設課工営係長	名古屋工業大学施設課課長補佐
	〃	槻 光雄	施設課工営係工営主任	施設課工営係長
	〃	藤井 栄吉	経済学部会計係用度主任	附属図書館情報管理課雑誌情報係長
	〃	川邊 誠	工学部用度係用度主任	文部省体育局生涯スポーツ課登山研修所庶務係長
	〃	永田 義則	教育学部学務係教務主任	富山医科薬科大学教務部入学主幹付入学試験係長
	〃	田中 輝和	庶務部庶務課庶務係庶務第一主任	高岡短期大学事業課専門職員
	〃	北川 敬信	経理部経理課出納係出納第一主任	高岡短期大学会計課出納係長
	〃	宮尾 幸一	工学部庶務係庶務主任	高岡短期大学事業課研究協力係長
	〃	長崎 宏美	庶務部人事課任用係	庶務部人事課任用係任用第二主任
〃	荒木 義弘	経理部経理課用度係	経理部主計課司計係予算第二主任	
〃	村道 俊一	施設課企画係	施設課企画係企画主任	

異動区分	発令年月日	氏 名	異 動 前 の 所 属 官 職	異 動 内 容 (略 記)
昇 任	9. 4. 1	林 英則	富山医科薬科大学業務部施設課電気係	施設課電気係電気第二主任
	〃	荒井 誠一	附属図書館情報管理課総務係	附属図書館情報管理課総務係 年史編纂事務主任
	〃	藤田 一吉	人文学部・理学部用度係	人文学部・理学部用度係用度第一主任
	〃	松田 義弘	人文学部・理学部用度係	人文学部・理学部用度係用度第二主任
	〃	光地 浩和	人文学部・理学部学務第一係	人文学部・理学部学務第一係 教務第二主任
	〃	高木 晃	経済学部庶務係	経済学部庶務係人事主任
	〃	光澤 和嗣	経済学部教務係	経済学部教務係教務第一主任
	〃	森田 智	人文学部・理学部学務第二係	経済学部教務係教務第二主任
	〃	石塚 久博	工学部庶務係	工学部庶務係人事主任
	〃	澤崎 勝彦	工学部用度係	工学部用度係用度主任
	〃	津島 浩司	教育学部学務係	金沢大学庶務部企画室学務第一係 教務主任
転 任	9. 4. 1	横山 正弘	富山医科薬科大学総務部経理課専門職員	厚生課専門職員
	〃	大聖寺一孝	文部省体育局生涯スポーツ課 登山研修所庶務係長	経理部主計課管財係長
	〃	新出 信幸	高岡短期大学会計課用度係長	経理部経理課用度係長
	〃	本吉 友治	高岡短期大学学生課学生係長	学生課学生係長
	〃	塚田 健夫	高岡短期大学会計課出納係長	教育学部会計係長
	〃	川上 重信	北陸先端科学技術大学院大学研究協力部 学生課厚生係長	教育学部学務係長
	〃	石坂 淳子	高岡短期大学庶務課人事係長	教育学部附属学校第二係長
	〃	山田 知訓	富山医科薬科大学教務部学生課 教務第一係長	経済学部教務係長
	〃	亀谷 仁一	高岡短期大学会計課出納係情報処理主任	経済学部会計係用度主任
	〃	絹石 達也	高岡短期大学会計課司計係予算主任	工学部庶務係庶務主任
	〃	尾崎 美幸	高岡短期大学会計課出納係	経理部経理課出納係
	〃	高崎 淳也	金沢大学理学部会計係	経理部経理課用度係
	〃	竹島勢都子	筑波大学学校教育事務部管理課会計係	学生課総務係
	〃	江幡 隆一	経済学部専門職員(留学生担当)	富山医科薬科大学教務部学生課専門職員
	〃	四ツ島正喜	施設課電気係電気主任	富山医科薬科大学業務部施設課 電気係電気主任
	〃	泉田 享一	工学部学務係長	高岡短期大学事業課専門職員
	〃	中三川敏之	経理部主計課管財係管財主任	高岡短期大学会計課司計係予算主任
	〃	亀谷 珠美	教育学部学務係	高岡短期大学庶務課図書係
	〃	柳田 邦雄	学生課留学生係長	富山工業高等専門学校学生課学生係長
	〃	若林真由美	工学部庶務係	富山工業高等専門学校庶務課人事係

異動区分	発令年月日	氏 名	異 動 前 の 官 職	異 動 内 容 (略 記)
転 任	9. 4. 1	川原 卯吉	教育学部附属学校第二係長	富山商船高等専門学校庶務課人事係長
	〃	佐野 久子	附属図書館情報サービス課学術情報係	富山商船高等専門学校学生課図書係
	〃	稲川 敏行	人文学部・理学部庶務係庶務主任	金沢大学庶務部人事課給与係年金主任
配 置 換	9. 4. 1	高砂 慶	附属図書館事務部長	山形大学附属図書館事務部長
	〃	青木 正克	筑波大学総務部情報処理課長	庶務部人事課長
	〃	海老根 裕	東京工業高等専門学校会計課長	経理部経理課長
	〃	芋野 昭作	愛知教育大学施設課長	施設課長
	〃	畑田 健二	鶴岡工業高等専門学校学生課長	厚生課長
	〃	赤松 一良	福島工業高等専門学校庶務課長	入試課長
	〃	岩渕 恭幸	佐賀医科大学教務部図書課長	附属図書館情報管理課長
	〃	中村 敏朗	庶務部人事課長	東京学芸大学庶務部人事課長
	〃	船崎 昌治	経理部経理課長	岐阜大学医学部管理課長
	〃	東山 幸夫	施設課長	群馬大学施設部建築課長
	〃	藤田 孝	厚生課長	上越教育大学教務部学生課長
	〃	野田 優明	入試課長	東北大学庶務部入試課長
	〃	角井與志雄	附属図書館情報管理課長	経済学部事務長
	〃	中川 巖	庶務部企画室長	工学部事務長
	〃	前田 邦樹	富山医科薬科大学総務部庶務課課長補佐	庶務部人事課課長補佐
	〃	桶 喜一	庶務部庶務課課長補佐	経理部主計課課長補佐
	〃	刈賀 春樹	教育学部事務長補佐	経理部経理課課長補佐
	〃	近岡 忠夫	富山医科薬科大学業務部医事課課長補佐	教育学部事務長補佐
	〃	林 征紀	経理部経理課課長補佐	富山医科薬科大学総務部庶務課課長補佐
	〃	飯田 憲郷	庶務部企画室室長補佐	富山医科薬科大学業務部医事課課長補佐
	〃	赤井 弘人	厚生課専門職員	庶務部企画室専門職員
	〃	松本 進	経済学部会計係長	経理部経理課専門職員(契約担当)
	〃	今井 稔	経理部経理課専門職員(契約担当)	教育学部専門職員 (附属学校企画調整担当)
	〃	宮村 健壯	経済学部教務係長	経済学部専門職員(外国人留学生担当)
	〃	市川 勇	人文学部・理学部用度係長	経理部主計課総務係長
	〃	東仙 博	経理部経理課用度係長	経理部主計課監査係長
	〃	牧野 秀應	経理部主計課監査係長	経理部主計課司計係長
〃	友坂 義一	経理部主計課管財係長	施設課企画係長	

異動区分	発令年月日	氏 名	異 動 前 の 所 属 官 職	異 動 内 容 (略 記)
配 置 換	9. 4. 1	大崎 秀雄	厚生課厚生企画係長	学生課留学生係長
	〃	佐野 勤	学生課学生係長	厚生課厚生企画係長
	〃	鹿島 光雄	施設課企画係長	人文学部・理学部用度係長
	〃	河上 孝	教育学部会計係長	経済学部会計係長
	〃	竹下 義美	教育学部学務係長	工学部学務係長
	〃	小路 隆	庶務部庶務課庶務係庶務第二主任	庶務部庶務課庶務係庶務第一主任
	〃	山田 洋一	学生課総務係総務主任	庶務部庶務課庶務係庶務第二主任
	〃	島田 勝弘	庶務部人事課任用係任用主任	庶務部人事課任用係任用第一主任
	〃	伏喜 俊至	経理部主計課司計係予算主任	経理部主計課司計係予算第一主任
	〃	高瀬 範和	経理部経理課出納係出納第二主任	経理部経理課出納係出納主任
	〃	森田 昌夫	工学部用度係施設主任	施設課電気係電気第一主任
	〃	尾山 吉昭	経済学部学生係学生主任	附属図書館情報サービス課 情報サービス係情報サービス主任
	〃	藏川 一正	人文学部・理学部庶務係人事主任	人文学部・理学部庶務係庶務主任
	〃	小林 司	人文学部・理学部学務第一係教務主任	人文学部・理学部学務第一係 教務第一主任
	〃	新井 健二	経済学部教務係教務主任	教育学部学務係教務主任
	〃	北村 均	教育学部附属学校第二係庶務主任	経済学部庶務係庶務主任
	〃	板東 康子	工学部庶務係研究調査主任	経済学部学生係学生主任
	〃	飯野るみ子	庶務部企画室企画係	庶務部庶務課庶務係
	〃	申田 純恵	教育学部会計係	経理部主計課総務係
	〃	細田 和義	経理部主計課司計係	経理部主計課管財係
	〃	横井 宏正	庶務部人事課職員係	学生課学生係
	〃	加藤 尚弘	経済学部庶務係	人文学部・理学部庶務係
	〃	山田 豊	経済学部教務係	人文学部・理学部学務第二係
	〃	梶谷 理香	工学部学務係	人文学部・理学部学務第二係
	〃	室 智子	経理部主計課総務係	教育学部会計係
	〃	大門 聡	学生課学生係	教育学部学務係
	〃	本澤 誉子	庶務部庶務課文書係	教育学部学務係
	〃	高橋 知裕	工学部学務係	経済学部教務係
	〃	寺林真佐美	庶務部庶務課庶務係	工学部庶務係
	〃	三室龍一郎	教育学部庶務係	工学部経理係
〃	桶田 哲郎	工学部経理係	工学部用度係	

異動区分	発令年月日	氏 名	異 動 前 の 所 属 官 職	異 動 内 容 (略 記)
配 置 換	9. 4. 1	金森美枝子	人文学部・理学部学務第一係	工学部学務係
	〃	城村 浩司	人文学部・理学部学務第二係	工学部学務係
	〃	種田ヨシエ	附属図書館情報サービス課 情報サービス係	附属図書館情報サービス課参考調査係
	〃	内藤 綾子	附属図書館情報サービス課参考調査係	附属図書館情報サービス課学術情報係
職 務 命 令	9. 4. 1	涌井三枝子	庶務部企画室専門職員	主任専門職員を免ずる
	〃	赤井 弘人	庶務部企画室専門職員	主任専門職員を命ずる
	〃	今井 稔	経理部経理課専門職員	契約担当を免ずる 経理部経理課専門員を免ずる
	〃	能登 功	学生課専門職員	学生団体等指導相談担当を免ずる 学生課専門員を免ずる
	〃	横山 正弘	厚生課専門職員	主任専門職員を命ずる
	〃	今井 稔	教育学部専門職員	教育学部専門員を命ずる
	〃	長崎 宏美	庶務部人事課任用係	庶務部人事課任用係総務主任を免ずる
	〃	荒井 誠一	附属図書館情報管理課総務係	附属図書館情報管理課総務係年史編纂 事務主任を免ずる
	〃	種田ヨシエ	附属図書館情報サービス課 情報サービス係	附属図書館情報サービス課情報サービス 係情報サービス主任を免ずる
	〃	種田ヨシエ	附属図書館情報サービス課参考調査係	附属図書館情報サービス課参考調査係 参考調査主任を命ずる
	〃	本田 和博	技術職員 工学部電気電子システム工学科	富山大学技術官とする 富山大学技術部第二技術班員を命ずる
	採 用	9. 3. 4	山本 千夏	
9. 3. 17		平野砂都美		〃 経理部経理課
9. 4. 1		澤瀉いずみ		教務補佐員 理学部
〃		中西 義夫		臨時用務員 教育学部作業員
〃		竹井 公子		〃 〃
〃		福島 春代		〃 〃
〃		館野 洋子		〃 〃
〃		江川 秀子		事務補佐員 工学部
〃		嶋 由香里		〃 〃
〃		竹内 美貴		〃 〃
〃		堀 愛里		〃 〃
〃		北風 和子		〃 地域共同研究センター
退 職	9. 4. 1	安部 公子	事務補佐員 附属図書館情報管理課	9. 3. 31限り退職
	〃	山本 千夏	〃 〃	〃
	〃	浜井 幸作	臨時用務員 教育学部作業員	〃
	〃	高橋キクエ	〃 〃	〃

異動区分	発令年月日	氏 名	異 動 前 の 所 属 官 職	異 動 内 容 (略 記)
退 職	9. 4. 1	中村 紀子	事務補佐員 工学部	9. 3. 31限り退職
	〃	神保 暁子	〃 〃	〃
	〃	田子 夏恵	〃 〃	〃
	〃	小島 美穂	〃 〃	〃
臨 時 的 用 任	9. 3. 14	西本由紀子		教諭 教育学部 (附属中学校) (~9. 8. 28)
辞 職	9. 3. 31	赤阪 賢	教 授 人文学部 (国際文化学科 環境地域論)	辞職
	〃	三寶 政美	教 授 人文学部 (国際文化学科 国際文化関係論)	〃
	〃	太田 茂徳	助 手 人文学部 (国際文化学科 環境地域論)	〃
	〃	北岡 勝	教頭 (副校長) 教育学部 (附属小学校)	〃
	〃	永田 眞理	教 諭 教育学部 (附属中学校)	〃
	〃	河井 道子	養護教諭 教育学部 (附属中学校)	〃
	〃	藤嶋 桂子	教 諭 教育学部 (附属養護学校)	〃
	〃	梅澤 功	教 諭 教育学部 (附属養護学校)	〃
	〃	山本富士子	教 諭 教育学部 (附属養護学校)	〃
	〃	横山 文樹	教 諭 教育学部 (附属幼稚園)	〃
	〃	武井 勲	教 授 経済学部 (経営学科応用経営)	〃
退 職	9. 3. 14	西本由紀子	教 諭 教育学部 (附属中学校) (臨時的任用)	9. 3. 13限り任期満了退職
	9. 3. 31	佐藤日出信	教頭 (副校長) 教育学部 (附属養護学校)	定年退職
併 任	9. 3. 31	田中 晋	教 授 教育学部	教育学部長 (~11. 3. 30)
育児休業	9. 3. 14	岩田万里子	教 諭 教育学部 (附属中学校)	育児休業 (~9. 8. 28)
採 用	9. 4. 1	徳永 洋介		助教授 人文学部 (人文学科歴史文化)
	〃	佐々木重洋		助教授 人文学部 (国際文化学科環境 地域論)
	〃	中島 淑恵		助教授 人文学部 (言語文化学科 ヨーロッパ言語文化)
	〃	大野 圭介		講 師 人文学部 (言語文化学科 日本東洋言語文化)
	〃	高瀬 彰典		教 授 教育学部 (英語教育)
	〃	小林 真		助教授 教育学部 (学校教育)
	〃	水上 義行		教頭 (副校長) 教育学部 (附属小学校)
	〃	嶋崎未和子		養護教諭 教育学部 (附属中学校)
	〃	堀田 充		教 諭 教育学部 (附属中学校)
	〃	四宮 卓子		教 諭 教育学部 (附属幼稚園)
	〃	浦上 静香		教 諭 教育学部 (附属養護学校)

異動区分	発令年月日	氏 名	異 動 前 の 所 属 官 職	異 動 内 容 (略 記)
採 用	9. 4. 1	豎 月 浩		教 諭 教育学部 (附属養護学校)
	〃	高 野 久子		教 諭 教育学部 (附属養護学校)
	〃	澤 田 剛		教 諭 教育学部 (附属養護学校)
	〃	若 林 丈靖		講 師 経済学部 (経済学科理論経済学)
	〃	森 田 知香子		講 師 経済学部 (経営学科応用経営)
	〃	森 口 毅彦		助 手 経済学部 (経営学科応用経営)
	〃	幸 山 直人		助 手 理学部 (数学科情報数理)
昇 任	9. 4. 1	湯 川 純幸	助教授 人文学部 (人文学科行動文化)	教 授 人文学部 (人文学科行動文化)
	〃	草 薙 太郎	助教授 人文学部 (言語文化学科 英米言語文化)	教 授 人文学部 (言語文化学科 英米言語文化)
	〃	恒 川 正巳	講 師 人文学部 (言語文化学科 英米言語文化)	助教授 人文学部 (言語文化学科 英米言語文化)
	〃	柳 葉 靖子	講 師 人文学部 (言語文化学科 ヨーロッパ言語文化)	助教授 人文学部 (言語文化学科 ヨーロッパ言語文化)
	〃	佐 藤 幸夫	助教授 名古屋大学大学院国際開発 研究科	教 授 教育学部 (社会科教育)
	〃	水 谷 秀樹	講 師 教育学部 (保健体育)	助教授 教育学部 (保健体育)
	〃	酒 井 義久	教 諭 教育学部 (附属養護学校)	教頭 (副校長) 教育学部 (附属養護学校)
	〃	鍋 島 直樹	講 師 経済学部 (経済学科理論経済学)	助教授 経済学部 (経済学科理論経済学)
	〃	青 木 亮	講 師 経済学部 (経営学科応用経営)	助教授 経済学部 (経営学科応用経営)
	〃	坂 出 健	助 手 経済学部 (経済学科比較経済論)	講 師 経済学部 (経済学科比較経済論)
	〃	吉 田 竜司	助 手 経済学部 (経済学科比較経済論)	講 師 経済学部 (経済学科比較経済論)
	〃	小 野 理恵	助 手 経済学部 (経営学科管理科学)	講 師 経済学部 (経営学科管理科学)
	〃	古 賀 さゆり	助 手 経済学部 (経営学科管理科学)	講 師 経済学部 (経営学科管理科学)
	〃	清 棲 保弘	助教授 理学部 (生物圏環境科学科 環境化学計測)	教 授 理学部 (生物圏環境科学科 環境化学計測)
	〃	塩 原 肇	助 手 北海道大学理学部 (附属海底地震観測施設)	助教授 理学部 (地球科学科 地球ダイナミクス)
	〃	作 井 正昭	助教授 工学部 (電子情報工学科 電気システム工学)	教 授 工学部 (電気電子システム工学科 電気システム工学)
	〃	中 谷 訓幸	助教授 工学部 (電子情報工学科 物性デバイス工学)	教 授 工学部 (電気電子システム工学科 電子物性デバイス工学)
	〃	松 木 賢司	助教授 工学部 (機械システム工学科 生産システム工学)	教 授 工学部 (機械知能システム工学科 設計生産工学)
	〃	熊 澤 英博	助教授 京都大学大学院工学研究科	教 授 工学部 (物質生命システム工学科 プロセス工学)
	〃	小 平 憲一	助教授 工学部 (化学生物工学科 細胞工学)	教 授 工学部 (物質生命システム工学科 生命工学)
	〃	田 代 発造	助 手 工学部 (機械システム工学科 機械情報システム工学)	助教授 工学部 (機械知能システム工学科 機械制御情報工学)
	〃	寺 山 清志	助 手 工学部 (物質工学科機能性材料 工学)	助教授 工学部 (物質生命システム工学科 材料工学)
	〃	星 野 一宏	助 手 工学部 (化学生物工学科 生物プロセス工学)	助教授 工学部 (物質生命システム工学科 プロセス工学)
	〃	山 本 健市	助 手 工学部 (物質工学科機能性材料 工学)	助教授 工学部 (物質生命システム工学科 プロセス工学)

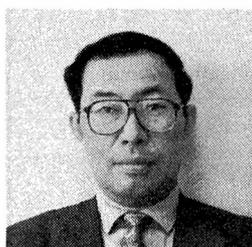
異動区分	発令年月日	氏 名	異 動 前 の 所 属 官 職	異 動 内 容 (略 記)
昇 任	9. 4. 1	佐山三千雄	助 手 工学部 (化学生物工学科 細胞工学)	講 師 工学部 (物質生命システム工学科 科生命工学)
転 任	9. 4. 1	谷井 俊仁	助教授 人文学部 (人文学科歴史文化)	助教授 三重大学人文学部
	〃	金久 博昭	助教授 教育学部 (保健体育)	助教授 東京大学大学院総合科学研究科
	〃	石原 卓	助 手 理学部 (数学科情報数理)	助 手 名古屋大学大学院工学研究科
	〃	佐藤 雅弘	助教授 秋田工業高等専門学校 (電気工学科)	助教授 工学部 (電気電子システム工学科 科通信制御工学)
	〃	古井 光明	助 手 名古屋大学工学部	助 手 工学部 (物質生命システム工学科 科材料工学)
併 任	9. 4. 1	風巻 紀彦	教 授 理学部	理学部長 (～11. 3. 31)
	〃	鈴木 正昭	〃 〃	理学部数学科長 (～10. 3. 31)
	〃	櫻井 醇兒	〃 〃	〃 物理学科長 (～10. 3. 31)
	〃	安田 祐介	〃 〃	〃 化学科長 (～10. 3. 31)
	〃	小松美英子	〃 〃	〃 生物学科長 (～10. 3. 31)
	〃	對馬 勝年	〃 〃	〃 地球科学科長 (～10. 3. 31)
	〃	田口 茂	〃 〃	〃 生物圏環境科学科長 (～10. 3. 31)
	〃	女川 博義	教 授 工学部	工学部電気電子システム工学科長 (～10. 3. 31)
	〃	米田 政明	〃 〃	〃 知能情報工学科長 (～10. 3. 31)
	〃	岩渕 牧男	〃 〃	〃 機械知能システム工学科長 (～10. 3. 31)
	〃	杉本 益規	〃 〃	〃 物質生命システム工学科長 (～10. 3. 31)
	〃	金久 博昭	助教授 東京大学大学院総合科学研究科	助教授 教育学部 (保健体育) (～9. 9. 30)
	退 職	9. 4. 1	奥田平八郎	教 授 人文学部 (言語文化学科 英米言語文化)
〃		提山 淑郎	教 授 人文学部 (言語文化学科 ヨーロッパ言語文化)	〃
〃		ムラジアン・ メアリー・アン	助教授 人文学部 (国際文化学科 国際文化関係論)	9. 3. 31限り任期満了退職
〃		河野 信弘	教 授 教育学部 (保健体育)	9. 3. 31限り停年退職
〃		松村 晴路	教 授 教育学部 (家政教育)	〃
〃		吉田 和夫	教 授 教育学部 (英語教育)	〃
〃		岸井 勇雄	教 授 教育学部 (幼児教育)	〃
〃		世利 幹雄	教 授 教育学部 (教育情報科学)	〃
〃		山口 孝道	教 授 経済学部 (経営法学科基礎法)	〃
〃		松浦 郁也	教 授 理学部 (化学科反応物性化学)	〃
〃		藤田 宏	教 授 工学部 (電子情報工学科 電気システム工学)	〃
〃		石黒 隆義	教 授 工学部 (物質工学科 機能性材料工学)	〃
〃		笹倉 壽介	教 授 工学部 (化学生物工学科 生物プロセス工学)	〃

異動区分	発令年月日	氏 名	異動前の所属官職	異動内容(略記)
退職	9. 4. 1	山口 信吉	教授 工学部(化学生物工学科 生物プロセス工学)	9. 3. 31限り停年退職

## 学 内 諸 報

### 学 部 長 の 改 選

#### <人文学部長に鈴木教授を選出>



小澤浩人文学部長の任期が、平成9年5月1日で満了することに伴い、人文学部教授会は、去る3月5日(水)に、次期学部長候補者の選挙を行いました。

その結果、鈴木敏昭教授が選出されました。任期は、平成9年5月2日から2年間。

鈴木教授は、昭和47年3月東京大学文学部を卒業、同50年3月東京大学大学院人文科学研究科修士課程を修了、同53年3月東京大学大学院人文科学研究科博士課程を単位取得退学後、同年4月東京大学文学部助手に採用となり、同55年4月富山大学人文学部助教授、平成6年4月同教授となり、現在に至っています。

専門は、心理言語学。  
愛知県出身。

(就任の抱負)

全く思いがけなく学部長という重大な職務を仰せつかることになり、ひどく戸惑っています。しかし、ご指名を受けた以上は微力ながら少しでも学部のために貢献できればと考えています。

この3月には一貫制教育に伴う学部改革の時に迎えた学生が卒業し、新しい体制の基礎が固まりつつあります。学部の3学科体制の整備も進み、大学院の改組も完了しました。何よりも、長年の懸案であった新校舎の建築に着手することが決まりました。このことで、物理的にも、一層緊密な交流をはかることのできる環境が整うこととなります。学部全体の努力と関係各位のご尽力によるこのような成果をしっかりと固めていくことが今後の大事な課題になると思います。また、社会から大学への要請が多様化していく中、当面する大きな課題の一つに、経済学部との共同による大学院博士課程の設置の問題があります。

さまざまな課題が山積していますが、より充実した教育・研究体制が整えられるよう私なりにできるだけ努力をして参りたいと考えております。

#### 生涯学習教育研究センター設置記念式典を挙行

生涯学習教育研究センターでは、建物の改修工事が竣工し、去る3月10日(月)に黒田講堂において設置記念式典、記念講演会及び祝賀会が開催されました。

式典には、文部省、県内高等教育機関、富山県、富山県教育委員会、富山県経済団体など学内外関係者約70名が出席し、米田センター長の式辞の後、小黒学長の挨拶、

文部省大臣官房本間審議官、富山県知事(浜岡総務部次長代読)の祝辞がありました。

式典の後、北海道大学高等教育機能開発総合センター助教授笹井宏益氏による「大学と社会の新しい関係」と題する記念講演会が行われました。

引き続き、祝賀会が行われ、宮本高岡短期大学長、吉

枝富山県民生涯学習カレッジ学長，柳田富山県生涯学習団体協議会会長の祝辞が述べられ，設置を祝いました。

同センターは，人文・社会系共通教育棟の研究棟を改修し設置されたもので，床面積309㎡。パソコンを備えた研修室，多目的スペースなどがあり，考古資料や学生の卒業製作の展示など，教育・研究成果の公開や市民からの多様な内容の学習相談にも対応し，地域の学習需要に応え，地域における生涯学習の拠点になるものと期待が寄せられています。



▲ 記念式典で式辞を述べる米田センター長

## 退職者を囲む懇談会

— 教官14名 事務系5名 —

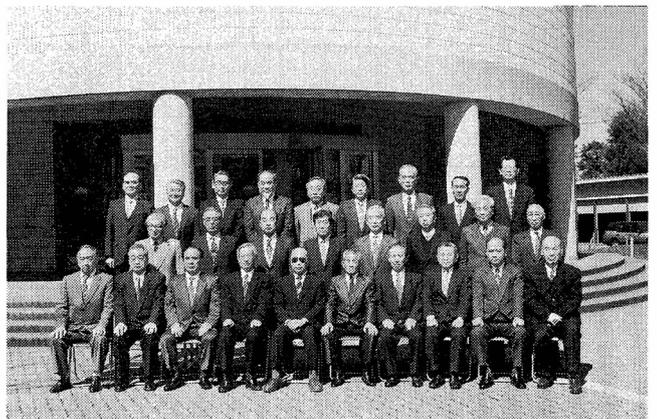
平成8年度に定年（停年）により退職される方々を囲む懇談会が去る3月17日（月）11時50分から黒田講堂会議室において開催されました。

懇談会では，小黒学長から退職者一人一人に記念品が贈呈された後，永年にわたって本学に尽くされたことへのねぎらいの挨拶がありました。これに対して退職者を代表して経済学部奥田事務長が謝辞を述べられました。

記念撮影に引き続き懇親会が催され，終始和やかな雰囲気の中，古き良き思い出に話がはずんでいました。

なお，退職される方々は次のとおりです。

事務局	文部技官	五十嵐 清平	工学部	文部教官	笹倉 壽介
人文学部	文部教官	提山 淑郎	〃	〃	山口 信吉
〃	〃	奥田 平八郎	〃	〃	石黒 隆義
人文学部・理学部	文部事務官	山岸 長幸	〃	〃	藤田 宏
教育学部	文部教官	世利 幹雄	〃	文部事務官	長澤 義男
〃	〃	吉田 和夫			
〃	〃	河野 信弘			
〃	〃	松村 晴路			
〃	〃	岸井 勇雄			
〃	文部事務官	奥村 喜代志			
教育学部附属養護学校	文部教官	佐藤 日出信			
経済学部	文部教官	山口 孝道			
〃	文部事務官	奥田 真一			
理学部	文部教官	松浦 郁也			



▲ 学長を囲み記念撮影



▲ 学長から一人一人に記念品を贈呈



▲ 謝辞を述べる奥田経済学部事務長

## 海外渡航者

渡航の種類	所属	職	氏名	渡航先国	目的	期間
外国出張	人文学部	助教授	竹内 潔	フランス ギニア・ビサウ	「アフリカ農村社会における市場経済の浸透と文化変化」に関する調査等	9.3.1 } 9.3.24
	教育学部	助教授	向後 千春	アメリカ合衆国	マルチメディアとネットワークの教育利用に関する調査研究	9.3.1 } 9.4.16
	経済学部	教授	滝川 敏明	タイ	APEC「PFP競争政策セミナー」に出席	9.3.16 } 9.3.23
	理学部	助教授	栗本 猛	アメリカ合衆国	第2回Bの物理とCPの破れに関する国際会議に出席	9.3.23 } 9.3.29
海外研修	理学部	教授	堀越 勲	ノルウェー	ボックスシンポジウムに出席、巡検参加、研究打合せ	9.3.12 } 9.3.24
	〃	助手	和田 直也	インドネシア	森林生態系に関する調査打合せ及び下見	9.3.13 } 9.3.26
	経済学部	助教授	角森 正雄	アメリカ合衆国	小額裁判所視察及び小額事件に関する資料収集	9.3.20 } 9.4.15

## 外国人来訪者

氏名 (国籍)	本国における 所属機関・職名	来学目的	本学受入れ先	期間
V.A.クラブチンスキー (ロシア)	ロシア科学アカデミー 地球化学研究所 主任研究員	バイカル湖に関する研究 打合せ及び意見交換	理学部・助教授 酒井英男	9.3.23 ) 9.3.26

〔訂正〕前号(第386号)で誤りがありましたので訂正します。(12頁下から2行目)

正 理学博士(京都大学)      誤 理学博士(金沢大学)

## 職員消息

### 〈住所変更〉

部局名	官職	氏名
庶務部	文部事務官 (庶務課庶務係)	大場チイコ
経済学部	文部事務官 (庶務係)	山田裕子

### 〈新任者住所〉

部局名	官職	氏名
生涯学習教育 研究センター	講師	室進一

### 〈改姓〉

部局名	官職	氏名	旧姓
経済学部	文部事務官 (庶務係)	山田裕子	高柳

## 訃 報

## 富山大学名誉教授 植村元覺氏逝去



本学名誉教授植村元覺氏が平成9年3月18日に逝去されました。享年81歳。

同氏は、昭和14年3月京都帝国大学経済学部、同16年12月同大学文学部史学科を卒業後、昭和17年3月神宮皇学館大学予科講師、同18年4月神宮皇学館大学予科教授、同21年旧制富山高等学校講師、同24年5月同高等学校教授を経て、同24年6月本学助教授に就任、同34年2月同教授に昇任し、同56年4月に停年により退官されました。

この間、同氏は昭和42年4月から同年11月まで及び同53年9月から同55年9月まで経済学部長、同49年2月から同53年2月まで附属図書館長、また、同43年3月から同年7月まで及び同45年4月から同49年1月まで評議員をそれぞれ歴任され、大学の発展に多大な貢献をされました。

とくに、経済学部長在任中は全国にも特異な経営法学科を新設し、さらに新校舎を建築する等同学部の充実発展に努力され、また、評議員在任中には大学紛争の沈静化に努められました。

これらの功績により、昭和56年4月富山大学名誉教

授の称号が授与されました。

さらに、同氏は、退官後の昭和56年10月から同62年3月まで富山女子短期大学教授、同63年4月から七尾女子短期大学初代学長に就任し、平成4年3月まで務められるなど、両大学の発展にも多大な貢献をされました。

研究面では、地域経済と経営史の相互連関的究明による地域と産業の発展に主眼をおき、幾多の著書、資料集、論文等を発表され、それらは産業の基盤をなす経営と地域経済の生態的分析を行っている面で地域の発展に不可欠な研究として高く評価されており、学界や実務界に寄与するところ極めて大きな功績を残されました。

学外においては、富山大学附属図書館長時代に国立大学図書館協議会理事及び大学図書館基本問題特別委員会委員を務められたほか、経営史学会評議員、経済地理学会評議員、日本海学会理事、北陸経済研究所理事として活躍されました。さらには、国土審議会専門委員、同審議会北陸地方開発特別委員会委員、同審議会北陸地方開発審議会企画部会委員、産業構造審議会専門委員、中小企業近代化審議会専門委員、中部地方交通審議会特別委員のほか多数の富山県、富山市の審議会会長を務められ、地域の発展に寄与した功績により、平成元年には富山市から富山市制百周年記念特別功労者表彰を受けられました。

また、これら長年の功績により平成4年4月勲二等瑞宝章が授与されました。

ここに、同氏の御功績を偲び顕彰するとともに、御冥福を祈り、謹んで哀悼の意を表します。

# 主 要 行 事

## 本 部

3月3～7日

学長候補適任者推薦受付

4日 第5回国際交流委員会学術交流部会

国家公務員採用Ⅲ種試験説明会

6日 第8回教務委員会専門委員会

前期日程合格者発表

6～7日 臨時東海・北陸地区国立大学事務局長会議

(名古屋大学)

10日 予備選挙候補者公示

11日 K E T改訂説明会(人事院中部事務局)

研修担当官会議(人事院中部事務局)

北陸地区国立学校事務電算化専門委員会(金沢大学)

第6回自己点検評価委員会教育活動専門委員会

12日 平成9年度入学者選抜学力検査(後期日程)

13～14日 前期日程入学手続

14日 第4回教養教育委員会企画専門委員会

14～18日 予備選挙不在者投票

17日 退職者を囲む懇談会(黒田講堂)

19日 予備選挙

選挙結果公示

第3回東海・北陸地区国立学校等施設担当部課長連絡会議(名古屋工事事務所)

21日 本選挙候補者公示

後期日程合格者発表

24日 消防訓練

25日 平成8年度学位記授与式

27日 後期日程入学手続

29～31日 追加合格者入学手続

## 人 文 学 部

3月4日 学部長候補者選挙管理委員会

前期日程合格者数検討会

5日 教授会

学部長候補者選挙管理委員会

教授会(人事)

大学院人文科学研究科委員会

11日 学部将来計画委員会と予算委員会の合同委員会

12日 平成9年度入学者選抜学力検査(後期日程)

14日 学部図書委員会

教授会

大学院人文科学研究科委員会

17日 平成9年度前学期授業時間割担当者会議

学部教務委員会

18日 『人文学部のしおり』編集委員会

後期日程合格者数検討会

19日 教授会

教授会(人事)

大学院人文科学研究科委員会

21日 独立大学院(人文・経済合同)委員会

## 教 育 学 部

3月4日 教育学研究科委員会小委員会

5日 学部入学試験委員会

教授会

人事教授会

7日 学部安全管理委員会

10日 学部学生生活委員会

学部教務・学生生活合同委員会

学部教務委員会

教育学研究科委員会

教授会

11日 附属養護学校卒業式

13日 学部自己点検評価委員会

附属小学校卒業式

14日 学部予算委員会

附属幼稚園修了式

17日 附属中学校卒業式

18日 附属幼稚園修業式

19日 学部入学試験委員会

教授会

呉山会送別会

附属中学校修業式

附属養護学校修業式

- 21日 附属小学校修業式  
24日 教務委員会教職科目専門委員会

- 教授会  
人事教授会  
学科長会議

24日 学部学生生活委員会

### 経 済 学 部

- 3月4日 学部入学方法検討委員会  
5日 人事教授会  
教授会  
10日 大学院経済学研究科委員会小委員会  
学部教務委員会  
12日 平成9年度入学者選抜学力検査（後期日程）  
13日 広報委員会  
大学院経済学研究科委員会  
教授会  
17日 各種委員選考委員会  
学部図書委員会  
編集委員会  
18日 学部施設整備委員会（持ち回り）  
学部将来構想検討委員会  
19日 学部入学方法検討委員会  
教授会  
21日 独立大学院博士課程設置に伴う合同打合せ会  
25日 学位記授与式及び祝賀会（富山観光ホテル）

### 工 学 部

- 3月4日 合格者数検討委員会  
5日 教授会  
専任教授会  
6日 自然科学研究科設置準備委員会（仮称）ワーキンググループ代表者打合せ会  
7日 教授会  
研究科委員会  
博士後期課程委員会  
11日 事務局との打合せ（理工学研究科設置申請）  
12日 工学部外国人留学生との懇談会  
14日 「工業（専門）高校卒業生を対象としたカリキュラム編成及び教育方法のための調査研究」プロジェクト担当者会議（富山大学工学部）  
自然科学研究科設置準備委員会（仮称）ワーキンググループ代表者打合せ会  
17日 入学試験検討委員会  
学部運営委員会  
18日 自然科学研究科設置準備委員会（仮称）  
合格者数検討委員会  
19日 教授会  
24日 文部省ヒアリング（理工学研究科）  
28日 日本塑性加工学会北陸支部第38回技術懇談会（富山大学工学部）

### 理 学 部

- 3月4日 排水安全委員会  
5日 教授会  
人事教授会  
6日 学部案内編纂委員会  
自然科学研究科設置準備委員会（仮称）ワーキンググループ代表者打合せ会  
7日 情報化対策委員会  
10日 学部入試改善委員会  
12日 平成9年度入学者選抜学力検査（後期日程）  
13日 大学院理学研究科委員会  
教授会  
14日 動物実験委員会  
予算委員会  
自然科学研究科設置準備委員会（仮称）ワーキンググループ代表者打合せ会  
18日 学部施設委員会  
自然科学研究科設置準備委員会（仮称）  
19日 大学院理学研究科委員会

### 地域共同研究センター

- 3月5日 特許庁総務部長視察  
12日 静岡大学地域共同研究センター研究協力会事務局局長視察  
14日 地域共同研究センター運営委員会  
21日 先端技術講演会  
28日 日本塑性加工学会北陸支部会員視察

### 生涯学習教育研究センター

- 3月10日 生涯学習教育研究センター設置記念式典

資

料

## 平成9年3月卒業生数

○ 学 部

学部		入学年度		7	5	4	3	2	元	63	合 計	
		学科 (課程)										
人文学部	人文学科				68 ( 1 )	8 ( 1 )	2		1	1	80 ( 2 )	
	国際文化学科				49 ( 1 )						49 ( 1 )	
	言語文化学科				76						76	
	語学文学科					7	2		1		10	
	計				193 ( 2 )	15 ( 1 )	4		2	1	215 ( 3 )	
教育学部	小学校教員養成課程				100	5	1				106	
	中学校教員養成課程				40 ( 1 )	4	1				45 ( 1 )	
	養護学校教員養成課程				20						20	
	幼稚園教員養成課程				33						33	
	情報教育課程				42	1	1				44	
	計				235 ( 1 )	10	3				248 ( 1 )	
経済学部	昼間 主 コース	経済学科			134	15	1				150	
		経営学科			115 ( 3 )	6					121 ( 3 )	
		経営法学科			88	3		2			93	
		計			337 ( 3 )	24	1	2			364 ( 3 )	
	夜間 主 コース	経済学科			16			3				19
		経営学科			18							18
		経営法学科			16							16
		計			50			3				53
		計			387 ( 3 )	24	4	2				417 ( 3 )
	理学部	数学科			44	4	2					50
物理学科				31	2	5	1	1			40	
化学科				33	3	1					37	
生物学科				31							31	
地球科学科				13	5				1		19	
生物圏環境科学科				21							21	
計				173	14	8	1	2			198	
工学部	電子情報工学科	18	100 ( 2 )	14	3	5	1				141 ( 2 )	
	機械システム工学科	13 ( 1 )	57 ( 6 )	25	5	3					103 ( 7 )	
	物質工学科	4	62	8	1	4					79	
	化学生物工学科	4	62	14	4	1					85	
	生産機械工学科							1			1	
	化学工学科							1			1	
	計	39 ( 1 )	281 ( 8 )	61	13	13	3				410 ( 9 )	
合 計			39 ( 1 )	1,269 ( 14 )	124 ( 1 )	32	16	7	1		1,488 ( 16 )	

(注) 1. ( )内は、外国人留学生で内数。

2. 平成7年度入学は高等専門学校からの編入学。

## 平成9年3月修了者数

## ○ 大 学 院

研究科		入学年度			合 計	
		7	6	5		
人文科学研究科	日本・東洋文化専攻	14 ( 1 )	3		17 ( 1 )	
	西洋文化専攻	4			4	
	計	18 ( 1 )	3		21 ( 1 )	
教育学研究科	学校教育専攻	5 ( 1 )	2		7 ( 1 )	
	教科教育専攻	13 ( 1 )	1		14 ( 1 )	
	計	18 ( 2 )	3		21 ( 2 )	
経済学研究科	地域・経済政策専攻	5 ( 2 )		1	6 ( 2 )	
	企業経営専攻	7 ( 4 )	1 ( 1 )		8 ( 5 )	
	計	12 ( 6 )	1 ( 1 )	1	14 ( 7 )	
理学研究科	数学専攻	8 ( 1 )			8 ( 1 )	
	物理学専攻	23 ( 4 )			23 ( 4 )	
	化学専攻	12			12	
	生物学専攻	5			5	
	地球科学専攻	7	2		9	
	計	55 ( 5 )	2		57 ( 5 )	
工学研究科	前期課程	電子情報工学専攻	61 ( 3 )	3		64 ( 3 )
		機械システム工学専攻	43 ( 2 )			43 ( 2 )
		物質工学専攻	38			38
		化学生物工学専攻	27 ( 1 )			27 ( 1 )
		計	169 ( 6 )	3		172 ( 6 )
	後期課程	システム生産工学専攻		8 ( 2 )		8 ( 2 )
		物質生産工学専攻		7		7
		計		15 ( 2 )		15 ( 2 )
		計	169 ( 6 )	18 ( 2 )		187 ( 8 )
合 計		272 ( 20 )	27 ( 3 )	1	300 ( 23 )	

(注) ( )内は、外国人留学生で内数。

## 平成8年度大学院研究科修了者一覽

## [ 人文科学研究科 (修士課程) ]

専 攻	氏 名	論 文 題 目
日本・東洋文化 (17名)	小 鹿 洋 子	現代中国語の指示詞「這、那」についての一考察
	胡 澎	留日学生与中国現代文学 — 論初期創造社小説 —
	後 藤 由 珠	小説『風の盆恋歌』とメディア表現 — 富山県八尾町の場所イメージ —
	齋 藤 秀	富山のムジョーブツ
	齋 藤 正 美	日本のメディアと女性運動の展開 — ジェンダーと公共圏をめぐる闘争 —
	坂 下 有 紀	律令国家の夷狄観 — 隼人の特殊性と服属表明 —
	中 嶋 三津枝	シャガールの《聖書》にみるユダヤの伝承の影響
	中 村 勝 芳	「サッカー王国・清水」の解剖学 — 校庭のサッカーからJリーグまで —
	西 村 憲 一	律令制下の地方支配 — 地方行政監察機関の一考察 —
	林 直 美	〈家族〉と〈愛〉と家事労働 — 雑誌『主婦の友』にみる女性の生き方と「愛の労働」
	深 谷 信	茅元儀と『武備志』
	古 河 史 江	マーガレット・サンガーの女性論
	八 島 裕 美	現代日本語におけるカタカナ表記に関する考察
	柳 田 美 幸	丁日昌と近代軍需工業 — 江南製造局と天津機器局の設立をめぐる —
	小 平 篤 志	近代の電鉄会社の経営戦略 — 大阪における観光開発を事例にして —
	志 麻 克 史	貞観年間の仏教政策について — 官寺体制を中心に —
	野 村 尚 志	足利義満の御成と政治支配
西 洋 文 化 (4名)	岩 城 時代美	A Textual Comparison of <u>Travels into Several Remote Nations of the World (Gulliver's Travels)</u> between the Oxford 1959 Edition and the 1726, the 1727 and the 1735 Edition
	辻 衣里子	A Study of Chaucer: The Change of the Idea of Love in <u>Troilus and Criseyde</u>
	檜 垣 まり	アフリカ都市音楽の自律的変遷 — タンザニア、タアラブ音楽を中心として —
	宮 田 裕 隆	在日朝鮮人のエスニシティと在日朝鮮人問題

## [ 教育学研究科 (修士課程) ]

専攻	専修	氏名	論文題目
学 校 教 育 専 攻	学 校 教 育 専 修	上田 浩 臣	大学生の自己実現度が自己開示に及ぼす影響について
		大平 泰 子	幼児のプランニングと修正方略の発達
		高畑 庄 蔵	知的障害者への地域生活支援教室の試み —生活技能支援ツールによる食生活・運動プログラムの開発と検討—
		野村 明 男	小学校社会科における体験的活動の効果に関する研究
		古村 真理子	幼児の読み行動に見られるPre-Literacyに関する一考察
		山下 裕 市	腕あげ動作コントロール訓練における筋電図の測定と分析 —脳性まひを持つ人への適用の試み—
		翁 麗 霞	現代中国と日本の幼児のしつけの比較に関する一考察
(7人)	(7人)		
教 科 教 育 専 攻	数学教育専修 (1人)	西岡 了	数学教育における知的活動を支援するコンピュータ利用に関する研究 —中学校数学科図形領域「円」の学習を通して—
	理 科 教 育 専 修	江守 恒 明	高等学校における化学計測実験の開発
		竹原 昇	地域住民の自然に対する体験・意識を生かした環境教育モジュール教材の開発
		刀 稱 光 代	$Y(Fe_{1-x}Co_x)_{11}Ti$ およびその窒化物の磁性
		増田 延 子	新規機能性高分子の合成に関する研究
		渡辺 哲 康	希土類・コバルト・ボロン三元化合物におけるコバルトの磁気モーメント
	専 保 健 体 育 専 修	高本 珠 生	「体重グラフ法」による肥満解消法の事例研究
		堀 勉	富山県の児童・生徒の30年間(1965~1994年)における体格、体力・運動能力の推移
		丸山 順 子	言語指示が等尺性張力発揮に与える影響
	技術教育専修 (1人)	小関 元	学校教育におけるインターネット活用の支援体制に関する研究
	家 政 教 育 専 修	菅原 陽 子	家庭経済学における消費者主権の展開に関する研究
		浜田 美智子	学校種と肥満・やせの生徒の発症に関わる12年間の縦断的研究
		三ツ塚 真樹子	高齢社会における家族形態の現状と今後の家族生活のあり方に関する研究
		文 晨	ラクダ毛繊維の物性と化学修飾
(14人)	(4人)		

## [ 経済学研究科 (修士課程) ]

専攻	氏名	論文題目
地域・経済政策 (6人)	西尾政英	21世紀に向けての環境調和型ライフスタイルの実現に関する一考察
	青木卓志	環境・経済統合勘定の地域への適用に関する一考察 -富山県における試算を中心として-
	北村彰英	法人所得課税の国際調整と調和
	塚本宣行	戦後自動車産業の再編成過程 ~日産自動車を中心とした一考察~
	DUANGTHIDA SIRIMETHANONT	タイにおける金融自由化とその影響
	朴性根	韓国・江原道の地域問題と開発戦略
企業経営 (8人)	曹偉	マーケティング戦略研究の成果と課題
	岩城隆純	ロシア国有企業における私有化について
	濱崎伸一朗	わが国モーターサイクル企業の動向と課題 ~経営理念と国際化~
	山崎博司	公務員賠償責任リスク・マネジメントに関する研究 -アメリカの公務員賠償責任保険 (PUBLIC OFFICIAL LIABILITY INSURANCE) を中心に-
	簡雅慧	国際マーケティングにおける標準化論争に関する考察
	KHOW YIP KHENG	キャプティブ保険会社の所在地としてのシンガポールに関する研究
	高聖智	中国金融リスク・マネジメントに関するマクロ的及びミクロ的分析
	葉軍	日本企業のグローバル化における人的資源管理に関する一考察 -国際人材の要件と育成を中心として-

## [ 理学研究科 (修士課程) ]

専攻	氏名	論文題目
数学専攻 (8人)	石川直樹	順序体の研究
	石田賢一郎	グレブナ基底とアルゴリズム
	小泉雅子	フラクタル幾何学の研究
	澤顕義	中立型差分方程式の振動理論
	波多野公恵	フラクタル幾何学の応用
	吉岡昌徳	Almost quaternionic Hermitian and quaternionic Kähler manifolds
	両瀬桂子	1次元区間力学系の研究
	RODRIGO, MARIANITO ROCHA	TRAVELLING PULSES IN PARALLEL COUPLED NERVE FIBERS
物理学専攻 (23人)	秋末剛	物質中のニュートリノ振動
	金島幸夫	VSMを用いた10テスラまでの磁化測定装置の開発

専 攻	氏 名	論 文 題 目
	黒 田 圭 司	MIMダイオードの分光学への応用
	佐 藤 雅 敏	引き上げ法による希土類化合物単結晶の作成と極低温域での磁気特性
	清 水 哲 也	ニュートリノ振動と基本相互作用
	丈 池 崇	液体カルコゲンの金属-半導体転移
	杉 浦 直 樹	不完全結晶中でのX線回折
	関 原 和 代	星間分子の回転スペクトルの研究
	高 島 朗	$\text{SmT}_2\text{X}_2$ (T=Cu, Ni; X=Si, Sn) の物質探索と物性
	瀧 井 健太郎	Al/PdMn薄膜界面での固相反応
	辻 井 伸 幸	ミリ波分光計の開発と分子分光
	鳥 毛 治	波長可変レーザー光源を用いた分子分光
	中 内 崇 夫	遠赤外レーザー分光
	萩 原 新之介	ミリ波スペクトルによるアセトアミド分子 ( $\text{CH}_3\text{CONH}_2$ ) の研究
	長谷川 清 隆	協同現象の時間変動
	平 井 響 子	極低温領域における希土類化合物の輸送現象異常
	福 嶋 則 之	比熱測定装置の作製とセリウム化合物の熱的性質
	宮 入 敦 彦	ジメチルエーテル分子 ( $\text{CH}_3\text{OCH}_3$ ) のマイクロ波分光
	百 合 健 一	Yang-Mills理論の双対性
	許 軍	超高感度レーザー分光法の開発
	張 慧 敏	$\text{S}^p$ 上の量子力学から誘導されるゲージ・ポテンシャル
	霍 徳 璇	(Ce, La) PdSnの電気抵抗と熱電能挙動
	李 応 虎	Al-Ni-Cr系合金の準結晶及び近似結晶について
化学専攻 (12人)	石 村 朋 広	(VO) <sub>2</sub> P <sub>2</sub> O <sub>7</sub> 触媒のブタン酸化機能に関する研究
	今 井 亮 二	光学活性ジオール体を利用する不斉反応の開発
	勝 木 俊 晴	ナフトキノン骨格を有する含酸素ヘテロ環化合物の新規合成法の開発と天然物合成への応用
	小 林 郁 子	ジチエニルアセチレン誘導体の合成と性質
	佐 藤 史 久	メタンの二酸化炭素リフォーミング反応とその触媒に関する研究
	高 吉 健 二	膜へのイオン対の分配とその微量成分分析への応用

専攻	氏名	論文題目
	谷口勝則	フロピリジンN-オキシド誘導体の合成と反応性
	大門知代	単環アヌレノン類の合成と性質
	野崎哲也	遷移金属を用いる立体選択的付加環化反応の開発と天然物不斉合成への応用
	平井勇人	固相を用いる水中の微量汚染物質の濃縮・定量に関する研究
	前田識雄	架橋基を含む大環状共役化合物の合成と性質
	脇坂博之	長鎖状化合物の振動と構造
生物学専攻 (5人)	井城雅夫	クラミドモナスにおける遺伝子挿入による突然変異誘発法の確立
	内山秀樹	植生及び土壌の理化学性に基づく北海道霧多布湿原の植物生態学的研究
	四方幸治	完全寄生植物ネナシカズラ属の色素体ゲノムの構造と機能：光合成系遺伝子の単離と解析
	森川晶子	アフリカツメガエル腎臓由来細胞におけるカドミウムの取り込み機構の解析
	八尾博幸	ラットゴナドトロピン産生下垂体細胞の視床下部ホルモンに対する反応性
地球科学専攻 (9人)	佐野賢二	舞鶴西方のペルム-三畳系
	紫村一真	飛騨帯ならびに周辺の変成岩類の地球化学
	鈴木直勝	日本付近における1950年以降の地磁気永年変動
	鈴木雅博	烏帽子-鷲ヶ岳火山東部地域の岩石学的研究
	野村利里	岩石磁気学的手法による中生代花崗岩類の冷却・変形過程の研究
	前寺雅紀	降水の過剰硫酸イオンの同位体比とその起源
	松本孝之	福井県九頭竜川上流の飛騨外縁帯
	小林直哉	粉体系としての積雪の組織
	福田有香	松代の石英管伸縮計から求めた地球自由振動の固有周期

## [ 工学研究科 (博士前期課程) ]

専攻	氏名	論文題目
電子情報工学 専攻 (64人)	相川治毅	画像処理によるヒドラを用いたバイオアッセイ法に関する研究
	青山忠義	単巻線形変成器に関する研究
	浅井邦彦	GaAs基板上のGaS薄膜の初期成長過程
	阿部貴幸	情報の伝達と適応のモデル化と解析

専 攻	氏 名	論 文 題 目
	池 田 豊	交流フィルタをもつ三相ダイオード整流器の高調波計算に関する研究
	石 井 裕 之	広帯域分配回路のパルス応答解析
	一 色 浩 史	推論バスネットワークによる仮説推論の推論時間の予測
	伊 藤 禎 朗	Si (001) 基板上へのAlSb薄膜の成長
	稲 垣 洋	段階的弛緩法による文字列抽出に関する研究
	井 上 裕 康	焦電検出法による硫酸グリシンの強誘電分極反転機構の観察に関する研究
	井 上 雅 文	微小視角における色覚特性に関する研究
	植 木 研 三	水滴発電方法に関する基礎研究
	上 田 立 志	境界要素法による雷雲電荷分布推定のシミュレーション
	宇佐見 賢 一	強誘電履歴曲線の精密自動測定に関する研究
	大 塚 栄太郎	MBE成長によるSi <sub>1-x</sub> Ge <sub>x</sub> /Si/Si <sub>1-x</sub> Ge <sub>x</sub> 量子井戸の形成とその2次元電子の電気的特性
	大 平 聡	P型Si (001) 基板を用いた表面2次元正孔層の形成とその電気的特性
	片 山 昌 和	動画像符号化における画像品質の客観的評価
	加 藤 正	降雨・降雪の電荷量の観測と雷雲の電気的構造に関する研究
	唐 木 一 賢	目次ページの構造理解に関する研究
	岸 部 智 昭	べき乗剰余計算の高速化に関する研究
	木 下 浩 一	二相交流磁気誘導浮揚形リニアモータに関する研究
	久 保 和 利	日本語手書き署名の検証方法の考察
	越 野 稔	B級プッシュプル増幅器の構成と解析
	坂 井 歩	光重合ポリマー膜による液晶分子の配向制御に関する研究
	坂 本 貴 之	ニューラルネットワークによる時系列予測
	坂 本 武 志	下オリーブ核ニューロンのコンピュータモデルに関する研究
	鮫 島 令 薫	電荷移動錯体LB膜の構造と電気的特性に関する研究
	島 野 裕	異性体混合反強誘電性液晶の電気・光学的特性に関する研究
	鈴 木 秀 士	ビタビ復号における不信頼領域の抽出に関する研究
	鈴 木 真 道	Filamentation Instability of Nonlinear Alfvén Waves in Weakly Ionized Plasmas
	高 田 智 明	全文検索システムへの検索支援インターフェースに関する研究

専 攻	氏 名	論 文 題 目
	高 松 衛	濃霧中における色光の視認特性に関する研究 -富山空港の視界改善を目指して-
	為 川 貢	有機電界発光素子の電荷注入・伝導機構に関する研究
	坪 崎 義 徳	Si (001) 基板上的Geアイランドを用いたInSb薄膜の成長過程
	戸 田 敦 郎	壁面形状による液晶分子の配列変化とその電気光学的特性に関する研究
	中 村 卓 矢	Si (001) 基板上でのSrOバッファ層を用いたSrTiO <sub>3</sub> 薄膜のMBE成長
	羽 根 孝 泰	ドント・ケアを含む論理関数をNANDゲート回路で実現する一般計法
	林 直 人	真空マイクロデバイスに関する基礎研究
	濱 本 聡	自然言語テキストにおける事実に基づく知識のデータベースへの自動登録方式の研究
	早 川 潤	形式言語の準同型写像による特性化とDyckリダクションによる特性化
	早 瀬 敬	SrTiO <sub>3</sub> (001) 基板上でのMBE法によるBi <sub>2</sub> Sr <sub>2</sub> CaCu <sub>2</sub> O <sub>x</sub> 酸化物超伝導体薄膜の作製
	平 沢 謙 輔	非対称形三巻線変成器に関する研究
	平 松 徹 也	SBDD (共有二分決定グラフ) を用いた多出力NANDゲート回路の設計法
	深 尾 和 弘	コンピュータグラフィックスによるパッチワーク・イメージ制作
	本 田 和 博	3次元ポテンシャル場解析のための無限境界要素
	牧 野 隆 雄	文書画像における領域分割と領域解釈に関する研究
	牧 野 一 憲	有限要素法による非線形音波伝搬のシミュレーション
	巻 本 英 二	日照条件に依存しない移動物体の検出・追跡に関する研究
	増 田 敦 志	電氣的消霧に関する研究
	松 井 達 則	日本語会話テキストの構造解析方式の研究
	松 島 英 晃	導電性高分子を用いた有機電界発光素子に関する研究
	松 田 兼 治	生体計測のための多チャンネルコードレスセンサシステムの開発
	三 毛 一 水	オプティカルフローを用いた移動物体の検出に関する研究
	宮 向 謙 彰	スメクチックA液晶を用いた光制御素子に関する研究
	村 井 信 也	有限要素法による複合圧電トランスジューサの解析
	村 田 健 吾	動き物体追跡のための3層動的輪郭モデル
	柳 本 成 哉	辺要素による空洞共振器の電磁界駆動解析
	藪 岡 治 明	符号化音声品質の客観的評価法の研究

専 攻	氏 名	論 文 題 目
	吉 田 剛	コンピュータグラフィックスにおけるラジオシティ法に関する研究
	吉 田 祥 明	音韻HMMによる連続音声認識システムへの検討
	吉 野 保 幸	スパッタ膜の堆積における放電ガス圧力の影響
	朱 松	有限要素法による超音波モータの回転子の影響を考慮に入れた基礎的解析
	銭 燕	ユーザインタフェースを用いた環境型教育システムにおける学習者モデルの構築
	任 古 城	呼吸及びボタン押し運動リズムの位相遷移に対する刺激並びに運動開始相の影響
機械システム 工学専攻 (43人)	足 立 誠 司	ワイヤ放電加工のワイヤ温度計測に関する研究
	阿 部 健	回転円板によるER流体のレオロジー特性の実験的解明
	安 部 充	ワイヤ放電加工の加工状態検出方式の検討
	荒 井 是 行	荷重変動推測型制御気体軸受に関する研究
	嵐 敬 晶	熱プラズマ流の状態量分布特性計測法に関する研究
	石 倉 智 子	TiN被覆処理鋼のフレットング疲労特性
	内 田 隆 信	遺伝的アルゴリズムを用いたファジィ制御器の設計に関する研究
	漆 畑 彰	微小泳動機械の基礎的研究
	恵 利 有 司	メカニカルアロイングによる耐熱性Al-Fe-Ni-Cr系粉末合金の製造に関する研究
	大河内 一 貴	各種表面改質処理を施したβ型チタン合金の疲労強度特性
	大 谷 利 宏	プラズマ光輝窒化とTiN被覆の複合表面改質処理を施した高硬度鋼の疲労強度特性
	岡 田 貴 之	高減速比等高歯ハイポイドギヤの研究
	越 智 高 士	固体中を伝搬する圧力波の分子動学的研究
	恩 田 慎 也	流体支持膜面を用いた進行波型フィーダの基礎的研究
	北 野 亮 一	2024Al-Fe-Ni系粉末合金の加工熱処理に関する研究
	木 村 秀 紀	ねじり負荷を受ける超微小要素の応力に関する分子動学的研究
	小 島 明 弘	改良9Cr-1Mo鋼厚肉鍛造材の高温低サイクル疲労強度に及ぼす切欠きおよび時効の影響
	小 島 聡	クラスターの衝突におけるエネルギー変換機構
	近 藤 琢 年	メカニカルアロイングによる2024Al-Fe-Ni系超微細結晶粒材料の作製とその機械的性質に関する研究
	椎 原 克 典	冷間鍛造用新アルミニウム合金の腐食疲労強度特性
白 山 浩 之	オーステナイトステンレス鋼の断続切削における工具摩耗に関する研究	

専 攻	氏 名	論 文 題 目
	杉 山 裕 亮	耐摩耗鋳造銅合金の加熱切削特性に関する研究
	墨 徹 也	窒化珪素の繰返し疲労下の微小表面き裂進展特性（き裂寸法と応力比の影響）
	土 田 祐 知	摩擦熱を伴う転がり接触による表面き裂の屈折進展特性
	常 森 保 志	高クロム鋼の砥石切断性及び熱処理の影響に関する研究
	中 川 誠	ニューロコントローラ的设计とその応用に関する研究
	中 村 泰 朗	アルミナセラミックスのクリープフィード研削性に関する研究
	永 尾 誠 一	ポートホールダイによる矩形押し出しシリンダーの寸法精度の向上に関する研究
	永 森 治	牛織密骨の疲労寿命と応力繰返し速度の関係に及ぼす応力比の影響
	奈 良 哲 郎	骨セメントの疲労特性並びに骨セメントと海綿骨の接合強度に関する研究
	西 野 武 志	摩擦熱を伴う転がり接触による被覆材界面き裂の応力拡大係数
	花 谷 智 則	UHMWPEの摩擦摩耗特性に関する研究
	堀 田 秀 和	ペナルティ振動子による波動フィーダの基礎的研究
	松 川 誠 治	定電流法による小口径管内気液二相流のポイド計測に及ぼす流動形態の影響
	松 崎 英 世	複数の適応度を持つ遺伝的アルゴリズムを用いたPID制御器の設計とその応用に関する研究
	宮 下 直 道	SCM435鋼の疲労強度特性に及ぼす表面改質処理の影響
	村 井 敏 幸	熱処理した各種クロム鋼の切削における工具摩耗特性に関する研究
	山 根 俊 和	VR形機関の起振モーメントの研究
	山 本 高 義	スタaggerド配列フィン付管群の渦発生特性 —フィン形状及び流路幅の影響—
	米 林 順 也	ハイポイドギヤの精密段取りに関する研究
	論 貴 子	放電被覆処理による押し出しダイスの表面改質と性能評価に関する基礎研究
王 健 鉄	高クロム鋼の穴明け加工性に関する研究	
孔 祥 冰	オブザーバを使った非対称油圧ピストン駆動系に関する研究	
物質工学専攻 (38人)	青 山 洋 士	機能性修飾物質による分子認識法に関する研究
	池 上 博 志	2成分溶媒を含む高分子溶液の乾燥機構
	江 上 武 宏	1-2-3系酸化物超伝導体の混合状態における電気抵抗と熱電能の温度依存性
	大 上 卓 男	ホウ素炭化物 $Ho_{1-x}Nd_xNi_2B_2C$ 系の超伝導と磁性
	大 橋 一 善	液体超急冷した過共晶Al-Si合金の組織と機械的性質

専 攻	氏 名	論 文 題 目
	梶 岡 孝 則	1, 1-エチレン-1H-アズレニウムイオンの合成研究
	片 山 暢	STMによるアルミニウム基合金の粒界近傍の優先変形挙動の観察
	鎌 田 義 隆	ホウ素-窒素結合を有するベンゾボレピン類の合成研究
	北 川 哲 也	シクロヘプタ[a]シクロヘプタ[gh]フェナレン-5, 10-ジオンの合成と性質に関する研究
	金 城 幸 治	フェナレン核を含む縮合多環化合物の合成研究
	小 村 一 成	Al-Al <sub>3</sub> Ni共晶系合金およびNi <sub>3</sub> Al金属間化合物の電気化学的特性
	坂 田 裕 司	Al-Ti-Zr系混合粉末のメカニカルアロイング
	坂 本 佳 紀	電子ビーム融解法でCuおよびNiを注入し改質したAl-Mg合金の機能性の評価に関する研究
	十文字 慎	アミン系抽出剤によるチオシアン酸アンモニウム水溶液からのAg(I)の抽出
	高 松 威 夫	Cu(II)アンミン水溶液からの均一球形酸化物微粒子の作製
	玉 置 忠 之	発生ガス分析用感湿素子に関する研究
	辻 野 博 昭	低熱膨張性超合金Incoloy 909における応力加速粒界酸化
	提 義 弘	Ln(希土類; Tb, Pr, Ce, Eu)-Cu-O系複合酸化物に関する研究
	都 竹 聡	複合微細造粒粒子の連続生成と複合形態 - 粉碎を伴う円錐型転動造粒法による -
	寺 木 武 志	粒子分散型アルミニウム合金基複合材料の時効析出挙動
	遠 山 正 和	傘型回転振動円板による異形微細粒子群の連続分離特性
	外 山 和 宏	2層系二重拡散対流の層境界における熱, 物質, 運動量の移動現象
	土 井 崇	超合金Refractaloy 26の時効組織と性質
	中 島 栄 次	MAC法による二重拡散対流の数値解析
	永 田 純 一	Ag-Fe系における磁気抵抗効果
	中 村 清 経	過冷却溶液からの結晶成長に伴う液相内の移動現象
	西 垣 孝 司	ホウ素炭化物Ho <sub>1-x</sub> Y <sub>x</sub> Ni <sub>2</sub> B <sub>2</sub> C系の超伝導と磁歪の研究
	野 上 拓 也	ガス軟窒化部の異常軟化機構
	平 田 貴 之	Fe-W電着合金による工具類の表面改質
	二ツ谷 尚	TCNQ錯体のLB膜に関する研究
	向 島 眞一郎	パルスめっき法による酸性クエン酸浴からのNi-Mo電着合金に関する研究
	村 上 敬 喜	超伝導混合状態における熱流電磁気効果

専 攻	氏 名	論 文 題 目
	本 澤 明	H <sub>2</sub> SO <sub>4</sub> -NaCl水溶液におけるSUS304ステンレス鋼の応力腐食割れに関する研究
	盛 裕 作	液中造粒への界面物性の影響
	吉 田 朋 夫	HRTEMによるAl-Mg-Si基合金の核生成機構の検討
	渡 辺 亨	断熱鋳型半連続鋳造法により作成したアルミニウム合金鋳塊の引張特性
	渡 邊 寛 樹	Fe-Mn酸化物の炭素還元過程に関する研究
	渡 邊 泰 伸	液中固体面への液滴の付着
化学生物工学 専攻 (27人)	井 上 健	シソ科植物の電気融合と細胞培養
	井 上 靖 彦	HPLC Analysis and Thermal Properties of Cyclic Cyanamides Containing Alkylmelamine
	内 田 隆太郎	樹木による大気中のC <sub>2</sub> ~C <sub>6</sub> アルデヒドの吸収
	大 澤 泰 成	刺激応答性プロテアーゼによる酵素活性のON-OFF制御
	岡 田 隆 行	バクテリオファージφKの塩基性Jタンパク質の合成とDNA結合様式
	神 山 英 夫	Studies on the Photolytic Behavior of Several Sulfoxides and Sulfilimines
	川 口 智 章	新規糖脂質とレクチンとの相互作用に関する研究
	黒 越 努	固定化トランスグルコシダーゼを用いた微水系での有用配糖体の酵素的合成
	柴 山 麻 衣	ホウ酸基担持脂質膜界面における分子認識
	小 谷 智 樹	高分子半導体膜を用いた農薬の光触媒分解及び大気中の1-ナフチルアミンと二酸化窒素の粒子界面上における反応
	斉 藤 健 吾	砂浜植物の実験室育種
	佐々木 智 一	攪拌型ビーズミルによるパン酵母内有用物質の放出過程
	鈴 木 忠 夫	ヒト14番染色体q32領域からのCA反復配列を含むSTSマーカの単離
	竹 田 聡	二酸化チタンを用いた水中の農薬の光触媒分解反応
	田 所 央 行	Studies on protein-polysaccharide interactions using <i>Escherichia coli</i> isometric phages
	富 岡 喜 昭	Ni錯体触媒を用いたポリ[N-(フタルイミドメチレン)イミノメチレン]の合成とその高分子反応性
	中 村 知 文	シッフ塩基化合物の抗酸化活性
	野 本 剛	可動有限オートマトンによるDNAからタンパク質合成過程の計算機シミュレーション
	前 田 美智子	外部刺激によるCyclodextrinの触媒作用の制御
	森 下 信 彦	<i>Bacillus brevis</i> によるビフェニルの水酸化に関する研究
耶 雲 隆 弘	外部刺激に対する植物の表面電位の応答	

専 攻	氏 名	論 文 題 目
	安 吉 孝 明	Bacillus cereus によるメチルナフタレン類の酸化に関する研究
	山 下 暢 隆	玄米の乾燥および吸湿過程における応力と割れ
	山 本 貴 広	Hydroperoxynaphthalimide Derivatives-Mediated Oxidation and Damage of Enzymes on Photoirradiation
	山 本 浩 之	Study of Interfacial Molecular Recognition on Self-Assembled Monolayers by Surface-Enhanced Resonance Raman Spectroscopy
	山 本 哲 也	機能性高分子ゲルによる金属イオンの吸着平衡
	楊 健	粘土層のオスモティック吸引力と電気浸透的脱水

## [ 工学研究科 (博士後期課程) ]

専 攻	氏 名	博 士 論 文 名
システム生産 工学専攻 (8人)	北 西 正	The Dynamics of Electron-positron Plasma Cloud moving across a Magnetic Field (磁場を横切って運動する電子・陽電子プラズマ雲の力学)
	木 田 秀 隆	A6063アルミニウム合金押し出し材のせん断加工における形状性の向上に関する研究
	城 石 昭 弘	晶析プロセスにおける結晶の形状制御と溶液側の移動現象論的研究
	高 井 俊 宏	Al-Mg-Si系合金押し出し材の合金組成と表面性状に関する研究
	堀 田 剛	配電線地絡事故における零相電圧及び電流の波形による原因判別法
	村 上 哲	構造用アルミニウム合金中空材の押し出し型設計に関する基礎的研究
	向 上	Study on Development of High Temperature Strength Rigidly Solidified PM Aluminum Alloys and the Consolidation Process (耐熱性アルミニウム合金粉末成形材料の開発に関する研究)
	赵 杰	Coalescence of Two Parallel Current Loops in a Non-relativistic Electron-Positron Plasma (非相対論的電子・陽電子プラズマにおける2本の平行電流ループの合体)
物質生産工学 専攻 (7人)	泉 澤 勇 昇	高効率化有機EL素子における分子構造と電気光学的特性
	川 上 隆 司	回転円錐型容器内粒子偏析効果を利用した造粒プロセスの開発に関する研究
	近 藤 隆 之	樹木による大気汚染物質の吸収に関する研究
	園 部 勝	セラミックス被覆処理鋼の耐食性評価と腐食疲労強度特性に関する研究
	山 口 弘 信	DNAによる個人の特特定に関する研究
	山 崎 偉三雄	澱粉の老化及び分解酵素による構造物性に関する研究
	山 下 友 一	断熱鑄造方式による新型半連続鑄造法の開発

編 集 富山大学庶務部庶務課  
富山市五福3190  
印刷所 あけぼの企画株式会社  
富山市住吉町1丁目5-18  
電話(24)1755(代)